



『はじめに』

この度は当資料をご購入いただきありがとうございます！

各解説を始める前にいくつか注意事項を述べさせていただきます。

①この資料は確実な勝利を約束するものではありませんので予めご了承ください。

②情報商材の特性上、返品返金は致しかねます。

③無許可での転売、情報公開等が発覚した場合には法的処置をとらせていただく場合がございます。

以上をご理解の上、当資料をご利用ください。

資料内では

「億トレから学んだ私の裁量手法」

「裁量トレードで勝率を高める為に必要な知識」

「初心者向けの基礎知識」

「無裁量手法」

「微裁量手法」

「バイナリーを利用したお小遣い稼ぎ」

『目次』

P.3～5 4・・・億トレから学んだ私の裁量手法

P.5 6～9 7・・・裁量トレードで勝率を高める為に必要な知識

P.9 8～1 1 3・・・無裁量手法

P.1 1 4～1 2 5・・・バイナリーを利用したお小遣い稼ぎ

億トレから学んだ私の裁量手法

『目次』

トレードルール

サイクルトレード①

サイクルトレード②

私のメイン手法

判定時刻の決め方

実践！実際のエントリー手順

特徴の違うエントリーポイント 4 選とその解説

裁量トレードルール

トレードを行う際は最低限以下のルールを守ってください。

○各市場のオープン＆クローズ時間の 30 分～1 時間前後はトレードを控えてください。

○重要度の高い経済指標発表の 30 分～1 時間前後はトレードを控えてください。

○**エントリーする際の BET 金額は毎回一定に保ちましょう。**

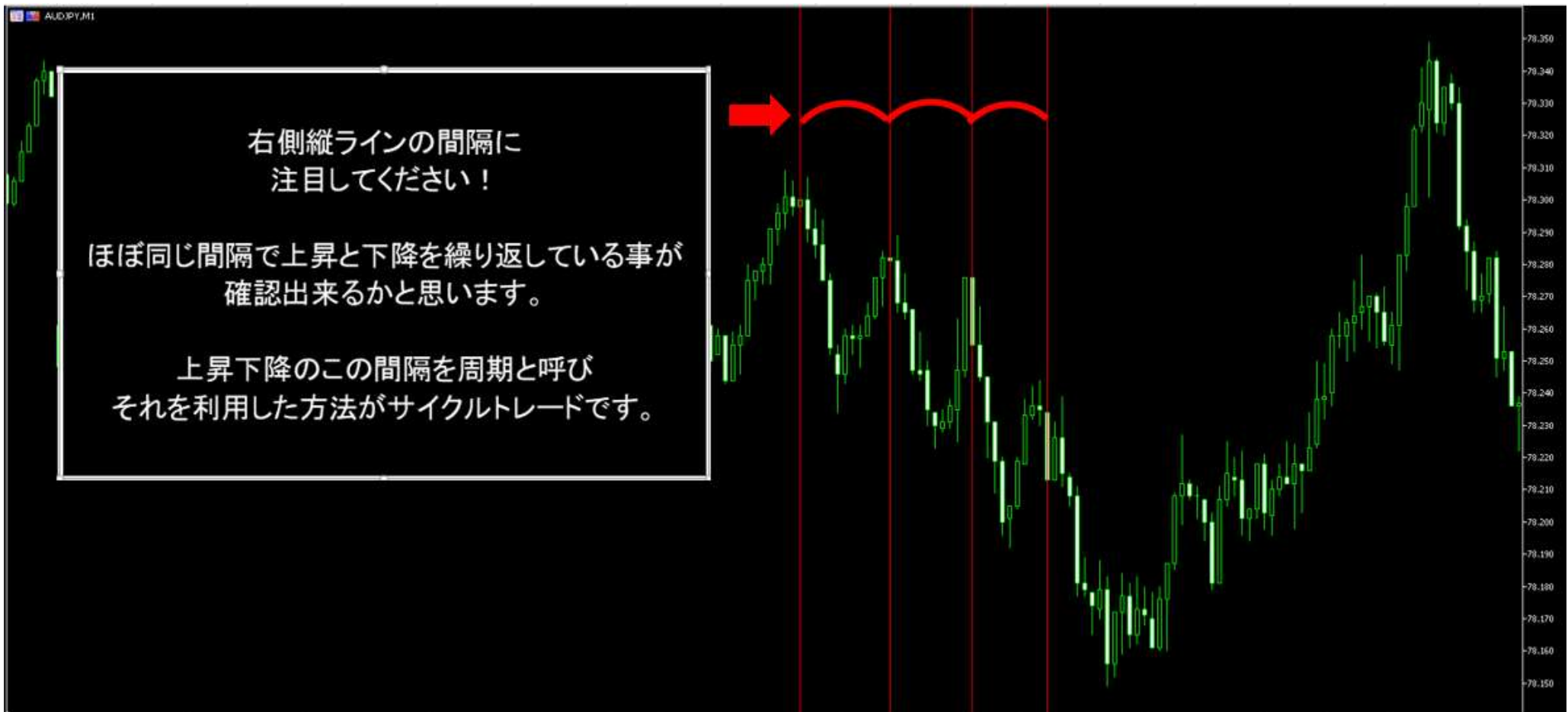
BET 金額を変えるならば月単位で変更してください。

資金管理が出来ていないと勝率が上がろうが資金を無くす可能性が高くなります。

○転売やマーチンをしない。

上記ルールを守らなかった場合、勝率や結果に悪影響を及ぼす可能性があります。

2. サイクル（周期）トレード①



周期トレードでは上記画像の様な一定のリズムで上昇下落を繰り返す美しいチャートで取引を行います。
なぜ美しいチャートが大切なのかというと「相場を動かしているのは人間」だからです。

人間は美しいもの、綺麗なものを好みます。

美しい異性に惹かれる、美しい景色に魅了される、美しい芸術品を好む。

これはチャートにも共通して言える事なのです。

サイクルトレードはその様な「人間の傾向」を利用した手法です。

3. サイクルトレード②



サイクルに着目して上記画像をご覧ください。
どこかが物凄く似ていませんか？正解は次のページで！



お分かり頂けましたかね？

この三角形の波形がどちらも「ほぼ同じサイクル」で形成されています。

このような波形は頻繁に現れませんが、全通貨を見ていれば1日数回はこのような動きが見られます。



もう1つのポイントとして、最初に作られた波形に対して「何%戻しているか」が重要です。

理想は上記画像の様な 100%戻しですが、120%程までなら許容範囲です。

※戻し幅が 100%未満の場合は見送り。

それ以上大きくなると落下したときの勢いも強くなる危険があります。

物は低いところから落とすより、高いところから落とした時の方が衝撃は強くなりますよね？

それと同じです！

※この手法は上記画像の様に HIGH エントリーに対して有効な手法となります。

5. 私のメイン裁量手法

～ライン+周期+値幅観測を利用した勝率重視の裁量手法です。～

サイクルとラインについては理解いただけたかと思いますので、
続いてサイクル+ライントレードの解説をしていきます。

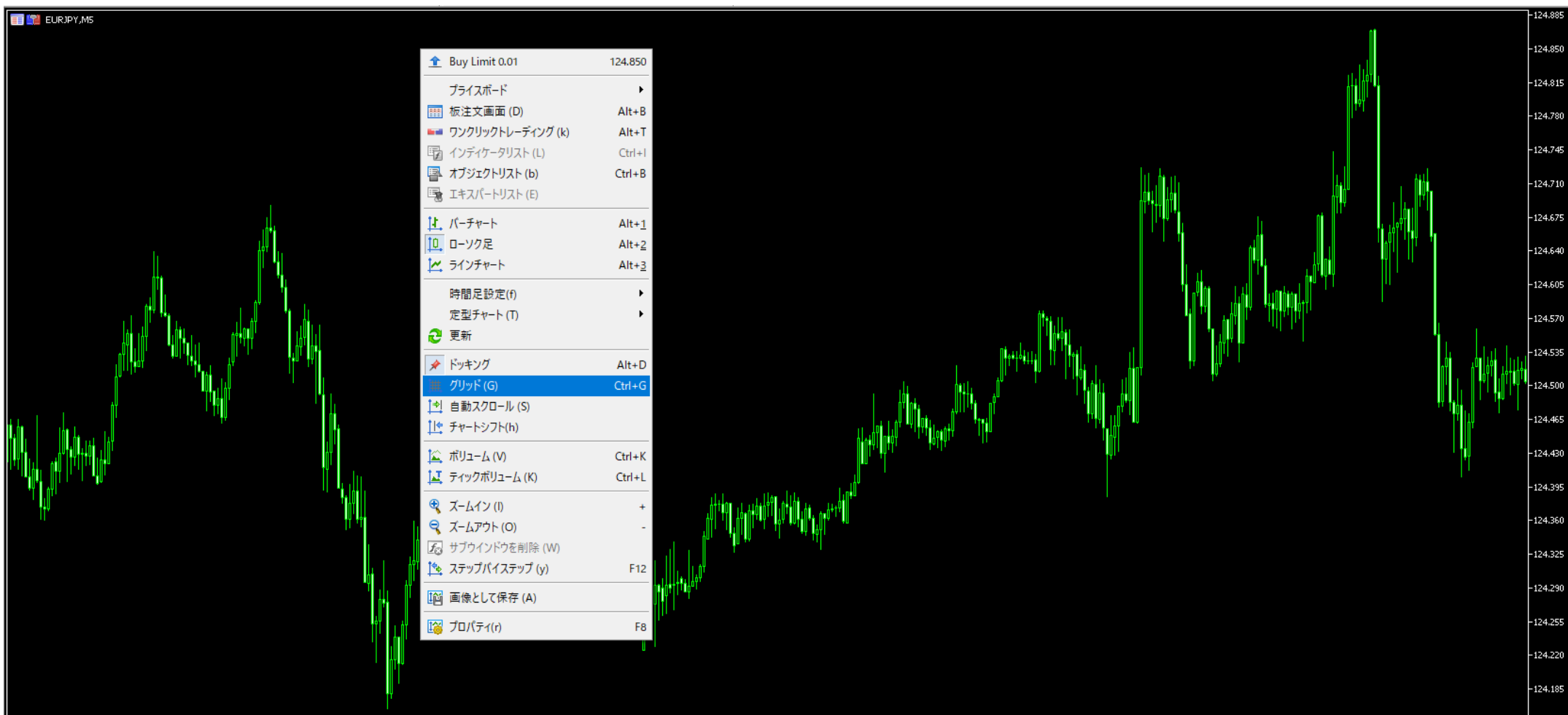
サイクル・ライン・値幅を組み合わせることで大きく勝率は上がる事でしょう。
なぜなら、これらは全て「大衆心理」を利用した手法であるからです。

相場を動かしているのは不特定多数の人間ですから、その大衆の心理をトレードに用いることで勝率を上げることが可能になります。

『チャートの設定』



初期設定では画像の様に「グリッド線」がチャート上に表示されていると思いますので、これを消しましょう。

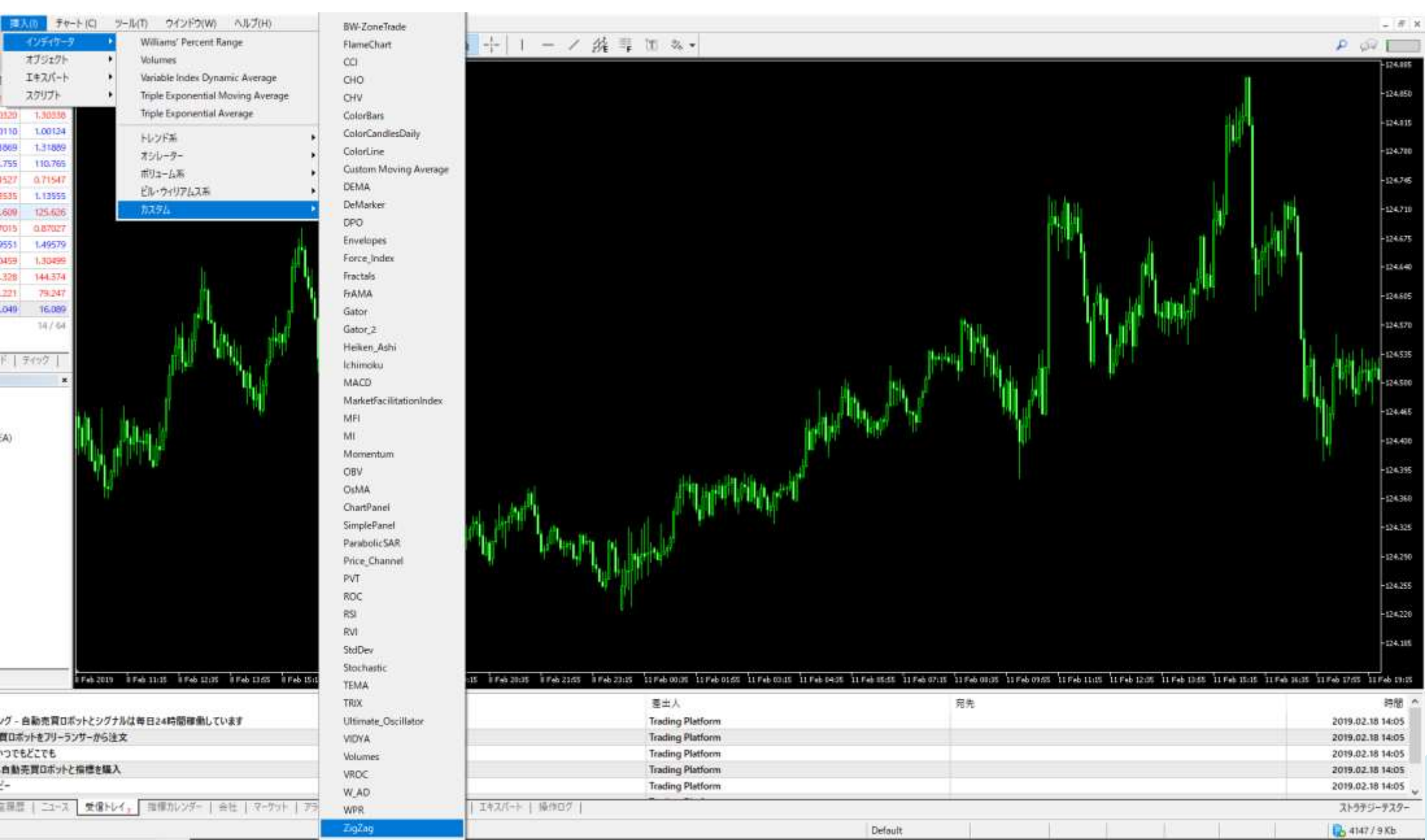


チャート上で「右クリック」→「グリッド」を選択すると消すことができます。

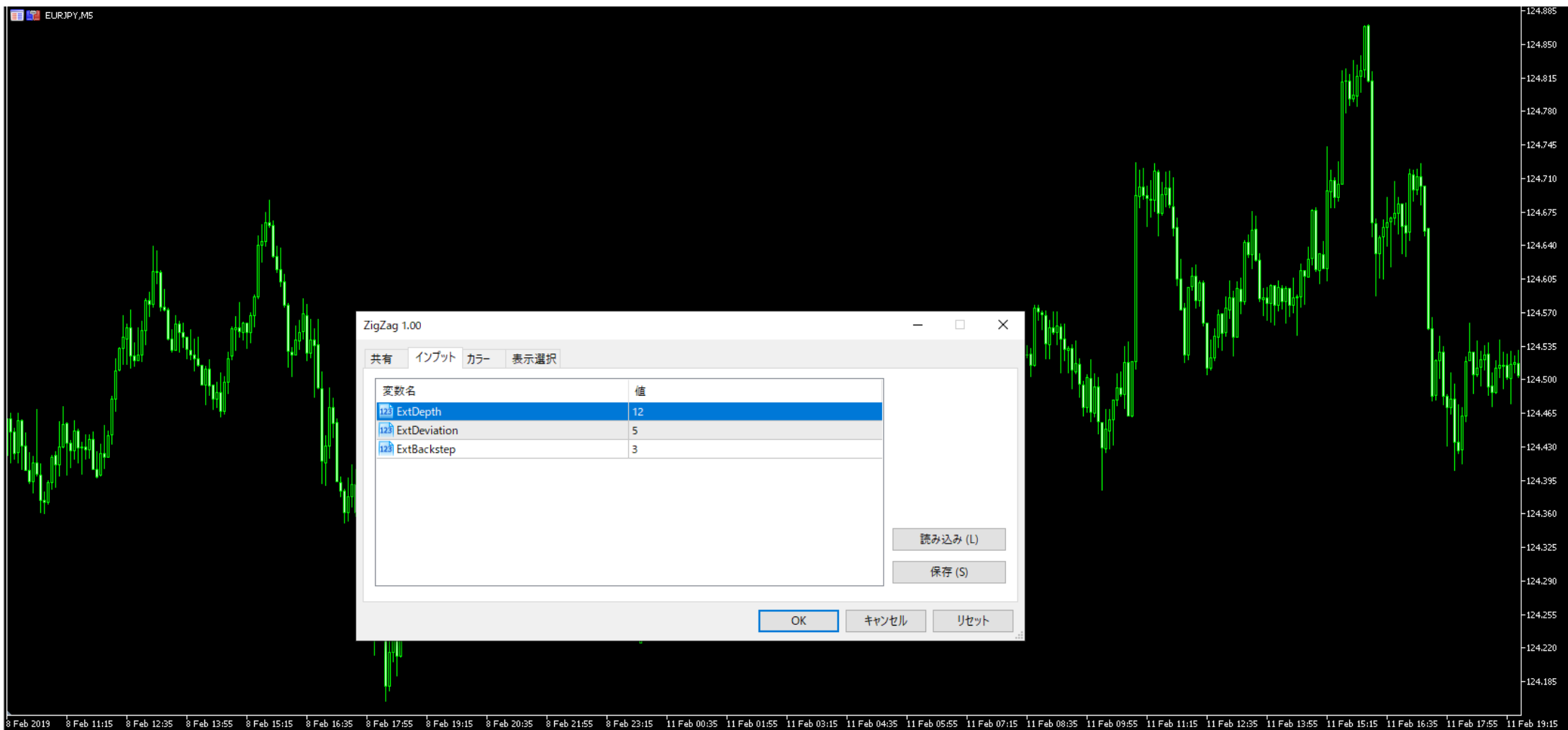
残念ながらスマホではグリッド線を消すことが出来ない為、目立たない色に設定しておきましょう。

『チャートの波形が分かりにくい方用の設定』

チャートの上昇、下降の波形が分かりにくいという方は「ZigZag」というインジケータをチャートに表示させてください。



「ZigZag」の表示方法は上記画像を参考にどうぞ！

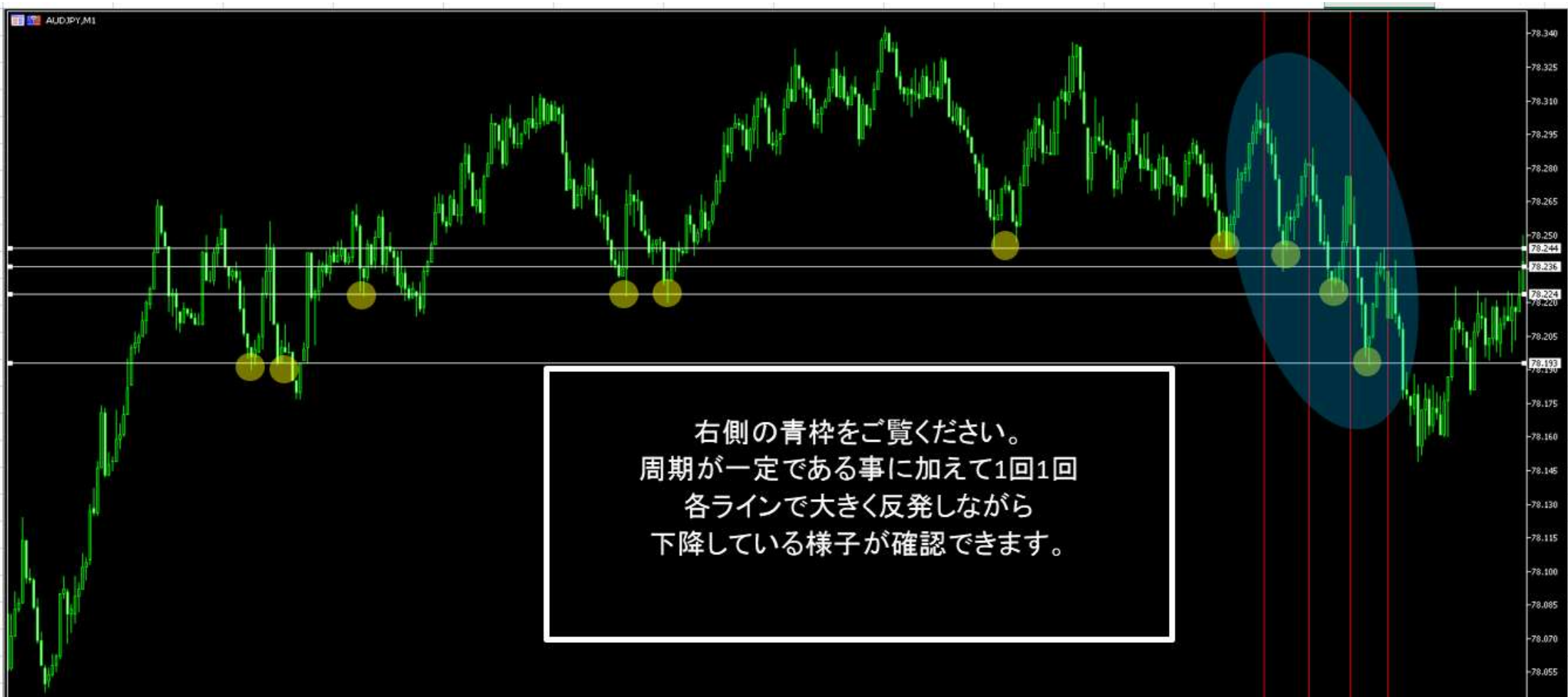


初期設定では上記画像の様に上から

12→5→3 の設定になっているかと思うので上から順に 5→5→3 となるように変更します。

サイクル+ライントレードは、名前の通りサイクルトレードにラインを組み合わせることにより、更にエントリー時の根拠を強める手法です。
私の手法ではそこに「値幅」の根拠を加える事で、勝率の向上を図っています！

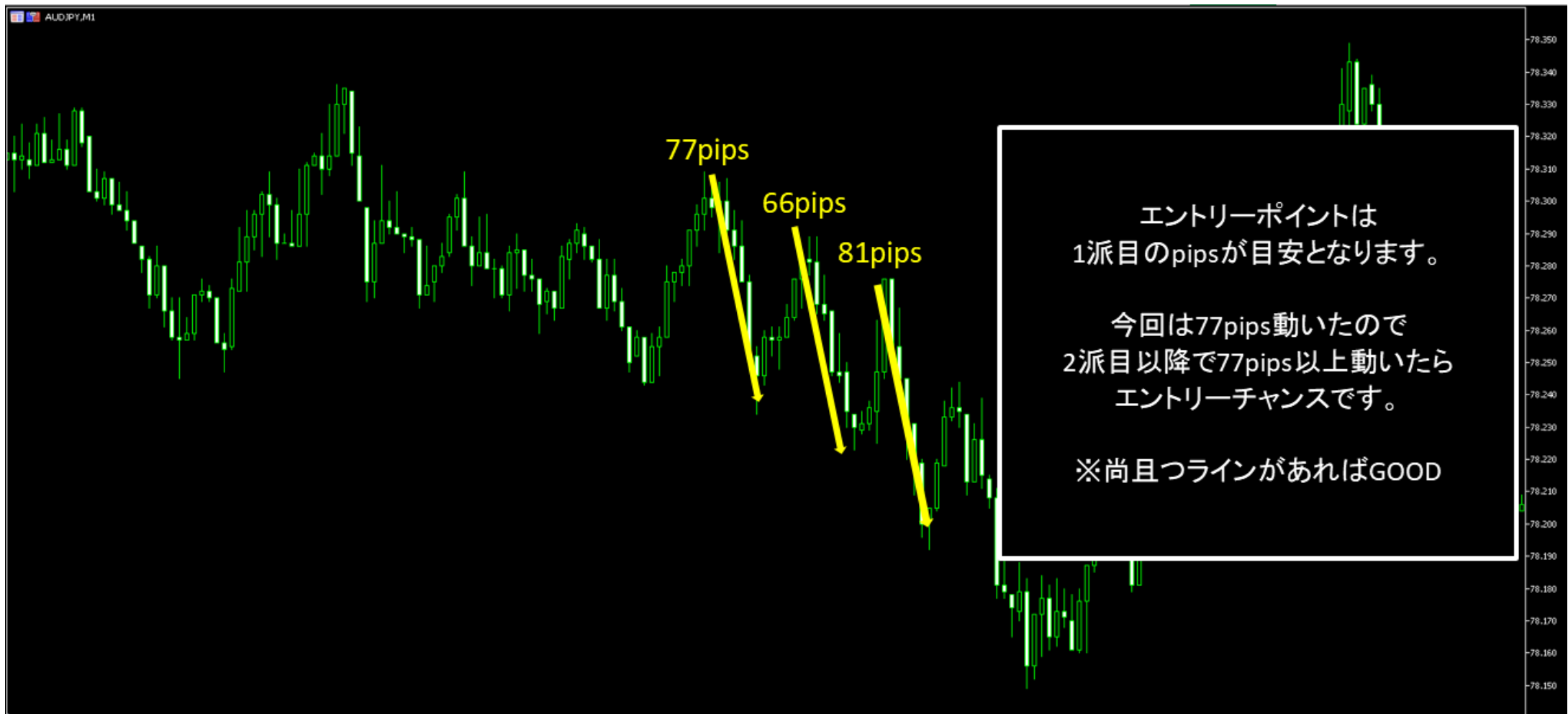
下記画像をご覧ください。



周期が一定 + 毎回ラインで大きく反発しながら値動きしている時はエントリーの強い根拠となります。

『更に勝率を高める為に』

サイクル+ライントレードを行う上でもう1つ着目したいのが上昇・下降1つ1つの波の動いた pips です。



1 回目の下落が 77pips であった為、今後 77pips の下落があった場合エントリーチャンスとなります！

2 回目の下落では下落幅が 66pips で 77pips に届かなかったので見送り。

3 回目の下落で目標の 77pips に到達したので HIGH エントリー。

サイクルトレードでは同じ周期が 1 回よりも 2 回。2 回よりも 3 回続いた方が、より反発が大きくなる傾向にあります。

7. 値幅観測に利用できるオブジェクト

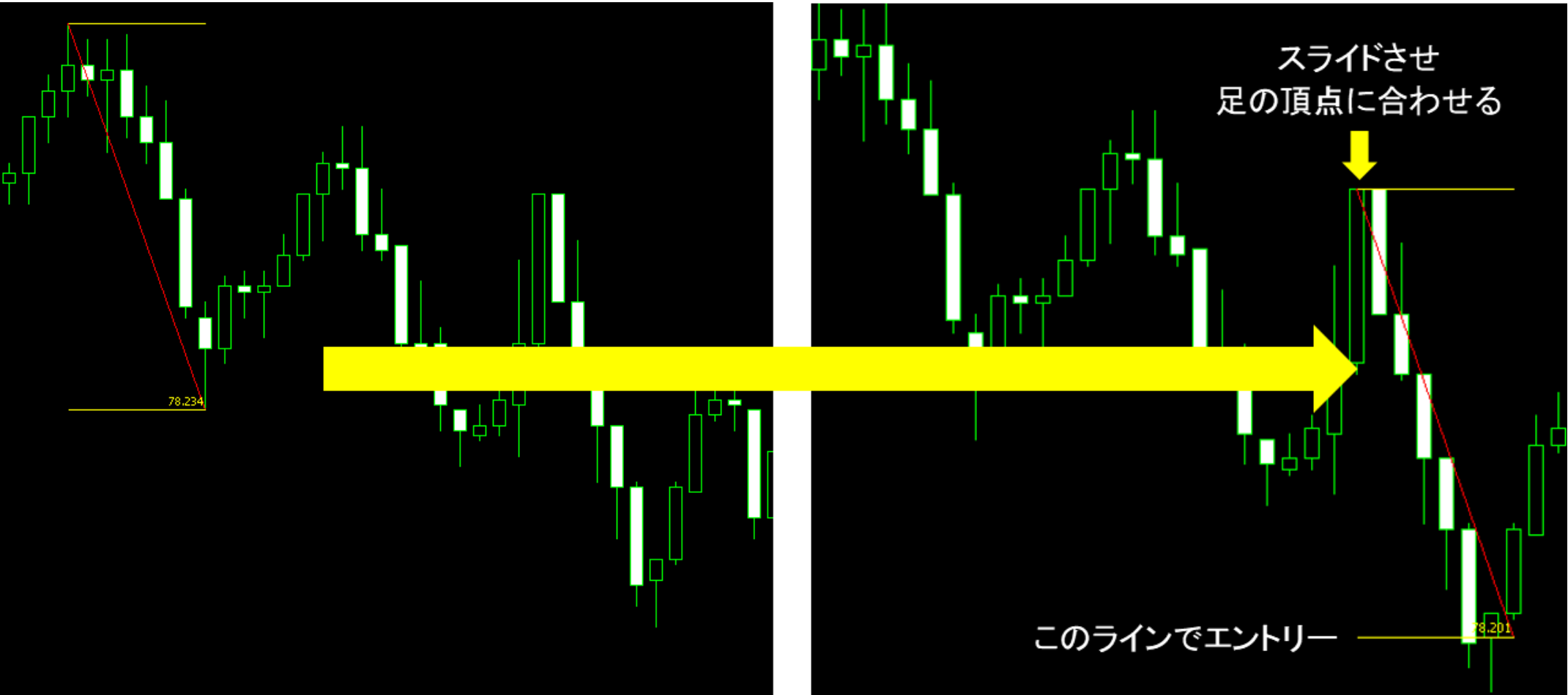
ここでは値幅観測に利用できるオブジェクトを2つ紹介します。

①トレンドライン（MT5のみ値幅観測に利用可能）



一度引いたトレンドラインはサイズを変えずにスライドする事が出来るので、そのまま次の波の値動きを図るのに利用出来ます。

②フィボナッチ



次ページに続きます。

『フィボナッチの設定方法』



利用するのは「フィボナッチリトレースメント」です！

フィボナッチは設定を変更する事により、上記画像の様な逆 Z 形のオブジェクトとして利用する事が出来ます。

※MT4 と MT5 では、設定は同じでもチャート上でのフィボナッチの表示形式が異なりますのでご注意ください（次ページ参照）。

この状態のフィボナッチは上下に短い水平線ラインを引けると同時に値幅も測定可能なので私のトレード手法では重宝しています。

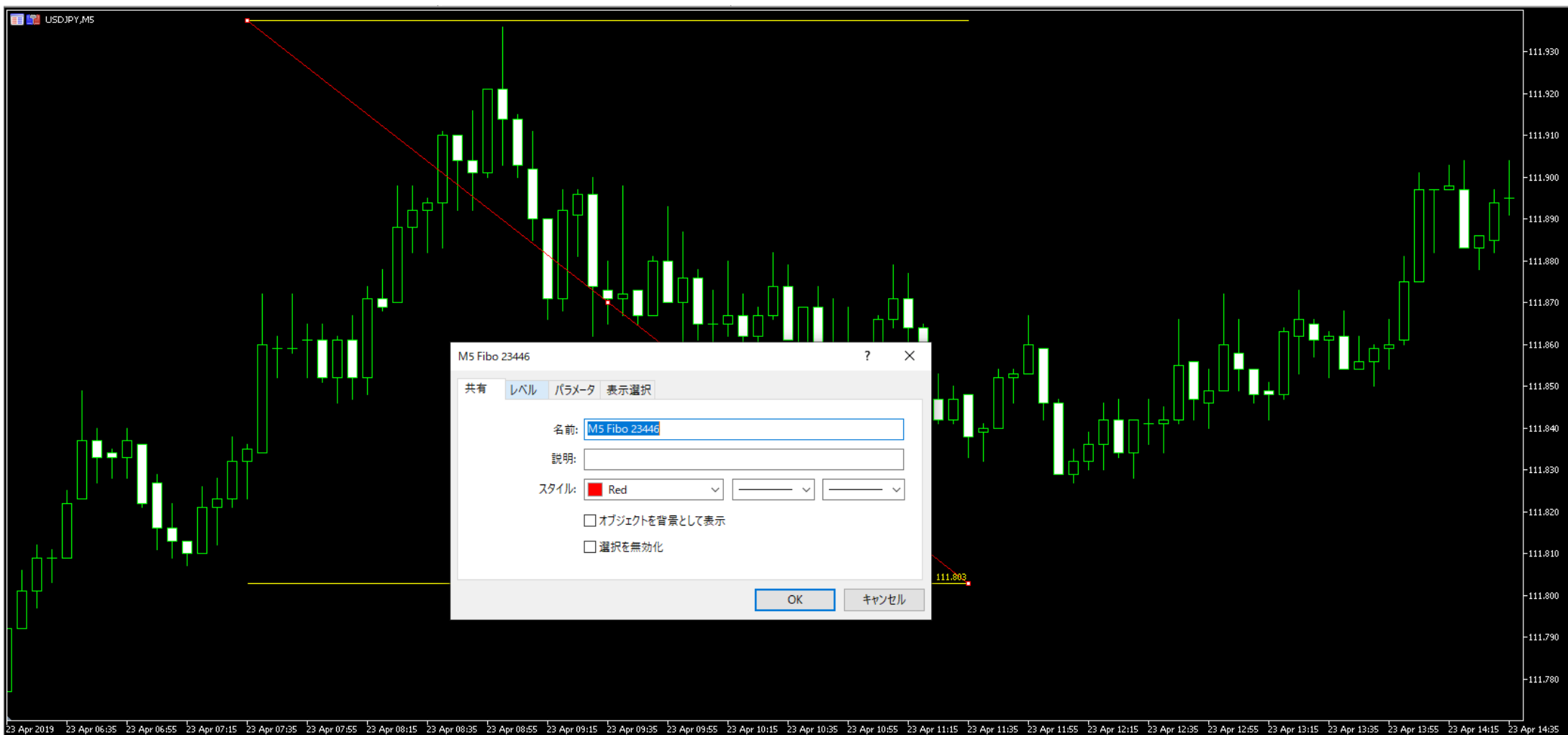


次ページの設定を行った場合に、MT4では水平線ラインが右側画面いっぱいまで引き延ばされて表示されます。MT5を利用している方は私と同じ形で表示されます。
私の取引手法の場合、値幅を図る事が目的の為Z形でなくても問題ありません！



まずはフィボナッチをチャート内に表示してください。 初期設定では私の様に逆 Z 形ではありませんが、気にせず作業を進めてください。

初期設定のフィボナッチがチャート上に表示出来ましたらフィボナッチ上で右クリック→「フロパティ」を選択



このような画面が表示されますので「レベル」を選択してください。

M5 Fibo 23446 ? X

共有 レベル パラメータ 表示選択

レベル	詳細
0 0	%%\$
1 1	

追加
削除
編集
デフォルト

Yellow

OK キャンセル

レベルを選択しますと、初期設定では一覧に多くの数字が表示されると思いますので、 レベル 0 とレベル 1 を残しそれ以外のレベル & 設定を全て削除します。

その後上記画像の様に

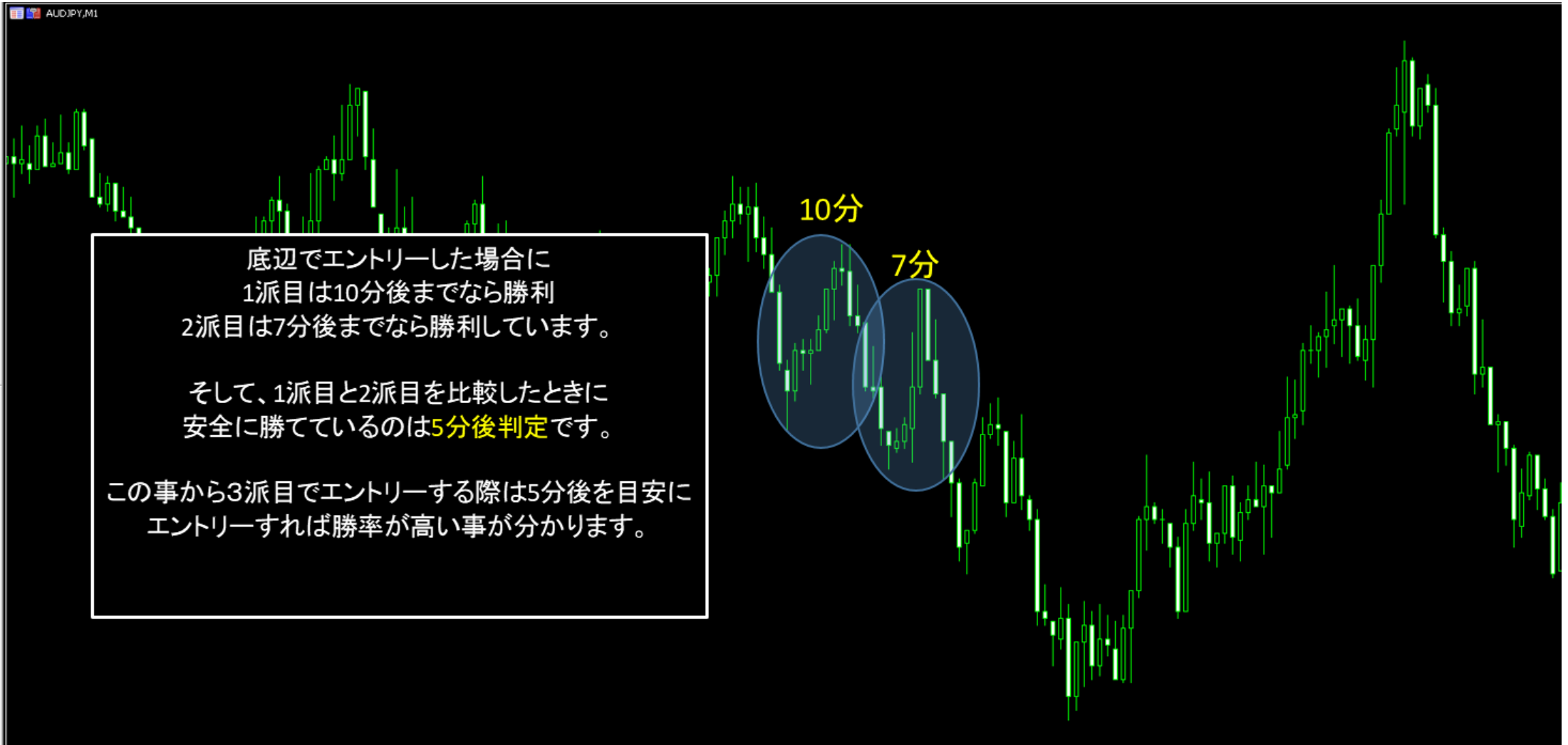
レベル 0 の設定を % \$

レベル 1 の設定を空白にすれば設定は完了です(#^^#)

この設定が完了すると私と同じく逆 Z 形のフィボナッチを利用する事が出来るようになります！

トレンドラインもフィボナッチも本来の使い方とはまるで異なりますが参考までに(^^♪

判定時刻の決め方

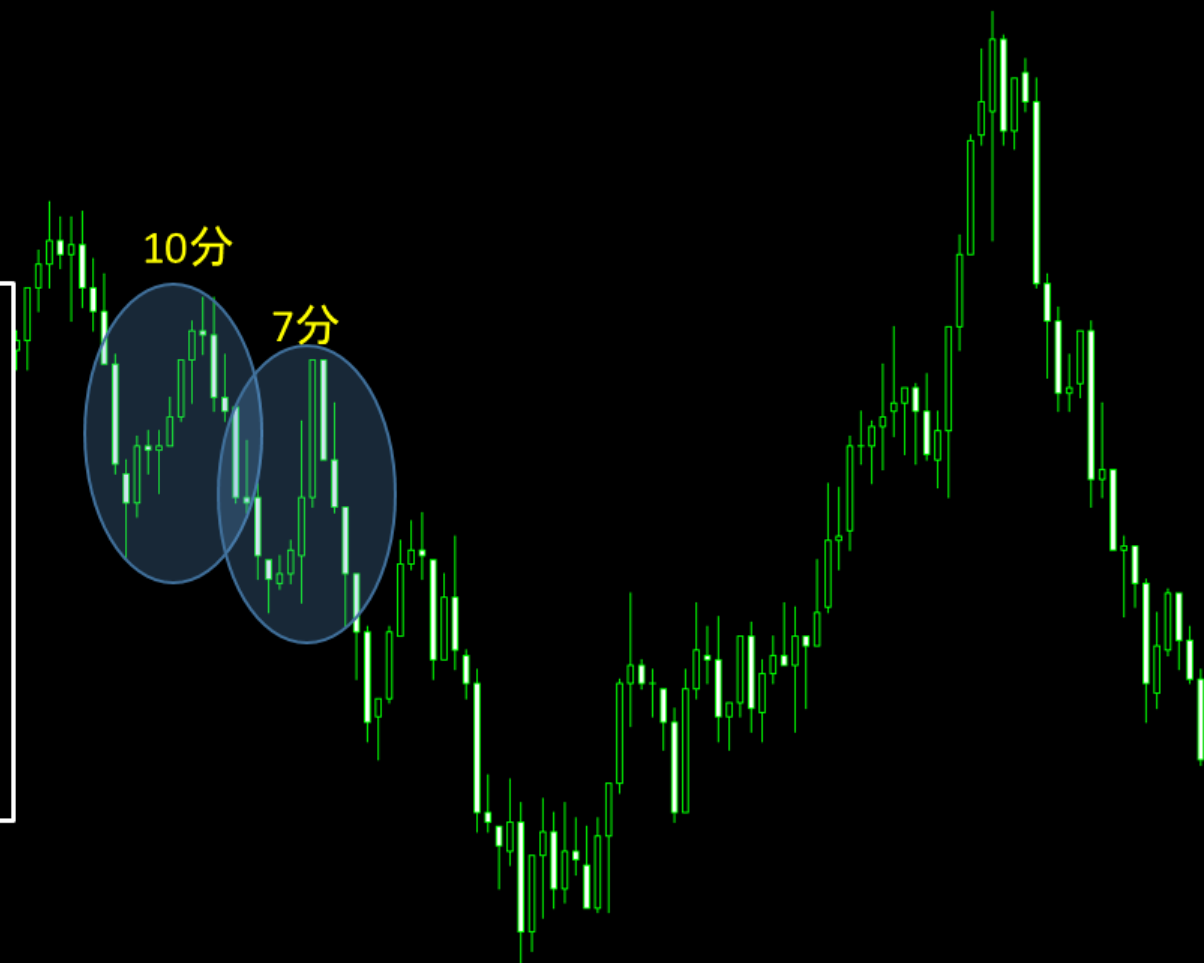


判定時刻を決める際は直前の値動きの反発を元に決定します。
直前の波でエントリーした場合に何分後の判定なら勝っていたのかを確認します。
その時間を元に判定時刻を決めれば OK です！

底辺でエントリーした場合に
1派目は10分後までなら勝利
2派目は7分後までなら勝利しています。

そして、1派目と2派目を比較したときに
安全に勝っているのは**5分後判定**です。

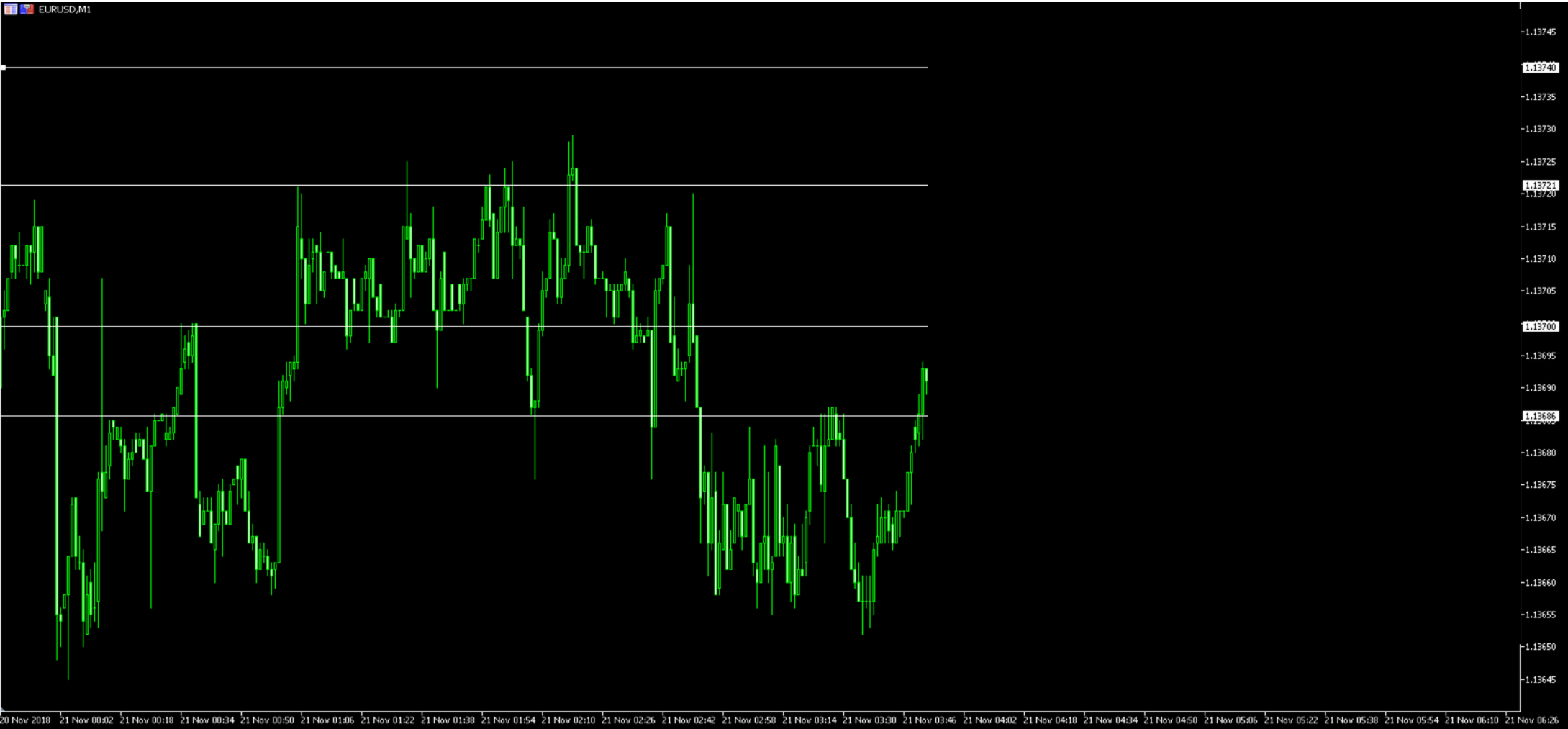
この事から3派目でエントリーする際は5分後を目安に
エントリーすれば勝率が高い事が分かります。



上記画像では5分後判定が目安になっていましたが、出来れば10分～15分以上の反発が見込めるポイントでエントリーするのが理想。
反発時間が長いという事は、それだけ余裕のある勝負をする事が出来るという事なのでメンタル管理の面で非常に優位になるからです。

実践！実際にエントリーする時の流れ

復習を兼ねて、実際にエントリーする時の流れを見ていきましょう。



まず初めに、チャンスの有り無しに関わらず、事前の準備として意識されているだろうポイントに水平線ラインを引いておきます。
上の画像の時点ではまだエントリーポイントが訪れる兆しはありません。

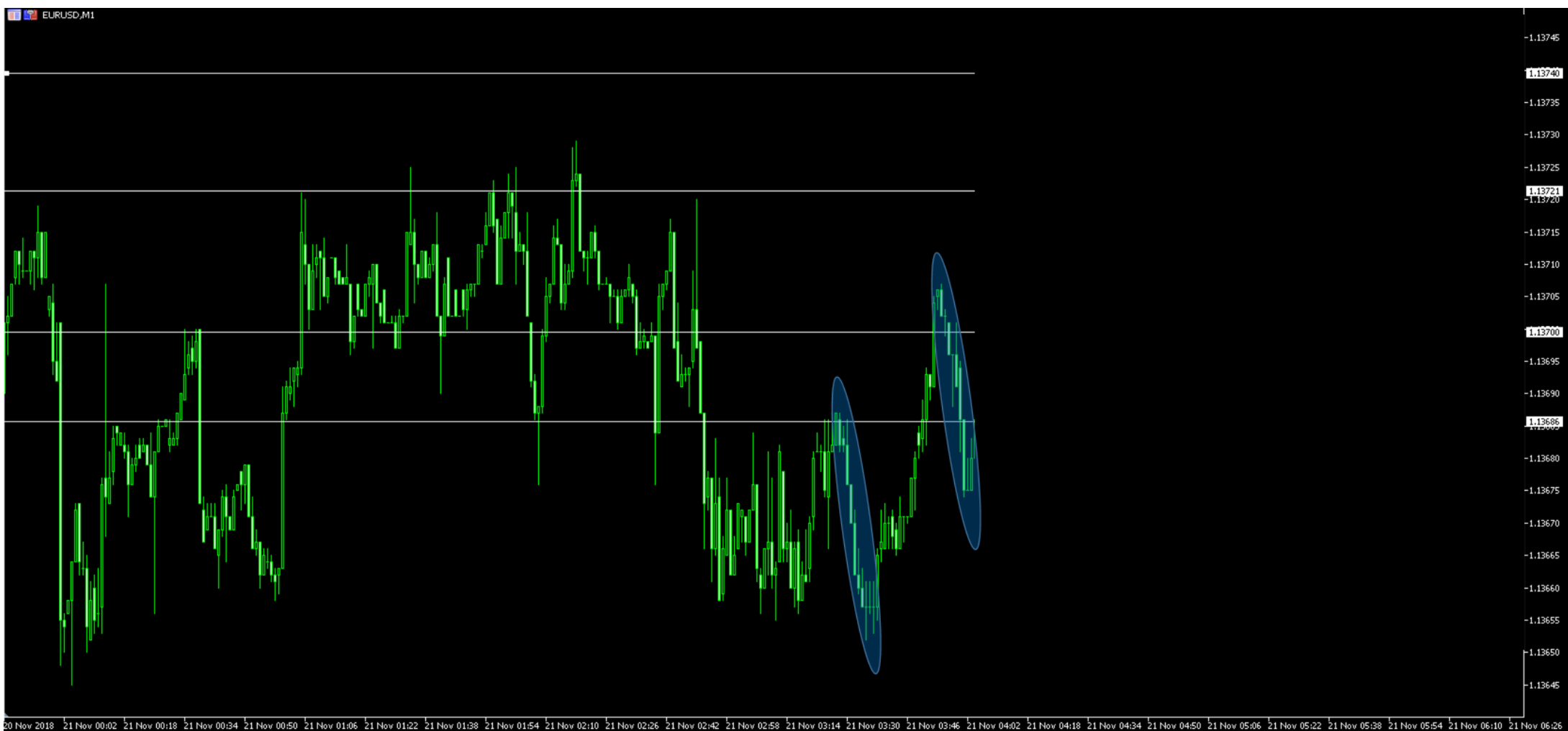
このままもう少し様子を見ていきましょう。



先ほどの画像から数分後の波形です。

この時点で何かお気づきになった方は、私の手法に対する理解が深いです！





青丸で囲った部分の動きと形を見てください。

どうですか？似ていますよね？？

ここで先ほど紹介したトレンドラインやフィボナッチを利用して値幅を計ってみましょう！

すると…



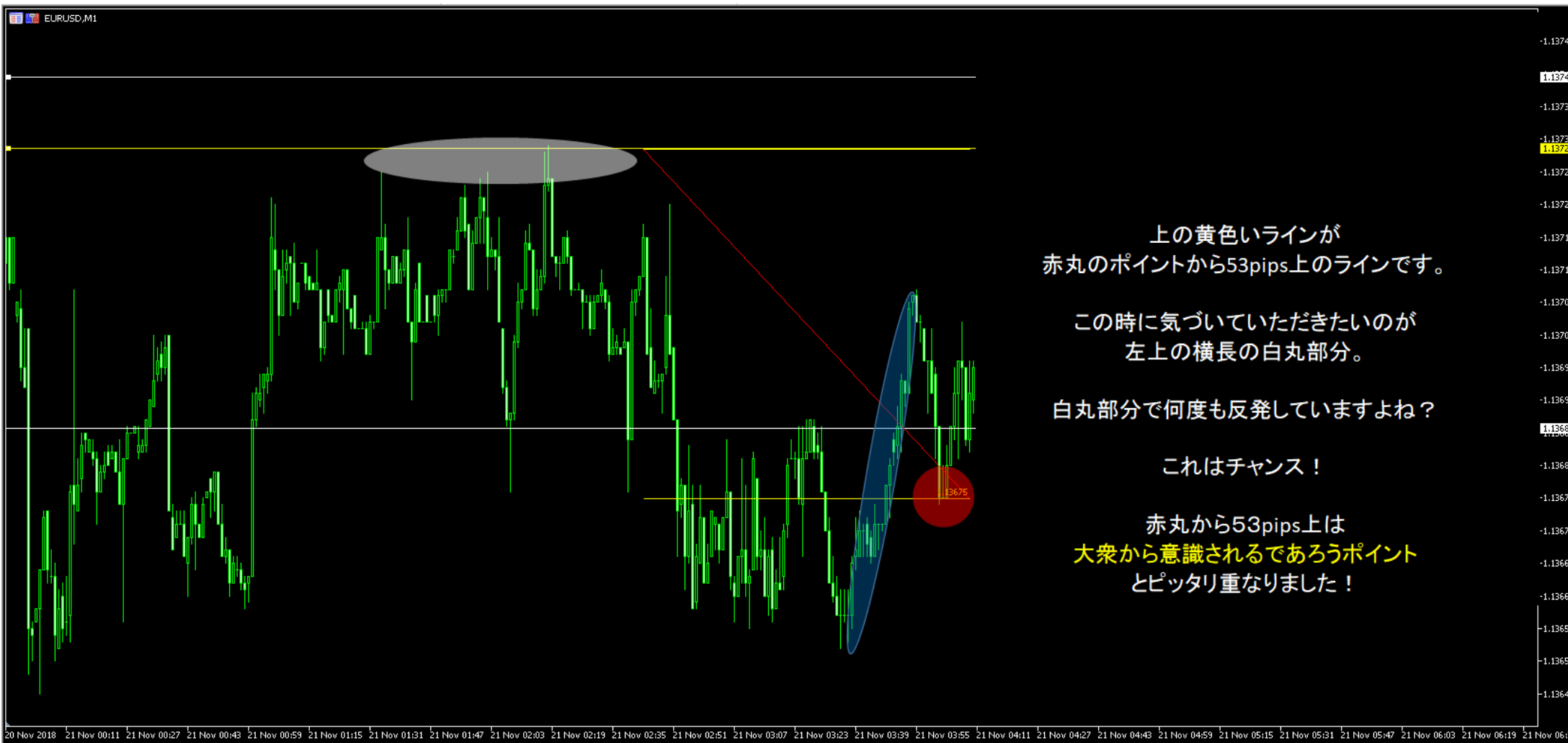
1 波目が 35pips の下落に対し 2 波目は 33pips の下落という結果でした！

「下落の形はほぼ同じ」という事は「次の上昇も同じサイクルで上げてくるかも！」という予測が出来るので、次の上昇に対して予め準備を始めます。

↓ 次ページに続きます。



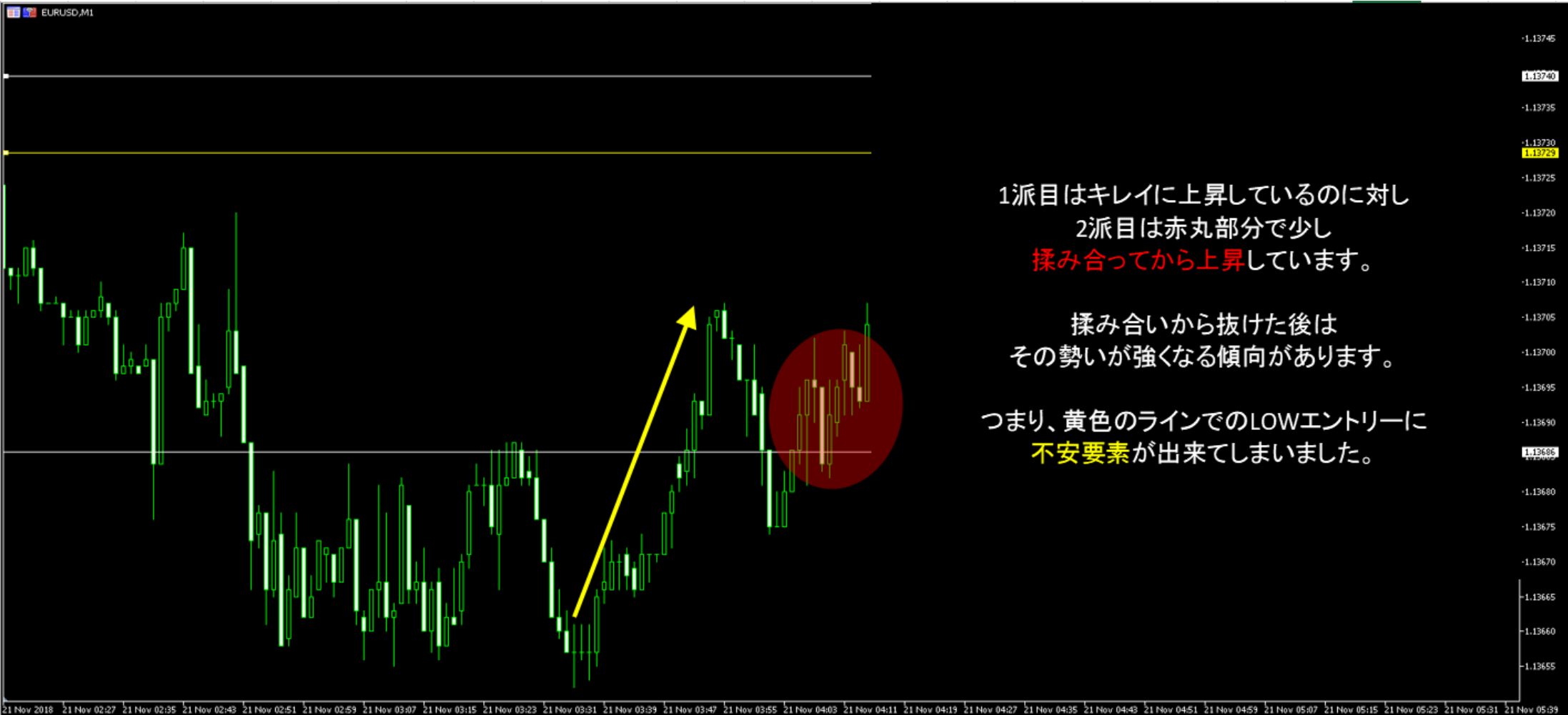
青丸の上昇で 53pips 動いていたので、次の上昇も 53pips 程動く予想し、赤丸のポイントから 53pips 上のゾーンに予めラインを引いておきます。



赤丸から 53pips 上に引いたラインが「大衆から意識されているだろうライン」とピッタリ重なりました！これはチャンスです。

このまま 1 波目と同じ様に「キレイに」上昇したら LOW エントリーで勝負を行います。

しかし、少々問題が発生。



1 波目と同じく、2 波目もキレイに上昇してくれていれば LOW エントリーのチャンスでしたが
赤丸で揉み合ってしまった事により、黄色いラインを突き抜ける確率が少し高まりました。

この時点で勝率を重視するトレーダーはエントリーを見送る判断をします。
しかし、もみ合った時間が短いのでチャンスであることに変わりはありません。
このままもう少し様子を見ていきましょう。



結果的に赤丸部分（黄色いライン）で予想通りに反発しました！
LOW エントリーを我慢した方は少し悔しいかもしれませんが、その我慢を出来るかどうか
「稼ぎ続けられるかどうか」につながります。

そして諦めるのはまだ早い！
画像をご覧くださいと 3 回目の三角を形成し始めています。

しかも「ここまでの流れがほぼ同じ」です！つまりここですべきことがあります。



1 回、2 回と同じ形の三角を作ってきたので「この後 3 回目も同じ形を作りに行く！」と予測し
赤丸から 53pips 上にラインを引いて準備をします。

このままキレイに上昇してくれば上の白ラインで LOW エントリーを行います。

結果は…



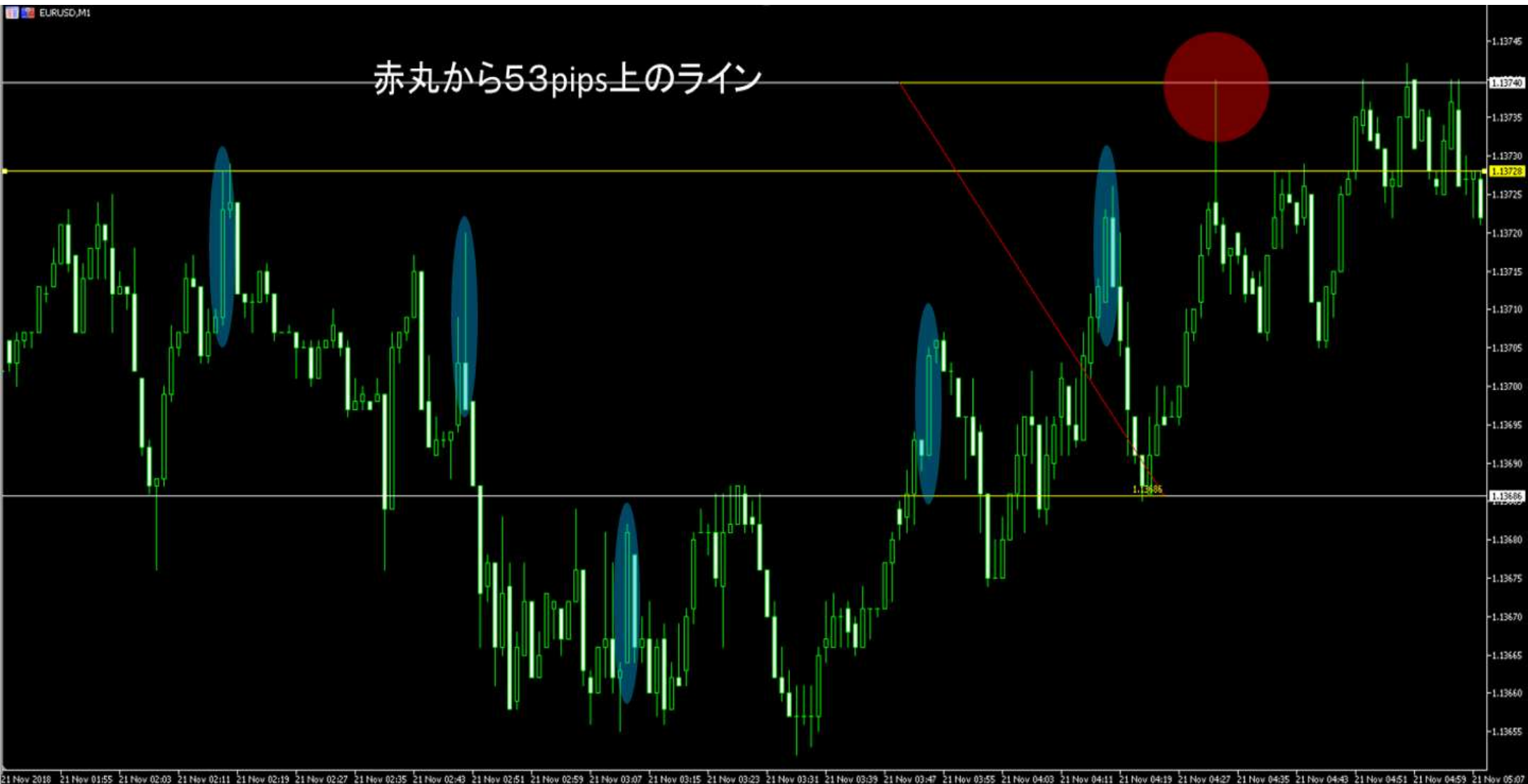
予想通りにキレイに上昇し、ピッタリ「53pips」のラインで反発しました！
この一連の流れがサイクル+ライントレードを行う際の手順と最低限の考え方となります。

『先ほどのエントリーポイントの加点要素』



実はこの時のチャートからは「ある特徴」を確認できます。青丸部分に注目しましょう！
「ある特徴」皆様は分かりましたか？

赤丸から53pips上のライン



青丸内の値動きを見てみると「太陽線に対して大きく反発」していますね！

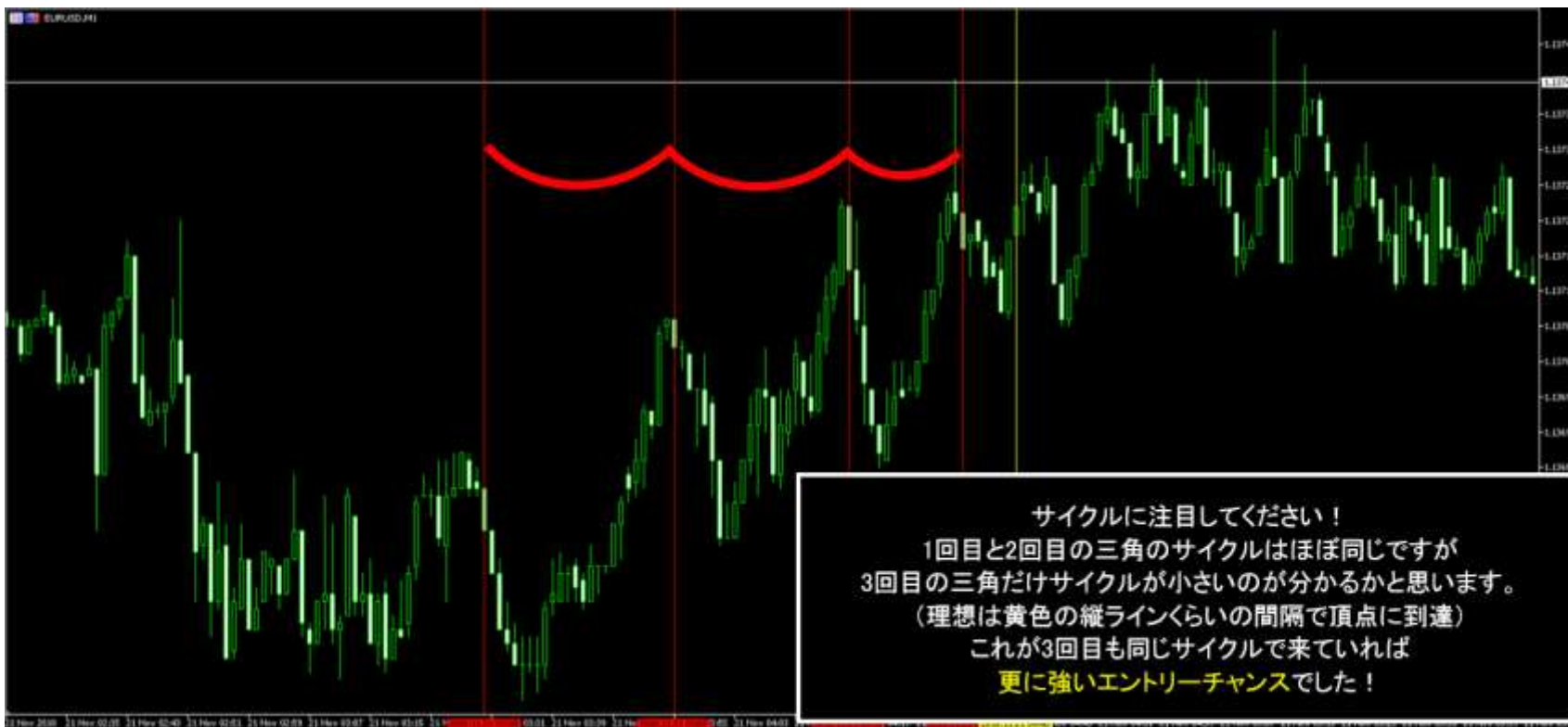
エントリーした赤丸部分は勢いよく陽線を引いたため、

若干フレイクしそうな不安を感じるかもしれませんが、直近の相場でこの様な特徴を確認出来た為、反発する根拠・加点要素として考える事が出来ました(#^^#)

必ずしも相場がこの様に過去の動きを繰り返すわけではありませんが

裁量取引では「過去相場の値動きの特徴」を見つけ、現在の取引の判断材料として利用する事が勝率アップにつながります！

『更に勝率を求めるならば』



上記画像はエントリーの手順解説で利用したチャート画像です。先ほどの解説では3回目の三角の頂点でエントリーをしましたが、実は「**多少妥協したトレード**」であり本来私が予測していたよりも5～7分ほど早く頂点に達してしまいました。

画像をご覧くださいと分かりますが、1回目、2回目がほぼ同じサイクルで来ていますよね？

それに近いサイクルで3回目も上昇してきていれば更に強い**エントリー根拠**となりました(;∀ ;)

サイクルトレードで勝率に拘るならばこの様なポイントを抑える事も忘れずに！

しかし、100点満点のエントリーポイントはそう現れるものではありませんし、現れたタイミングで自分がチャートと向き合っている保証もありませんからトレード回数を僅かでも稼ぎたいのならば多少の妥協は必要です。

「多少の」ですよ(ー)

10勝9敗よりも、1勝0敗の方が価値はあります。

これは私個人の考えですが「トレード回数」に拘るのではなく「勝率」に拘りましょう。



『補足：先ほどのエントリーの判定時刻について』

1 回目、2 回目の三角共に 15 分後判定で勝てているので、15 分取引の最長判定で問題ありません。

しかし、1 回目 2 回目の下落時間を観察すると、どちらも 5～10 分判定が最もキレイに反発して勝利する事が出来ているので、それを元に 3 波目では 5～10 分後を判定時刻に選ぶのも有効です！

この様に判定時刻を決める時は「直前の波形が何分判定なら余裕を持って勝っていたのか」を観察して判断していきましょう。

10. 特徴の違うエントリーポイント4選とその解説

エントリーポイントの中からチャートに癖があり特徴も違う4枚のチャート画像を抜粋！

※悪い言い方をすればこれらは妥協エントリーの数々とも言えます。

各ポイントの解説も次項で行いますので「なぜそこでエントリーをしたのか？」「何を考えていたのか？」
それらを少しでも共有できればと思い掲載しました！

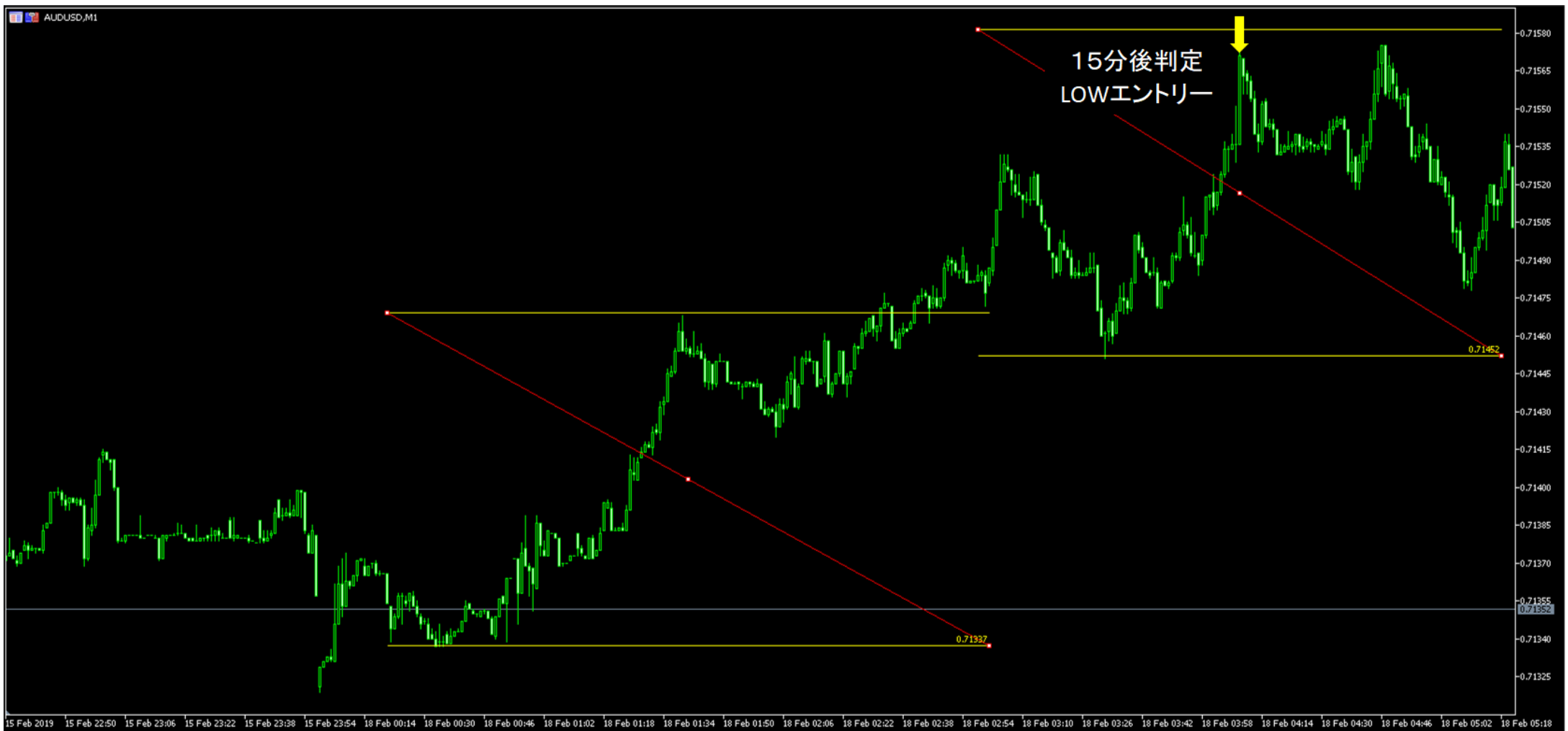


2019-2-26CHFJPY 1分足 2/26 MT4 時間12:30頃 5分判定HIGH



2019-2-25GBPJPY 1分足 2/25 MT4時間13:00頃

15分判定HIGH



2019-2-18AUDUSD 1分足 2/18 MT4 時間4:05頃

15分判定 LOW



2019-2-26AUDJPY 1分足 2/26 MT4 時間 4:45 頃

5分判定 HIGH

次ページよりこれらの解説を行います！



2019-2-26CHFJPY 1分足 2/26 MT4 時間12:30頃 解説

5分判定 HIGH



まずチャートを縮小していただくと分かりますが、今回のチャートは「**ラインがポイントでしっかり効いている**」特徴が確認できます。

水平線ライン毎に丸の色を変えてみましたのでご確認ください！

これだけの回数ラインが効いているのです。

短期で見ると下降トレンドの様にも見えますが今回は強いトレンド相場ではなく長期で見ればレンジ期間であったため HIGH エントリーは有効と判断。

※長期足が上昇トレンドであれば良かったのですが…



値幅は上記のようになっていました。

1 回目の波形 7 8 2 回目の波形 6 4 3 回目の波形 7 1

手法紹介では 1 回目の波形の動いた pips を基準にすると記載しておりますので、その通りであればここはエントリーをしないポイントとなります。
しかし、過去のラインでの反発実績が有効であったことから、次のラインの信用性も高いと判断し

1 回目 78pip と 2 回目 64pip の平均値 71pip~78pip の間でサポートゾーンとして捉えエントリーしていこうと考えました。

過去の反発値幅から見ても、十分な値幅が確認出来たため、ゾーンでのエントリーでも問題ないだろうという予測もこの時に立てています(#^^#)

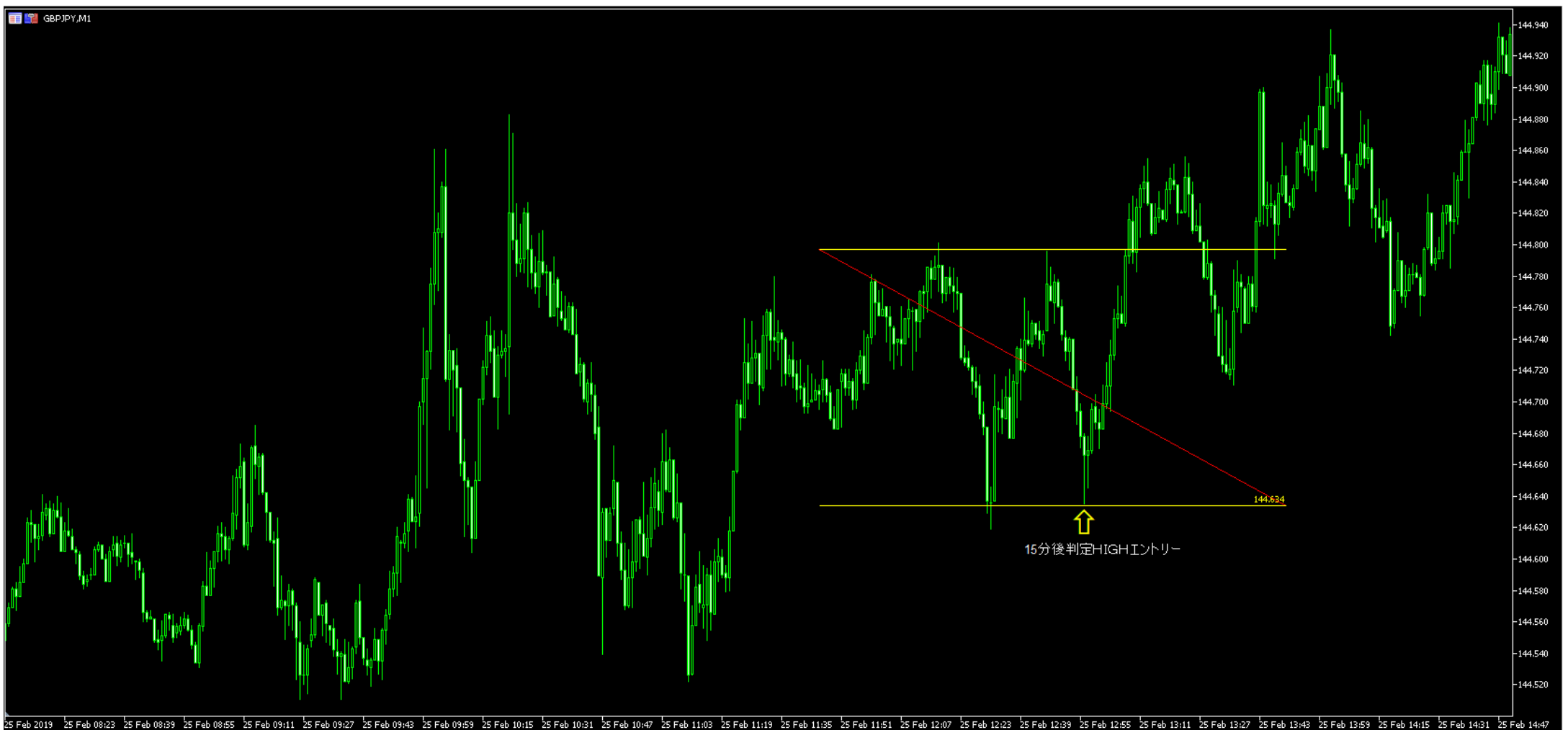


※この時は 71pip のラインで 1 本エントリーをしています、これが 78pip まで動いた場合は保険としてもう 1 本打つ予定でもいました。

このエントリーのポイントをまとめると

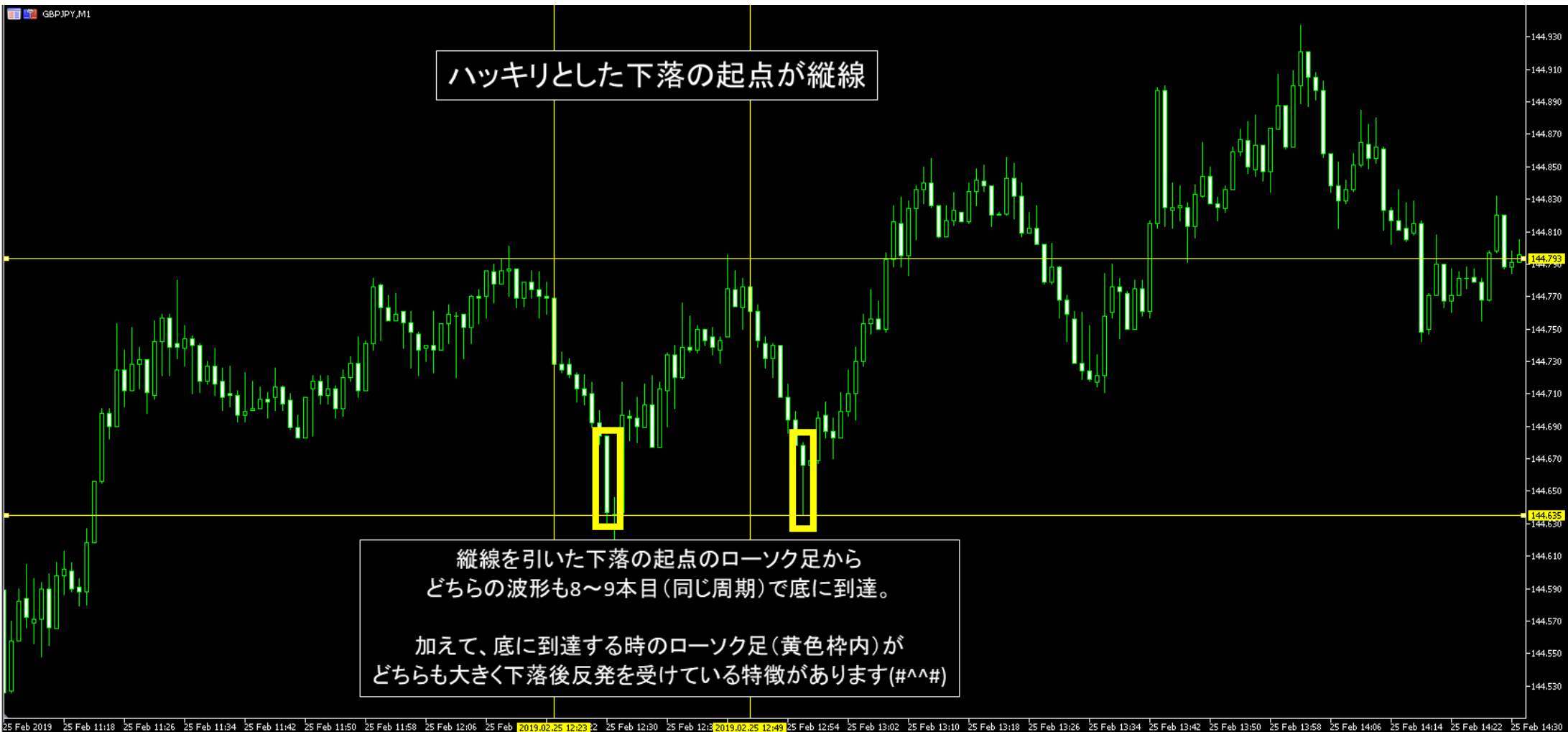
- ラインが有効に働いている
- 強いトレンドに逆らう逆張りエントリーになっていない
- 値幅の平均値～理想の値幅の間でラインが確認出来ている為ゾーンとしてラインを考えた。
- 時間のサイクルも悪くない

理想のエントリーではありませんが、加点材料が多かったためエントリーした感じですね(*´ω`)



2019-2-25GBPJPY 1分足 2/25 MT4 時間13:00頃 15分判定HIGH

こちらのエントリーは本資料内「3. サイクルトレード②」で紹介しておりました
サイクルのみでのエントリーとなります。

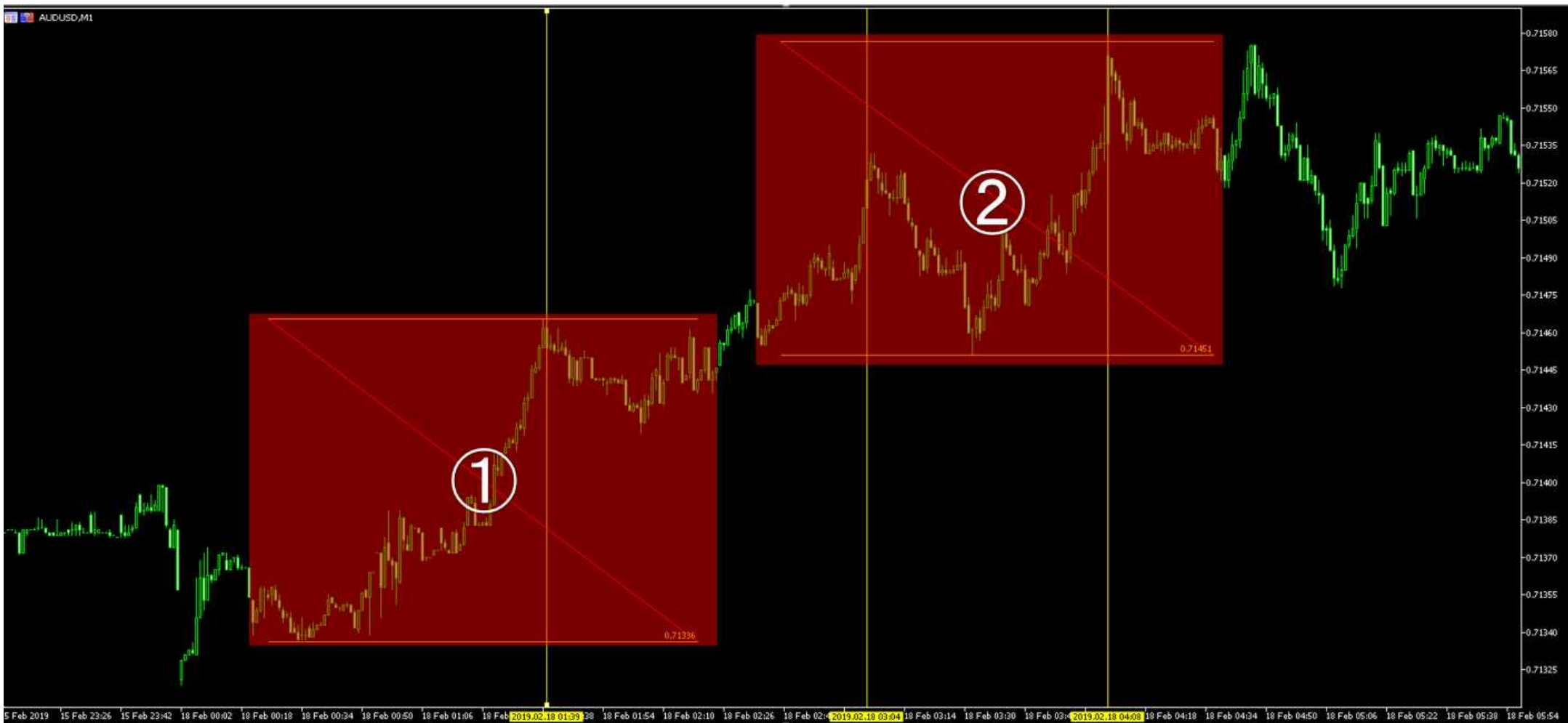


上記画像に表記した通り、下落の起点となったローソク足からどちらも8~9本目で底に到達している。
加えてそこに到達する時に大陰線に対してしっかりと反発をしている様子を1つ目の波形で確認しており
2つ目の波形も同様に大陰線を引きながら底に到達してきた為エントリーを行っております(#^^#)

この様な波形は1日に1回以上は基本現れますのでエントリーポイントを増やす意味でも着目してみてください！



2019-2-18AUDUSD 1分足 2/18 MT4 時間 4 : 05 頃 15分判定 LOW



まず 1 回目の波形と 3 回目の波形の値幅が一致しています(#^^#)

※画像では①、②番

サイクルライントレードの項で解説しましたが

1 回目の波形で動いた pips 分 3 回目の波形で値動きした時はエントリーの強い根拠となります。

ここにどれだけ加点要素を加えていけるのかがポイントです。

このまま次ページにて解説を続けていきます。

続いてサイクルを確認しましょう！



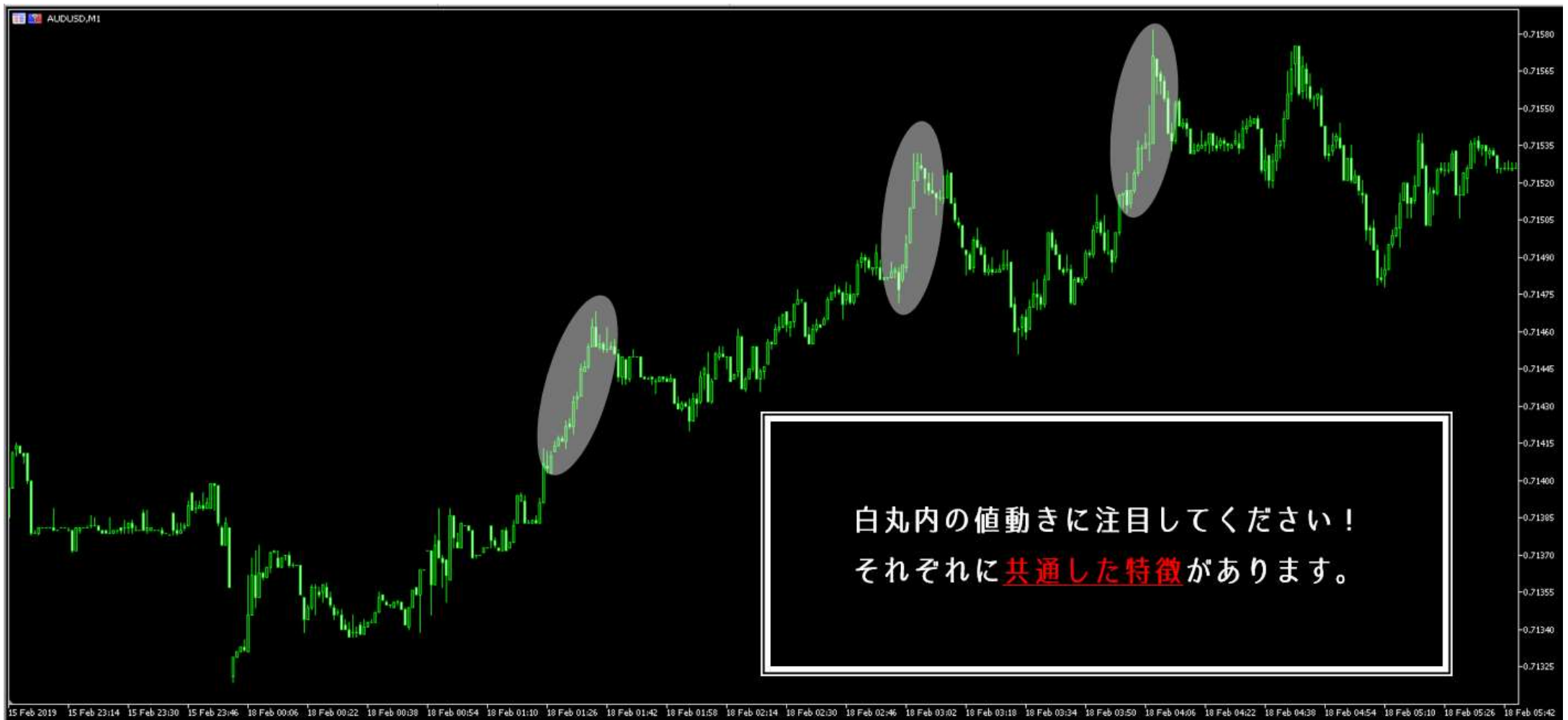
縦線を値動きの頂点に引いたところ時間のサイクルはこの様にバラツキがありますので

エントリー根拠としては減点対象。

加えて短期的なトレンドは上昇トレンドの波形を描いていたので LOW エントリーも下降トレンド時より不利になります。

ではなぜそんなポイントでエントリーしたのかというと、次の共通点を確認できたからです。

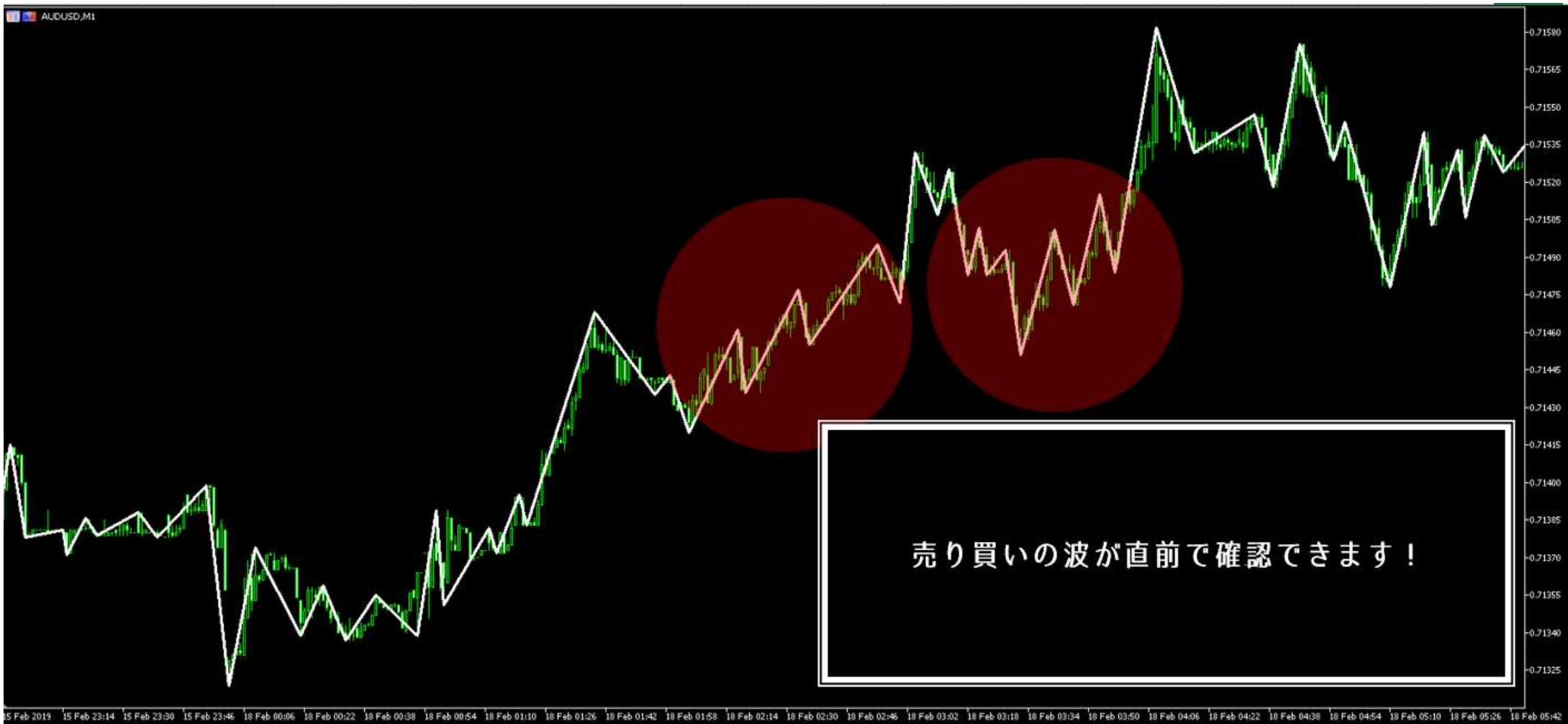
共通点は次ページで解説していきます。



画像が小さいので確認しにくいかもしれませんが白丸内のローソク足に注目してください。
それぞれに共通した特徴を確認出来るかと思います。

その特徴とは「連続して陽線を引いた後に大きく反発をしている」という特徴です！

更に…

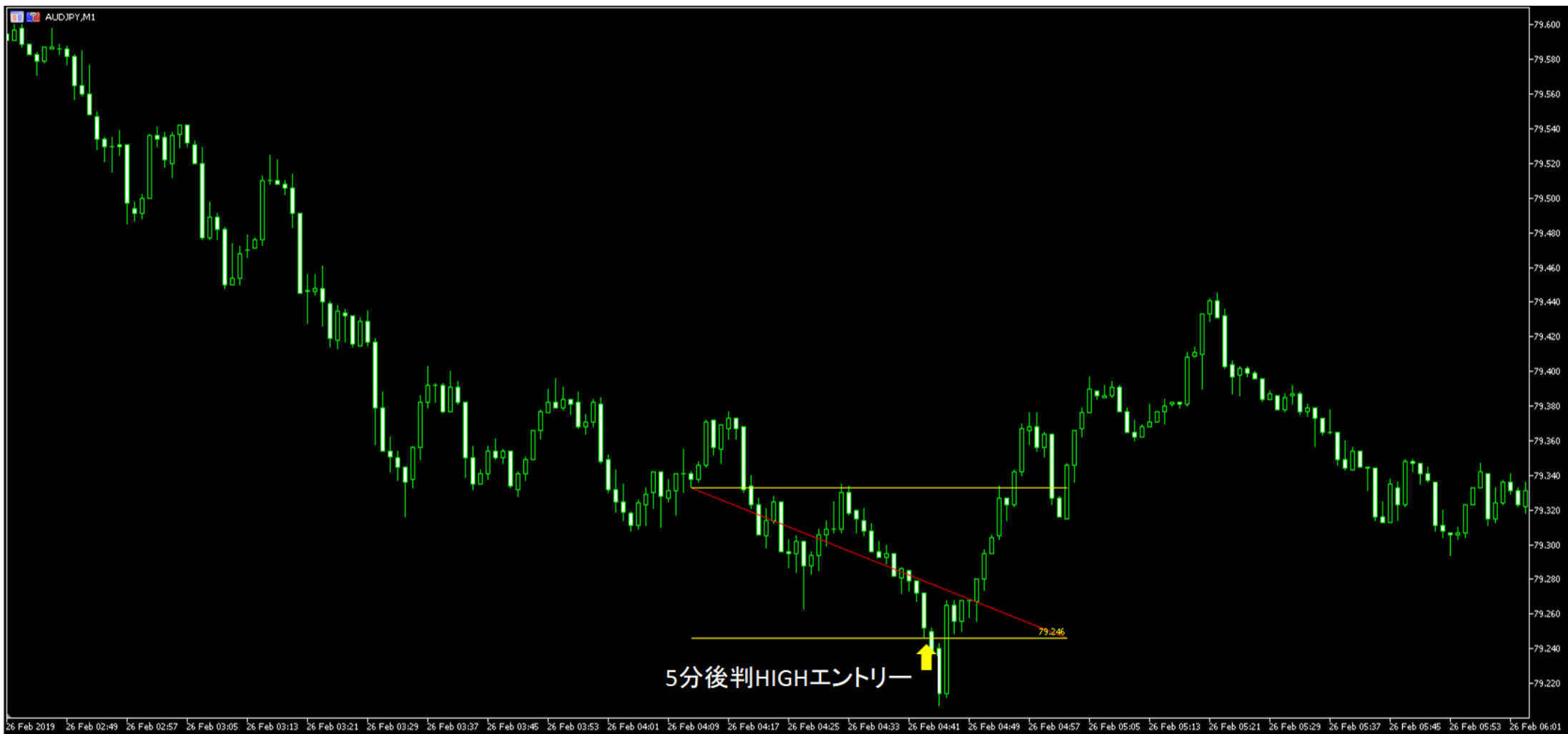


大きな反発をする直前の動きを確認すると小さな売りと買いの波が形成されており

エントリーしたポイントの波は上昇 5 派目（三番天井）にあたる為、反発ポイントとして有効であると考え事が出来ました。

減点要素もあったものの、加点要素の方が大きく感じられた為エントリーしたという結果ですね。

理想のエントリーではありませんが、このような考え方もある。という程度に参考にして頂ければと思います(#^^#)



2019-2-26AUDJPY 1分足 2/26 MT4 時間 4:45 頃

5分判定 HIGH

こちらは一見キレイな波形に見えますが危険なポイントが多い
「**良くないエントリー**」となっております。

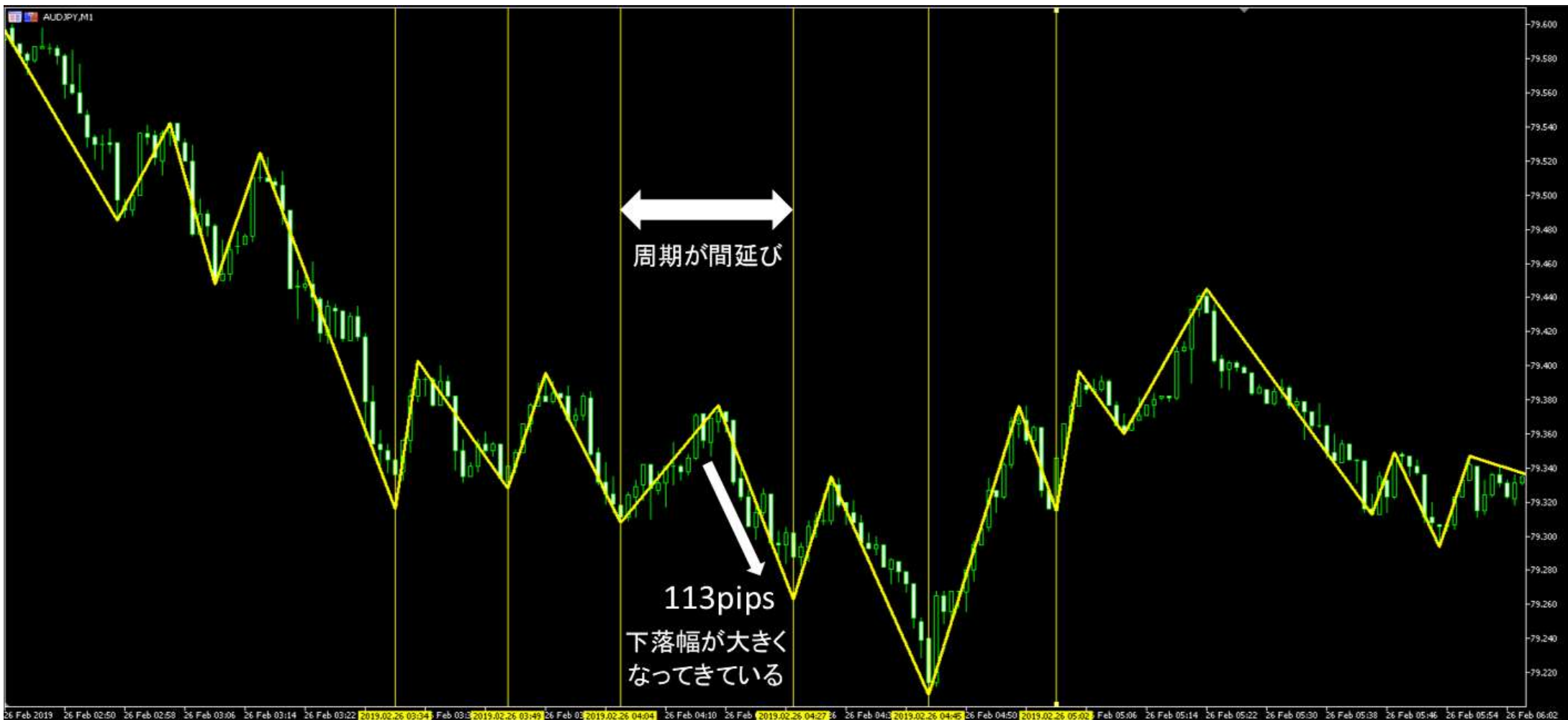
まずは値幅を確認していきましょう。



上記画像の様に戻し幅は同じですが、下落幅が徐々に大きくなっている様子が確認できます。

更にサイクルはこの様な状態です。

次ページに続く。



全体的にサイクルはキレイですが、エントリーポイントの直前の波形だけ

周期が間延びして下落幅も大きくなっていますね！

この事から次の下落は今動いた 113pips よりも大きくなる予測が出来ます。

続いて 1 時間足を見てみましょう。



画像の説明が少し見にくいかもしれませんのでテキストで繰り返させていただきます！

エントリーポイントは下の黄色い丸です。
1時間足では、まず高値に挑戦したものの失敗→大陰線を引きながら下落。
そのまま直近で意識されていたであろうトレンドラインもスレイク！その直後が今回のエントリーポイントです。

つまり、この状況下での HIGH エントリーは危険性が高いという事になります！



1分足の波形がキレイだった為運よく勝てたエントリーでした。

最後に悪い点を全てまとめると

○徐々に下落が大きくなっているのに1回目の下落幅を基準にエントリーしている。

○エントリーするならば、サイクルの間延びと下落の勢いえを考慮してエントリーポイントはもっと下に見るべきだった。

○高値に挑戦し失敗してから下落し、レンジに入りそうな局面であったが直近で有効であったトレンドラインをスレイクした直後のエントリーの為此でのHIGHエントリーは危険と判断し見送る判断をするべきだった。

まとめ

1分足の波形が悪くなかった為運よく勝つ事が出来ていますが危険性を多く含んだ状況の中で「波形だけを頼り」にしたエントリーの為本来であれば安全をとって、ここでのエントリーは見送る判断をすべきです。

1勝よりも1敗を避ける事の方が価値はありますからね(> <)

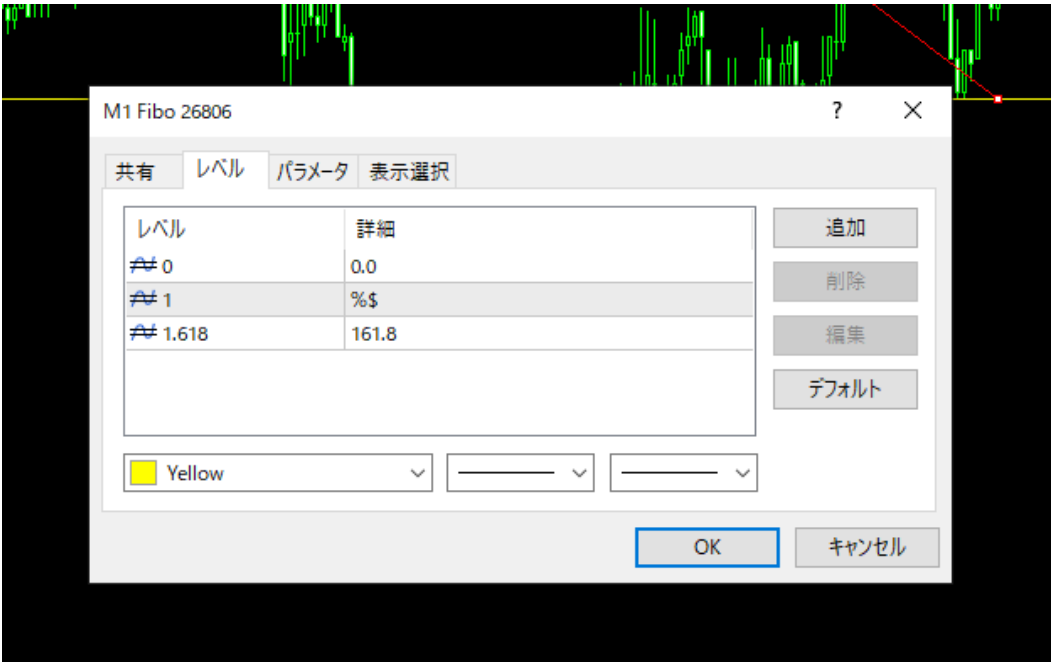
皆様も形だけで判断をして、このようなエントリーを行わないように気を付けましょう！

エントリー回数を増やすために
第3波を捉える効率的な手法。
フィボナッチリトレースメントに設定を1つ追加します。

私のメイン手法で利用していたフィボナッチリトレースメントの設定に
「もう1つだけ」レベルを追加しましょう。そうすることでより効率的にエントリーを行う事が出来ます！



私の手法通りに利用をしている方は、現状上の形にフィボナッチが変更されているかと思います。



先程のフィボナッチに上記画像のレベルを追加してください。

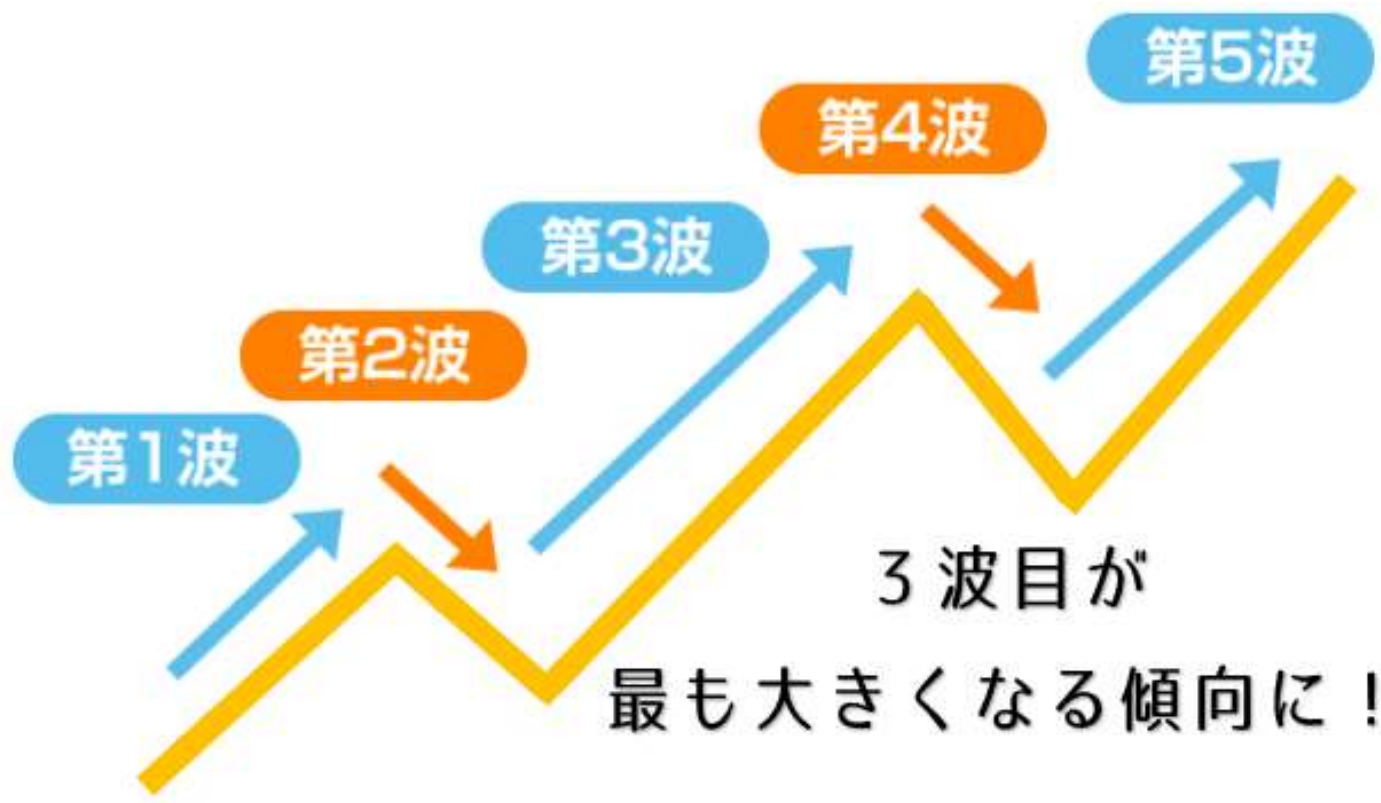
レベル = 1.618 詳細 = 161.8 という設定です(#^^#)



そうすると、この様にラインが 1 本追加されます！
一番上にある **161.8** のラインが追加されたラインですね(#^^#)

このラインを利用する事で 3 波目（同じ形を 2 回作った時）の反発を効率よく狙う事が可能となります。

なぜ3波目でのエントリーで利用するのかのポイントは「エリオット波動」の特徴にあります。



エリオット波動論では「3波目が最も大きくなる」と考えられており、実際に多くの投資家が3波目の伸びを狙って取引を行っています。

そのことから3波目は1波目で動いた値幅以上の動きをしてしまう事が多い傾向に！

「大きな反発を事前に確認出来ている」「判定時刻は長めにとっている」「有効なラインがある」
このようなポイントを押さえて取引出来ていれば、1波目の値幅をそのままスライドしエントリーしていたとしても

負ける事は少くなりますが、実弾で取引をする以上はもっと安全なポイントでエントリーを行いたいものですね。

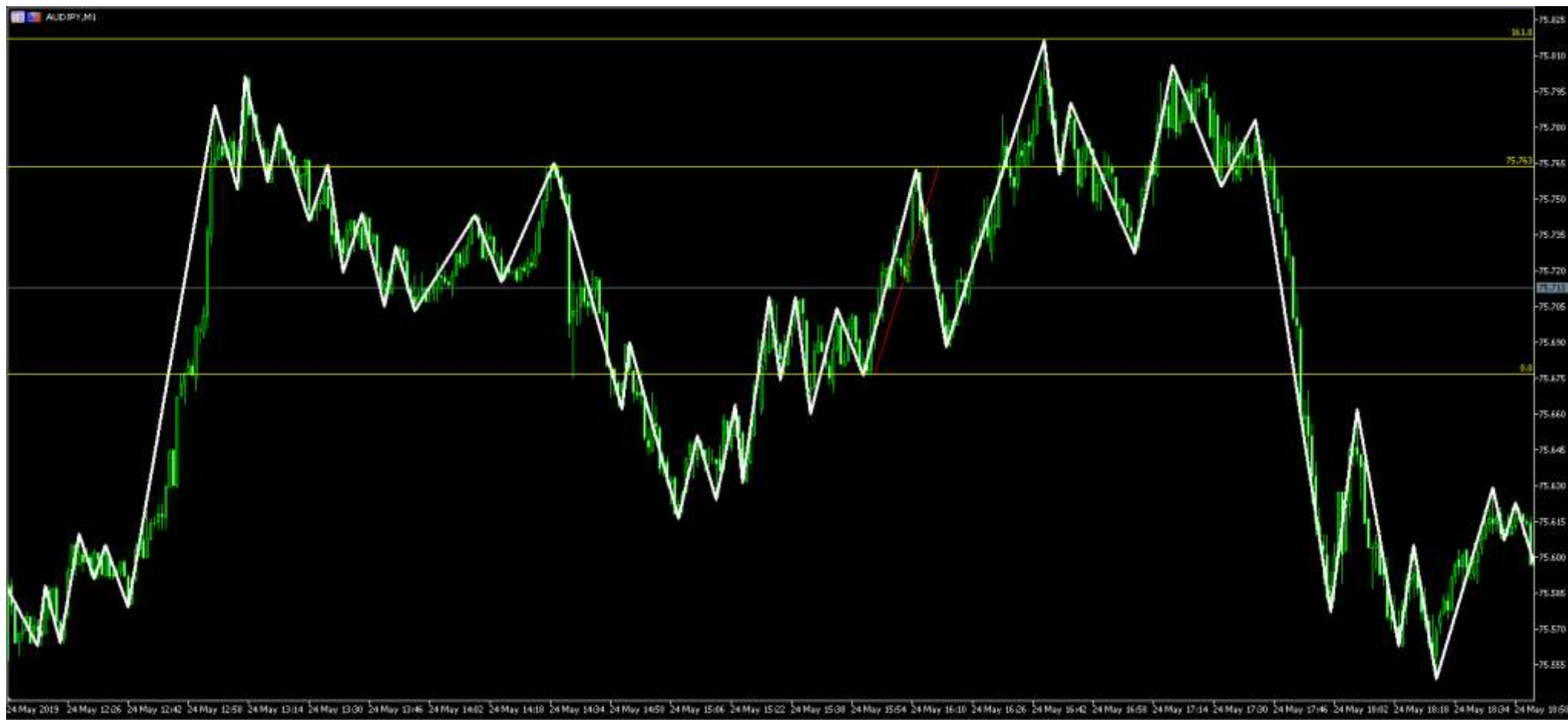
そこで利用出来るのが今回紹介する「フィボナッチ 161.8」の設定です。



こちらの画像を元にフィボナッチを引く練習をしてみてください。

下降トレンドの中でエントリーする場合は逆方向にフィボナッチを引けば 161.8 のラインを引く事が出来ます。

上昇の起点や下落の起点が分からない！という方は ZigZag をチャート上に表示してみましょう!(^^)!



Zigzag を表示するとこの様にチャートの波形を視覚的に分かりやすくすることが出来ますので
まだチャートを上手く見る事の出来ない初心者さんにはおすすめです。

しかし！！

肝心のローソク足の動きや特徴が見えにくくなってしまうデメリットもありますので
ある程度慣れて来たら外しましょう(#^^#)



○私のメイン手法で紹介した様な「キレイな波形」での
エントリーを心掛けましょう。
気を付けるべき点は基本的に同じです。

○この手法はFXトレーダーの利確ポイントを狙った手法の為
上位足になればなる程、信用性が増します。

※1分足でも直前の波形が大きく反発している事を確認できていれば問題ありません。
大きい反発の目安は10分以上を目安にすると良いです。

私のメイン手法の様に
同じ波形を3回作った時（波で数えると5波目）の反発を狙ったエントリーが高い勝率を維持する上で理想的ですが
どうしてもエントリー回数が少なくなってしまいますので、この手法を上手に活用し取引に役立ててください(^_^

まずはチャート上で161.8のラインがどのような場面で有効なのか。
キレイな波形を見つけ片っ端からラインを引いてみましょう。

根性論の様に聞こえてしまうかもしれませんが、ライントレードはとにかく波形に慣れることが重要ですから練習あるのみです！

私のメイン手法の「判断方法」「取引方法」は以上です。

ここからは、トレードの質を、勝率を更に高めていくために必要な知識を解説していきます。

正直私の手法は絵柄合わせの様な感覚で取引を行う事が可能なので、今から紹介する知識が無くてもある程度勝つ事は可能です。

しかし、それだけでは稼ぎ続ける事は難しいかもしれません。

より根拠のあるトレードを行う為に

自分のトレードに自信を持つ為に

勝つ為に

これから紹介するいくつかの知識は頭に入れておいてください。

～裁量トレード知識編～

裁量トレードの勝率を更に高める為にも重要な知識だけは押さえておきましょう。

随時更新

ダウ理論で 目線を決める

ダウ理論は世界中のトレーダーが重要視している「市場の法則性」の様なものです。

理論と聞くと難しく感じる方もいるかもしれませんが「考え方は至ってシンプル」です。

この資料では図を用いて、初心者の方にも分かりやすく「ダウ理論」を解説していきますのでご安心ください。



ダウ理論を使う目的は「**目線を決める**」こと。
相場が上目線であれば HIGH エントリーが優勢になりますし、下目線ならば LOW エントリーが優勢になります。
目線が決まれば無駄なエントリーを省き、より優位なエントリーを行う事が可能です。
ネット上でダウ理論を検索すると様々な情報が公開されていますが、その中で1つだけ覚えておいて頂きたいこと。
ダウ理論の核心部分をまずはお伝えします。

トレンドは**明確なシグナル**が
発生するまで**継続**する。

これがダウ理論の核心部分

ダウ理論についてはいくつかの考え方がありますが

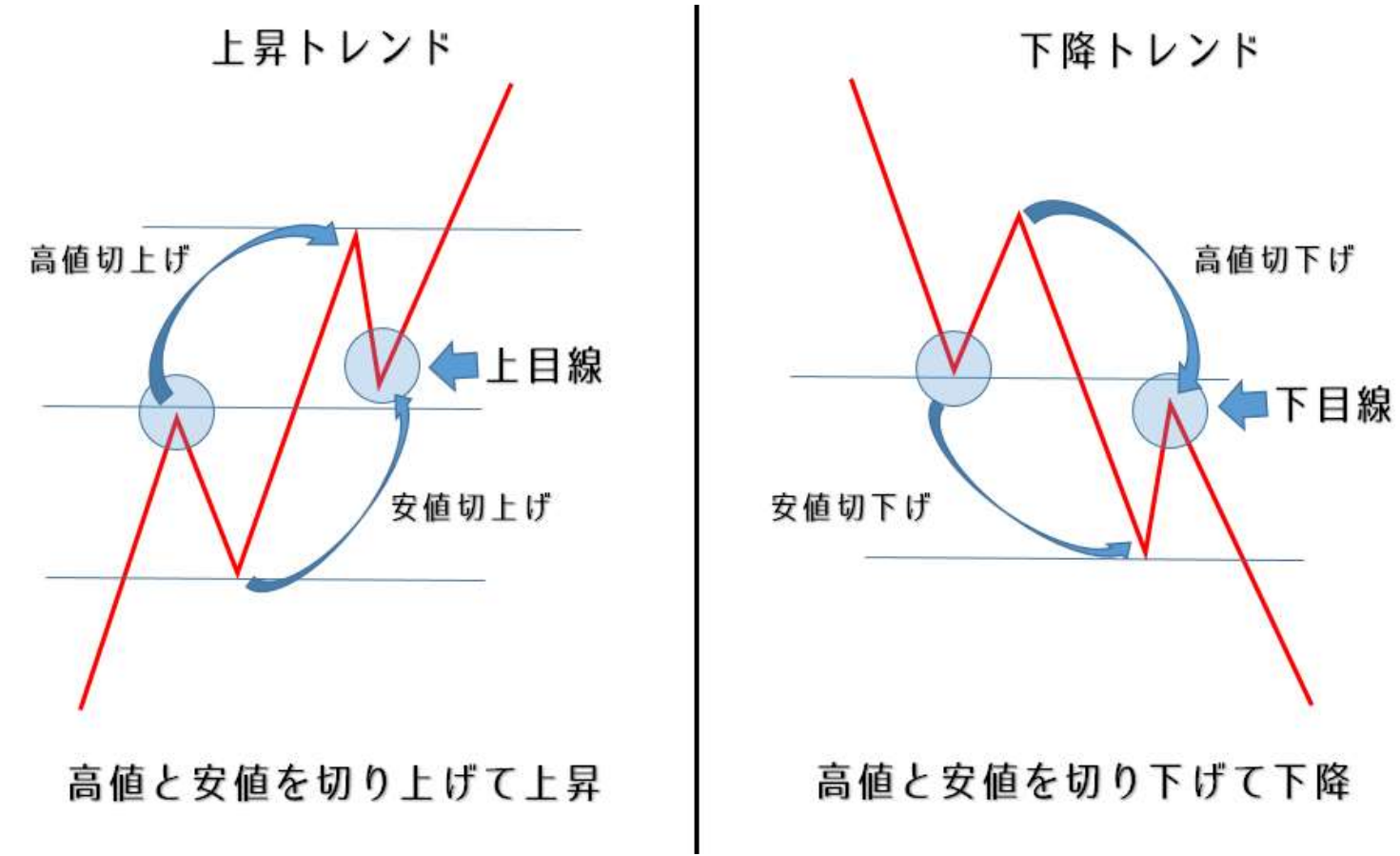
「トレンドは明確なシグナルが発生するまで継続する」

これがダウ理論の核心部分です。

トレンドは相場の2～3割と言われていますが、トレンドは1度発生すれば「継続するもの」「続くもの」であり
トレンドが反転する時には「明確なシグナル」が発生するというのがダウ理論の考え方です。

では、何を持ってトレンドが発生したと考えるのか。

トレンドが転換したと考えるのかを続いて解説していきます。

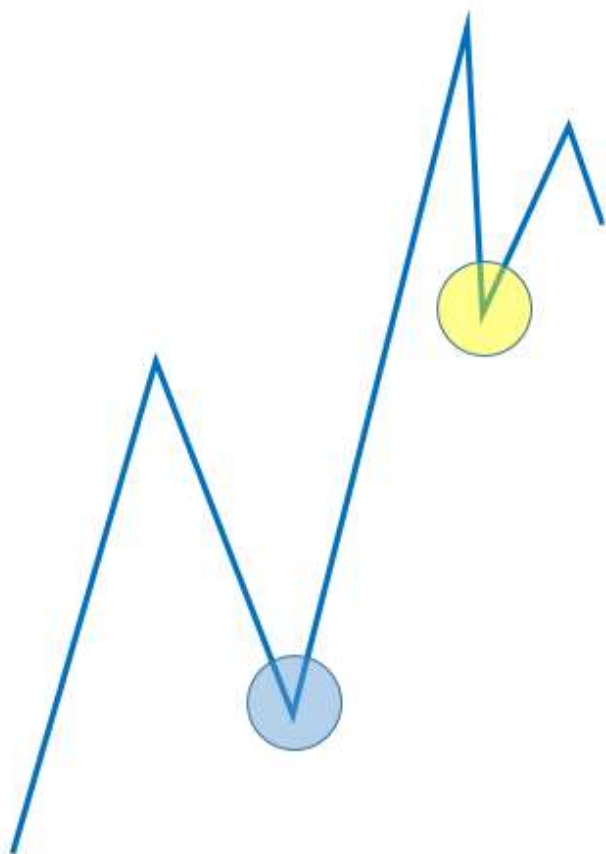


上記画像の様に
上昇トレンドは「高値と安値を切り上げて上昇」
下降トレンドは「高値と安値を切り下げて下降」
している事が判断の目安となります！

この特徴が出ている限り「明確なシグナルが発生するまでトレンドは継続する」というのがダウ理論の基本的な考え方です。

安値と高値だけじゃない 大事なのは 「押し安値」と「戻し高値」

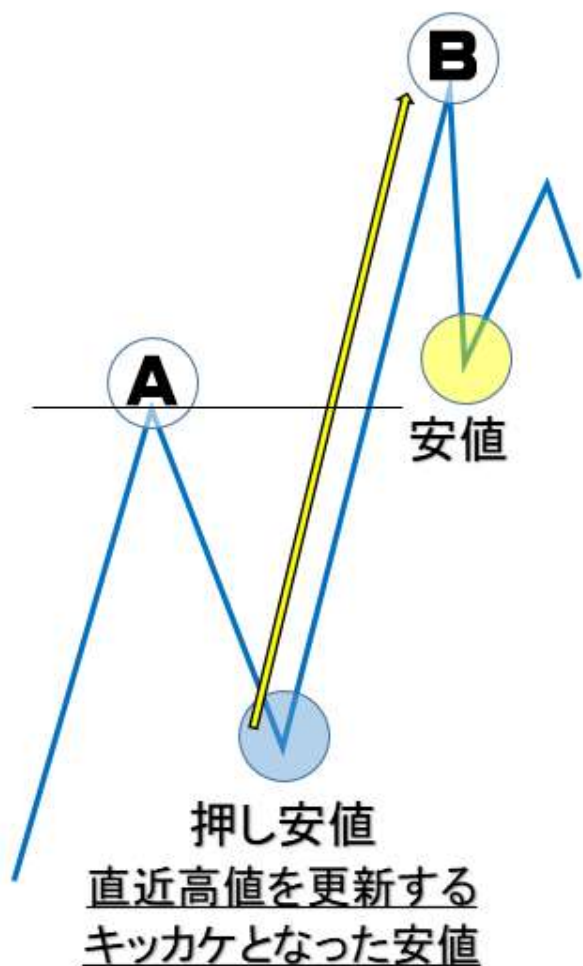
「トレンド転換の明確なシグナル」とは何かを説明する前に、まずは「押し安値」と「戻し高値」を知識として覚えておきましょう。
これらを知っているかどうかは有効な反発ポイントを見つけるうえで非常に重要です。
この知識を覚えて相場の力関係を見れるようになりましょう！



左の黄色い丸を「安値」
青い丸を「押し安値」といいます。

どちらも「安値」ですが
決定的に違う部分が1つあります。

上記の青丸と黄色丸の「安値」の違いは分かりましたでしょうか？
このまま次のページで解説を続けます。



青丸はAという直近高値を
更新する事に成功した安値

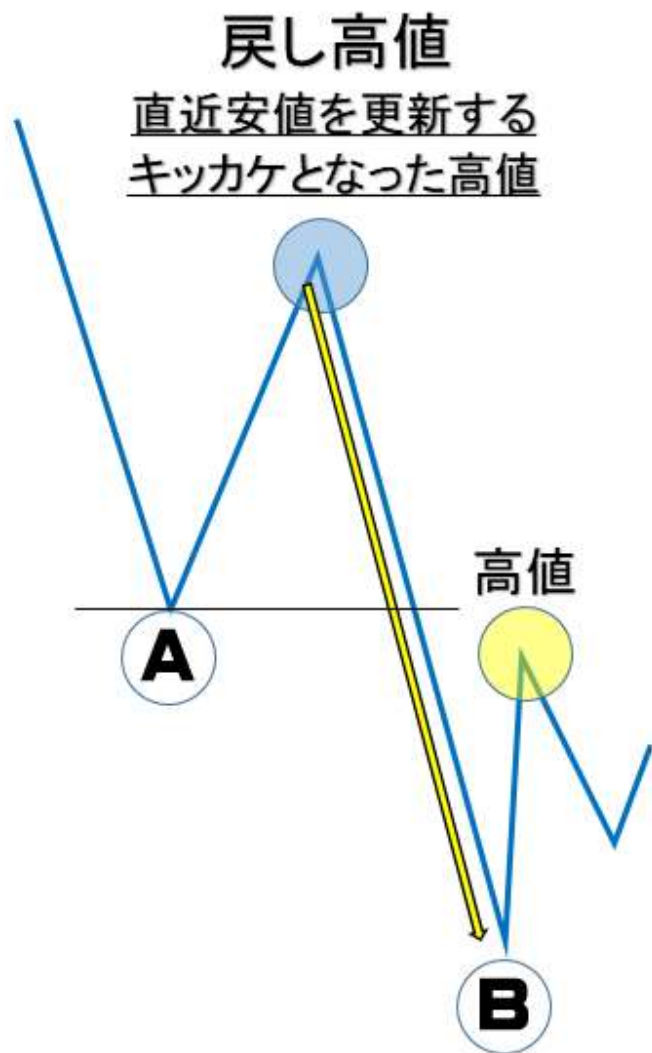
黄色丸はBという直近高値の更新に
失敗しています。

直近の高値を更新するキッカケに
なれたかどうかで
「安値」と「押し安値」
この2つに区分されます！

呼び方の違いだけでなく、ここで重要なのは「**高値を更新する事が出来た事実**」つまり押し安値は通常の安値よりも

「**買い圧力が大きいポイント**」であると言えます。

買い圧力が大きいという事は今後もそのライン付近での反発が強くなる予想を立てられます。



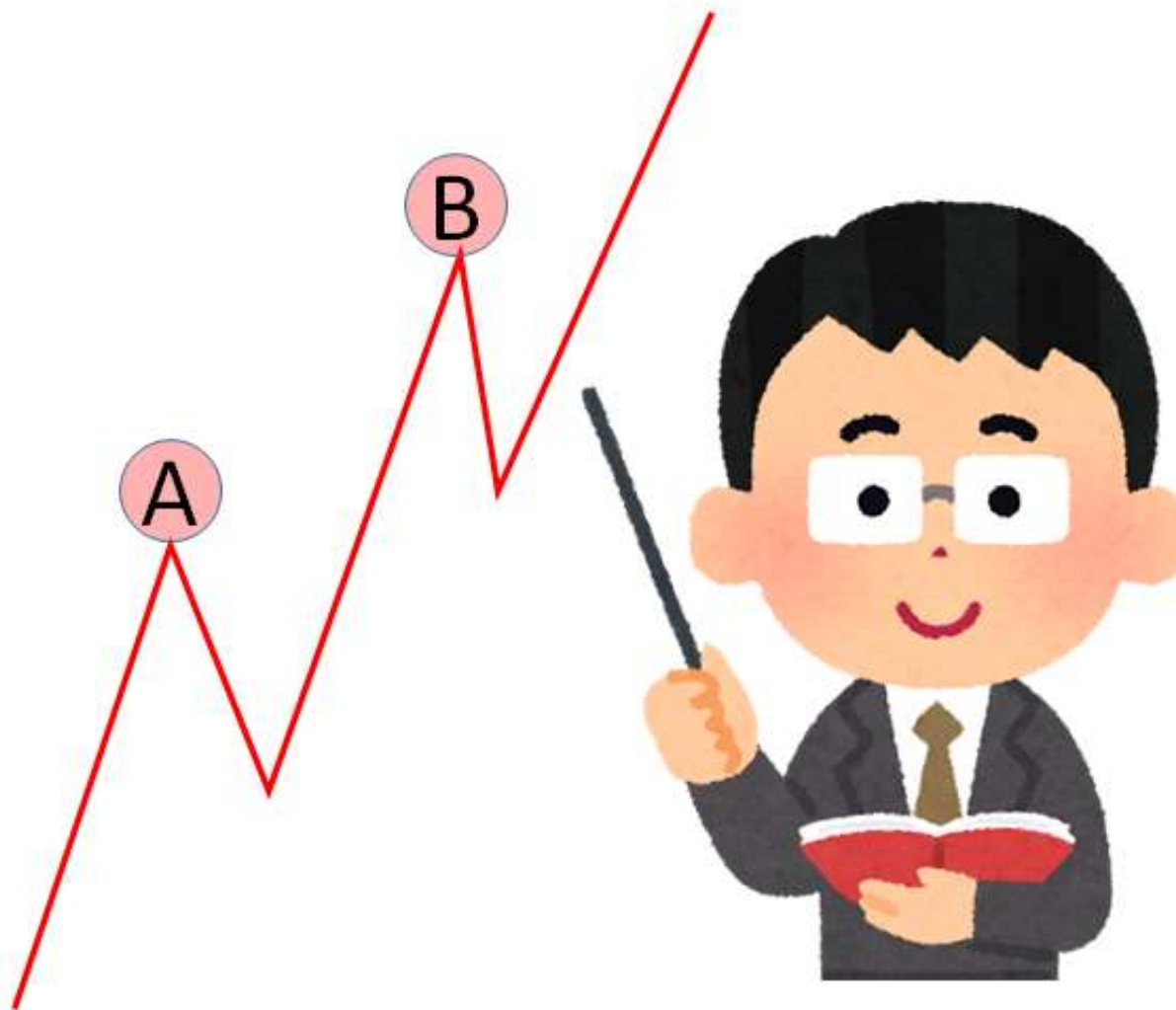
青丸はAという直近安値を
更新する事に成功した高値

黄色丸はBという直近安値の更新に
失敗しています。

直近の安値を更新するキッカケに
なれたかどうかで
「高値」と「戻し高値」
この2つに区分されます！

高値から安値の動き（下降トレンド）の考え方も上昇トレンド時の安値の考え方と同じです！

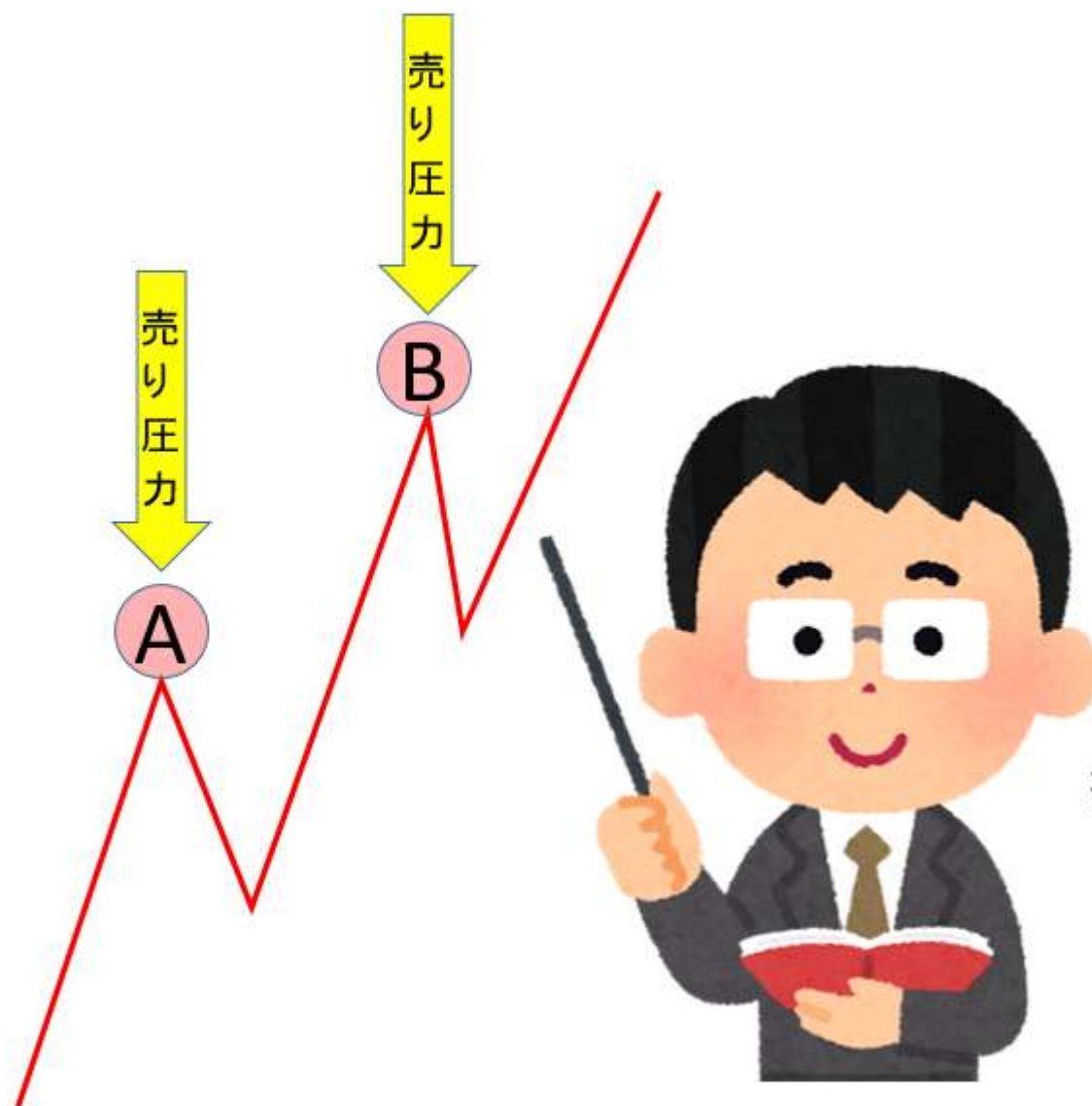
押し安値と戻り高値の判断方法は以上となります。次ページでは「なぜ押し安値や戻り高値が重要なのか」について解説を行います。



AとBはチャート上で
どのようなポイントなのかを
考えてみてください。

AとBを起点にチャートは
どのように動いていますか？

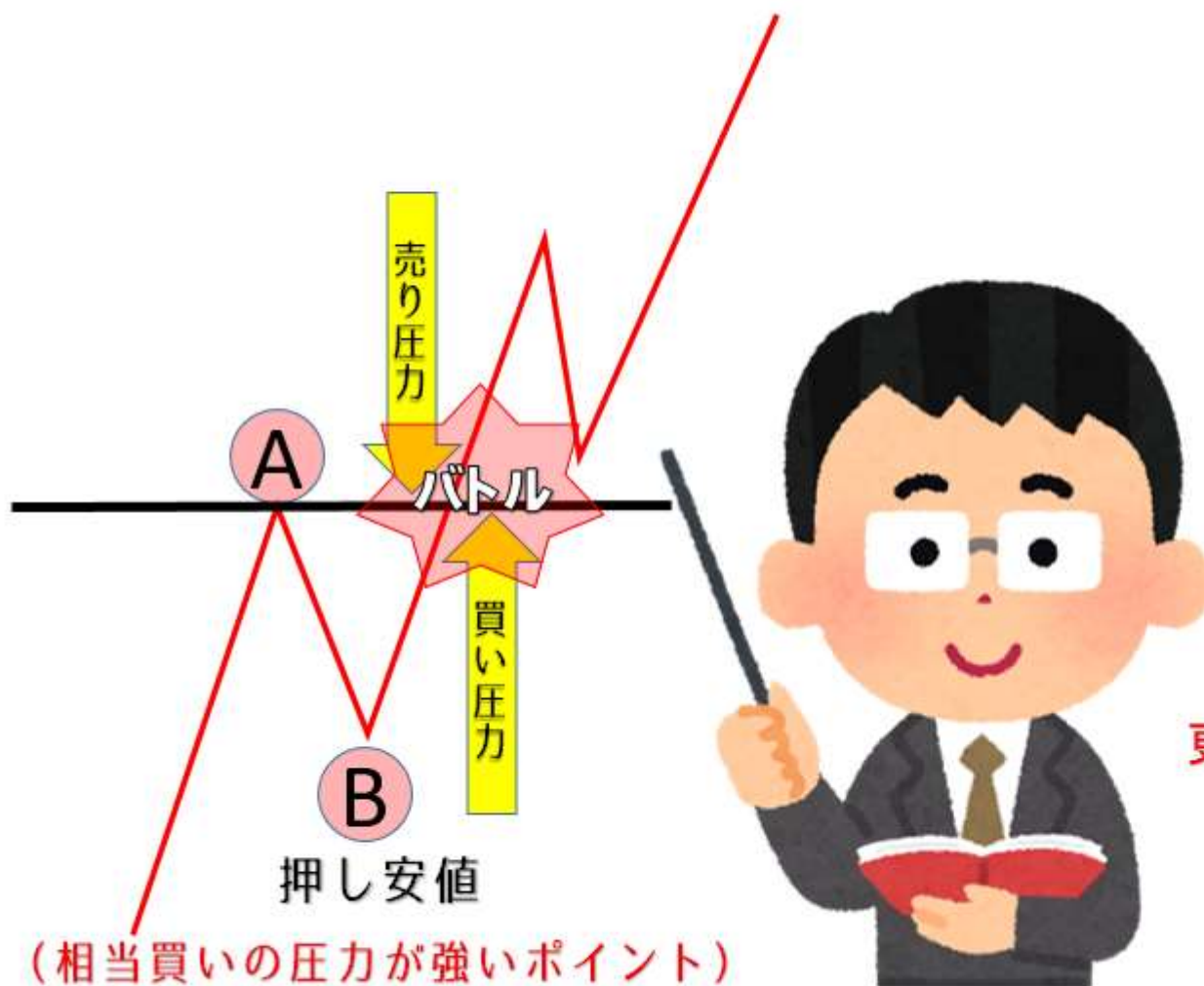
次ページに続く



AとBのポイントでは
今までの上昇の勢いが止まり
下降に転じています。

つまりAとBは
強い売りの力が加えられた
「売りが溜まっているポイント」
この様に捉える事が出来ます。

押し安値はこの様な「売りポイント」を
ブチ抜いたポイントです。
という事は？



図の黒いラインでは
Aのポイントの「強い売り圧力」
Bのポイントの「強い買い圧力」

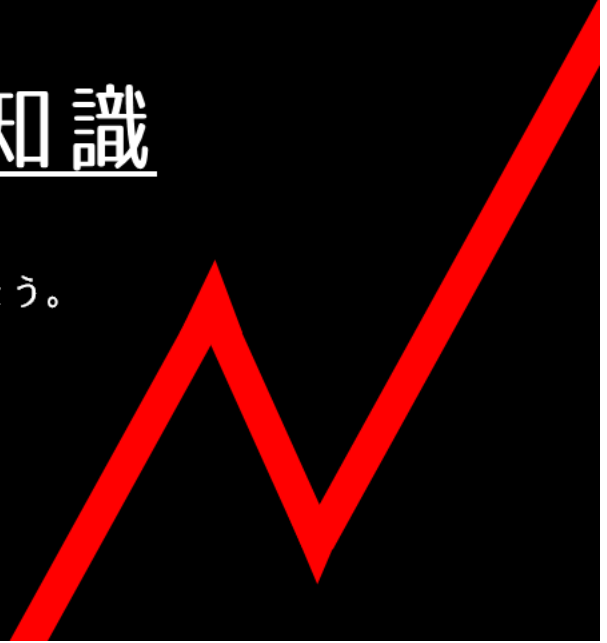
これらがぶつかり合い
売り買いのバトルが行われます。

図では結果的にBの買い勢が勝利
となりました。

つまりBのポイントは
強い売り圧力のあったAを抜くほど
更に強い買い圧力がかったポイント
となります。

①ラインの基礎知識

ラインを利用する意味
ラインの役割を知識として理解しましょう。



ここからはライントレードの基礎知識を身に付けていきましょう(#^^#)
バイナリーオプションにおいてトレードすべき箇所というのは

価格が「止まって反発する」もしくは「大きく動き出す」場所である必要があります。

なぜならば、バイナリーオプションでは引き分けが負けになってしまう為

1pips でも大きく値幅を取る事が勝率を高める為に必要な事であるからです！

○価格はラインで止まり跳ね返る

○価格はライン抜けから走り出す

ボールが壁に当たれば反発で跳ね返りますし、壁を壊して更に奥まで進むこともあります。

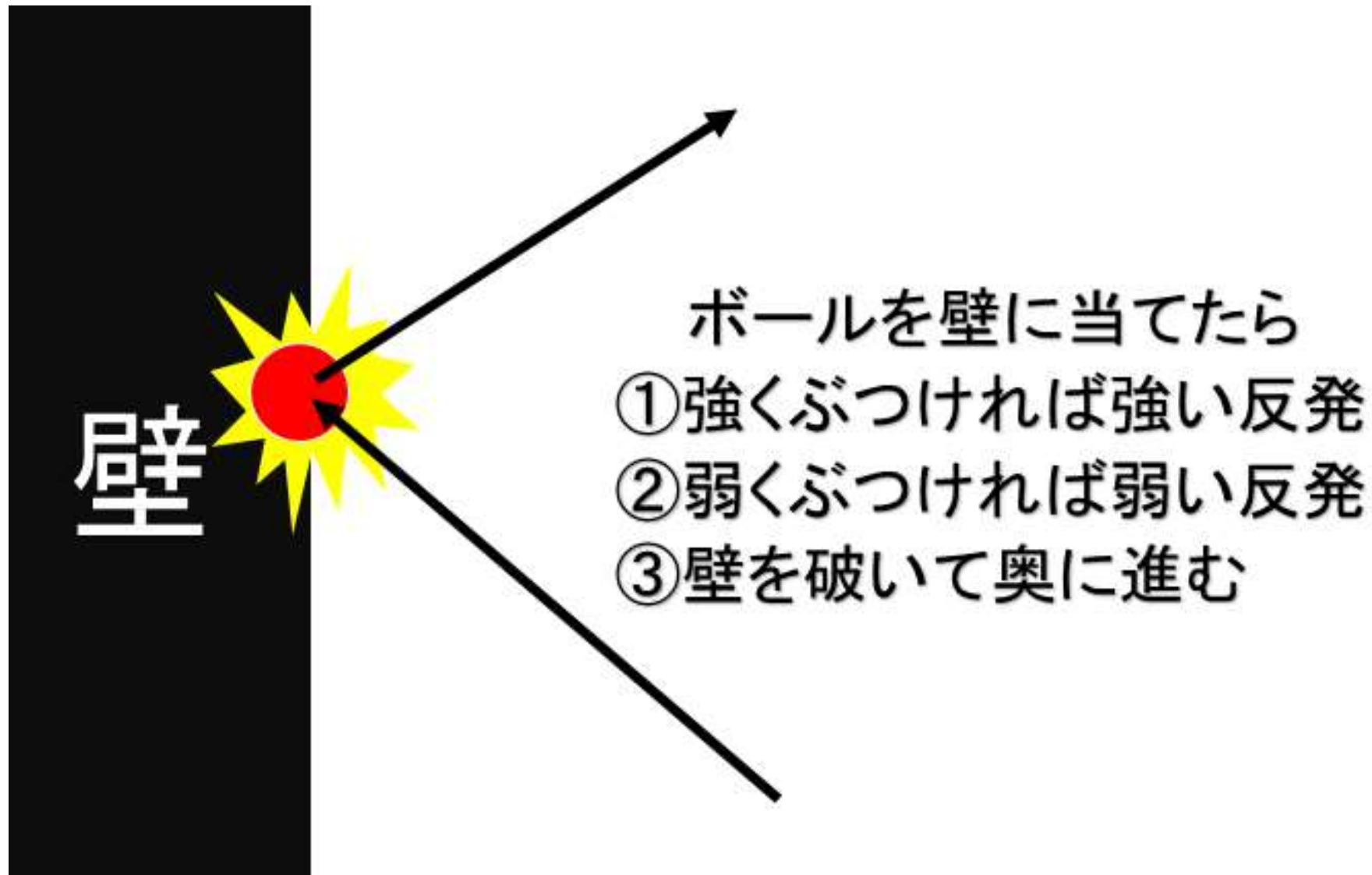
何が言いたいのかというと「ラインのイメージは壁である」ということです！

A cartoon illustration of a young boy with black hair, wearing a red t-shirt and blue pants, sitting cross-legged on a white floor. He has a frustrated or angry expression, with his eyes closed and a small frown. He is holding a glowing yellow line in his right hand, which is raised towards his face. The background is a simple grey wall. A red horizontal band is overlaid across the middle of the image, containing the text.

ラインのイメージは壁！

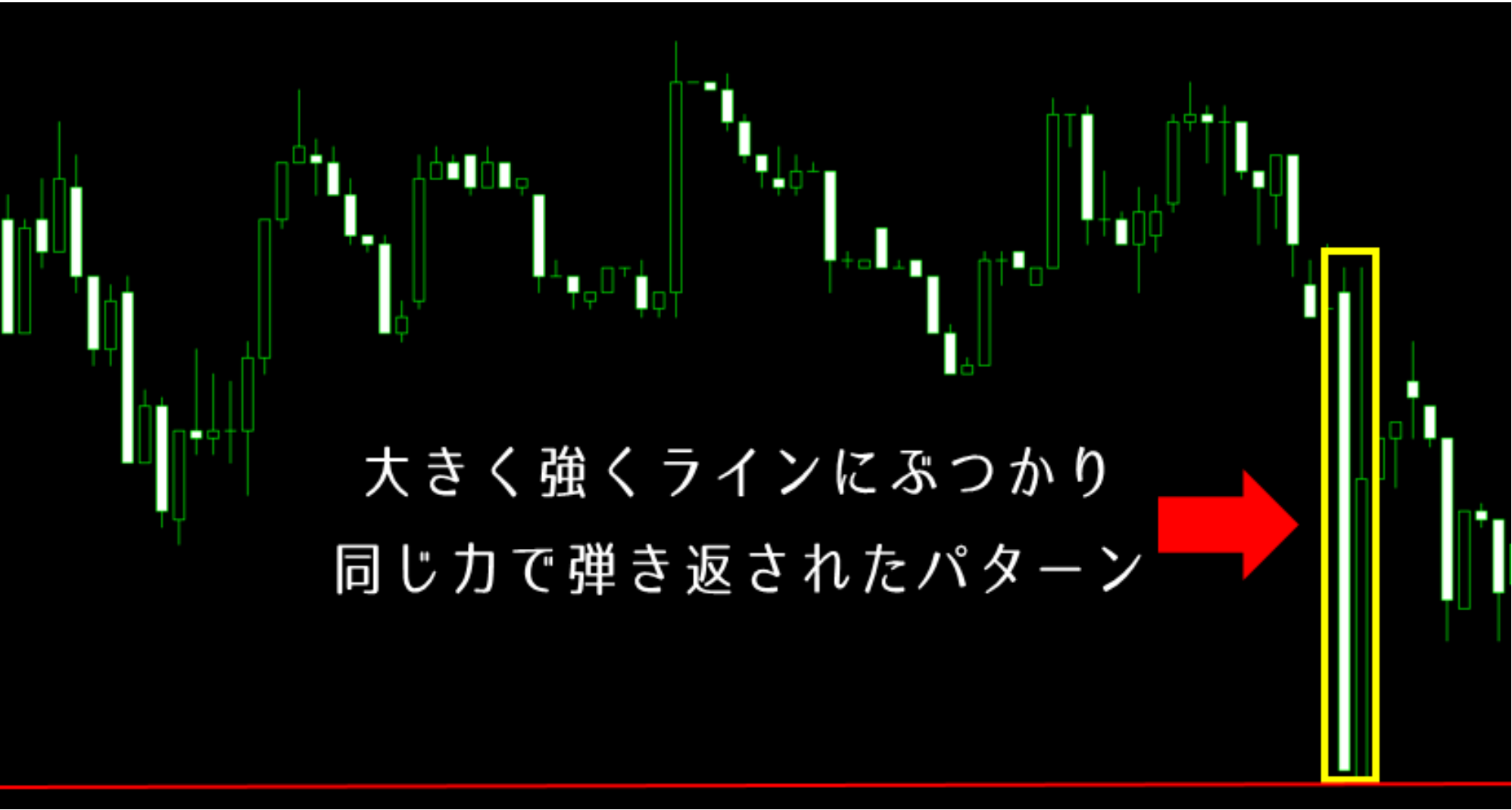
ラインは価格の壁であると考えます。

では、壁に物を当てるとどうなるのでしょうか？

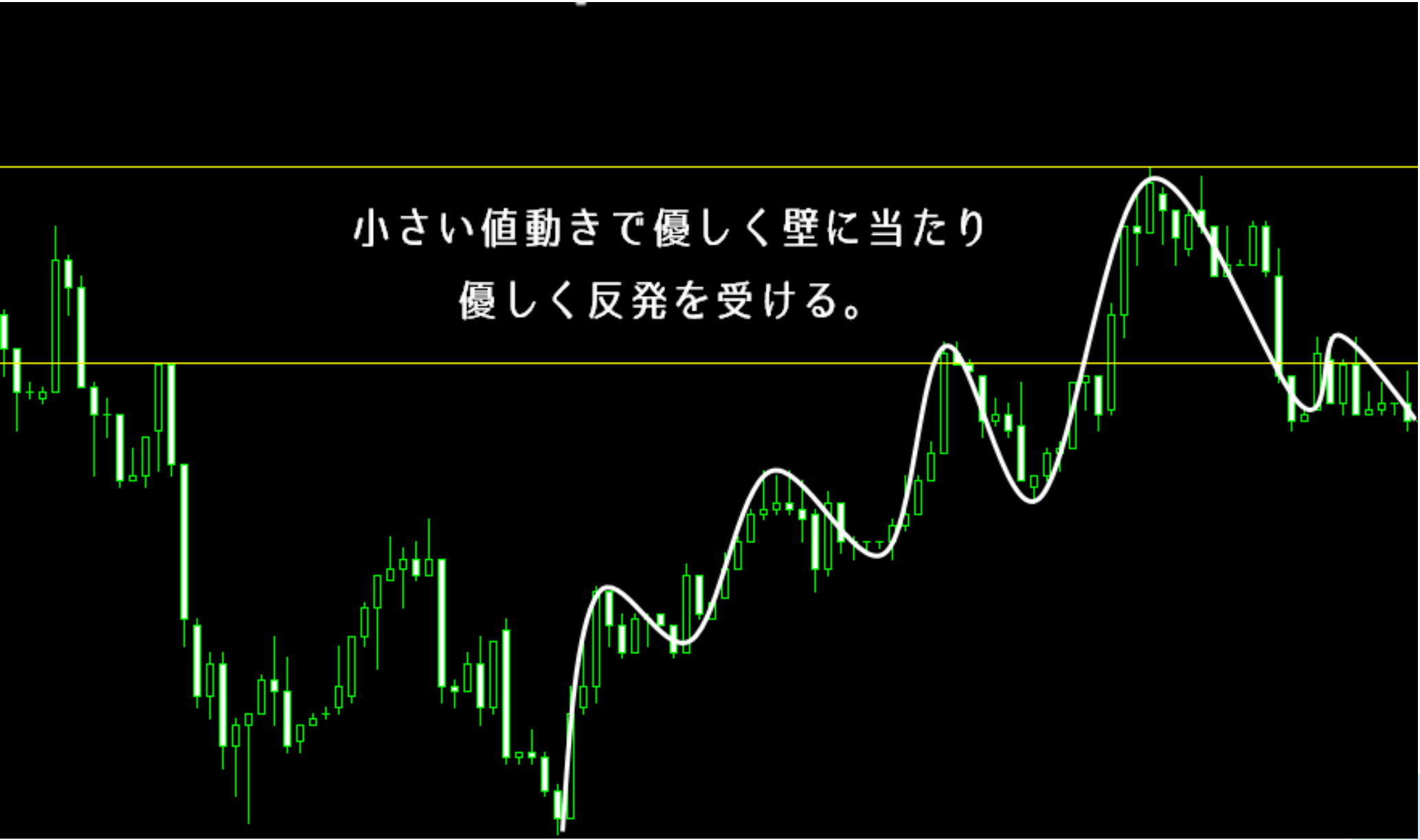


大まかにまとめると以下の様な3つのパターンが考えられますね！
相場においてもこれと似た現象が見受けられます。

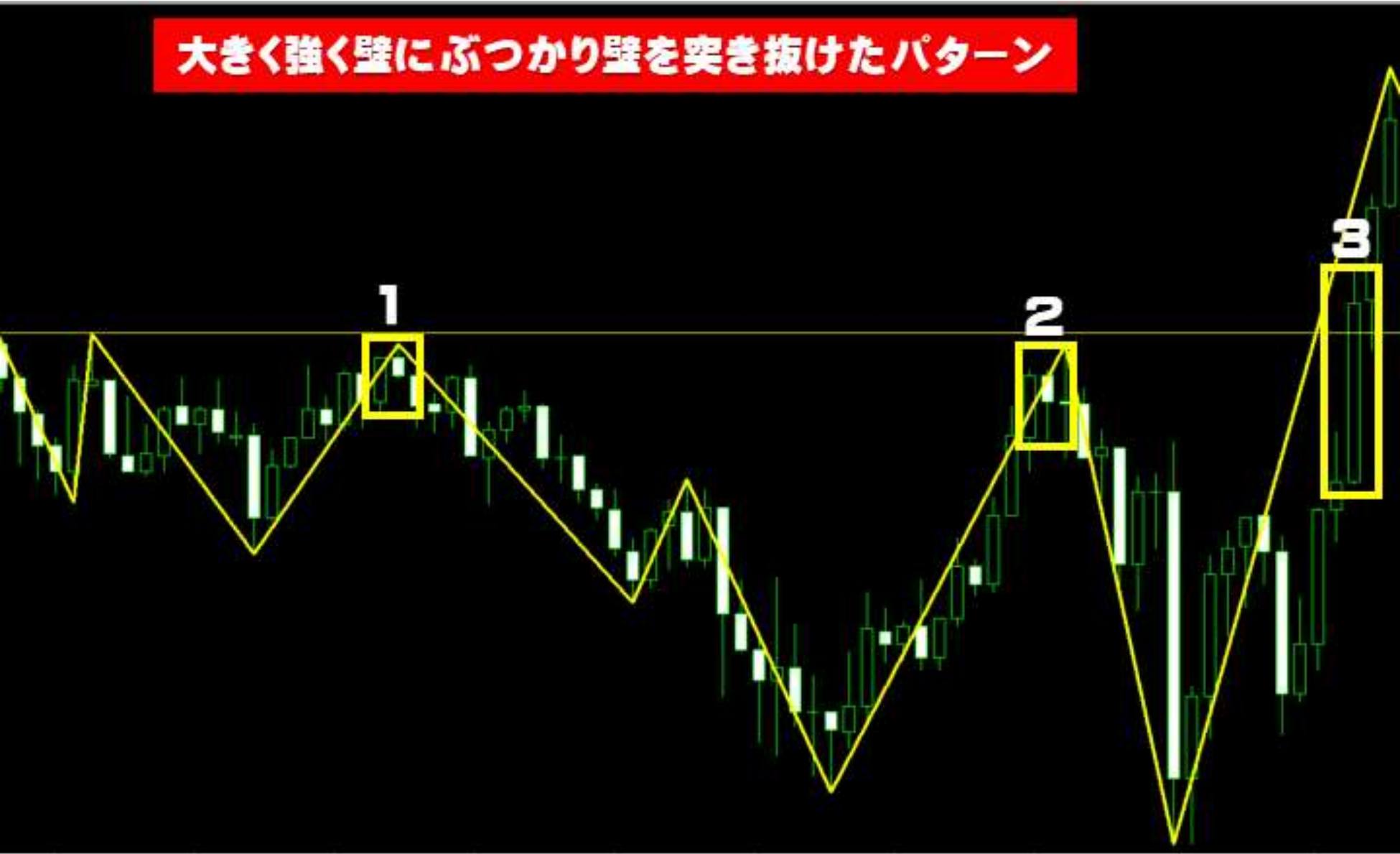
①強くぶつかり強い反発を受けたパターン



②弱くぶつかり弱い反発を受けるパターン



③壁を破いて奥に進むパターン



この様にボールを壁にぶつけた時と同じ様な動きがチャート上でも見受けられます(#^^#)

必ずしも上記の様な動きになる訳ではありませんが、ボールを壁にぶつけた時の様な動きがチャート上にも見られるという事を覚えておきましょう。



この時点で何かお気づきになりましたでしょうか？

実はライントレードを行う上で凄く重要な要素がもう既に出てきています！！

それは「強くぶつかれば強く返される」という現象です。

有効なラインに対して大陽線・大陰線でローソク足がぶつかった場合は大きく反発される可能性が高まる為逆張りにおけるエントリーチャンスとなります(#^^#)

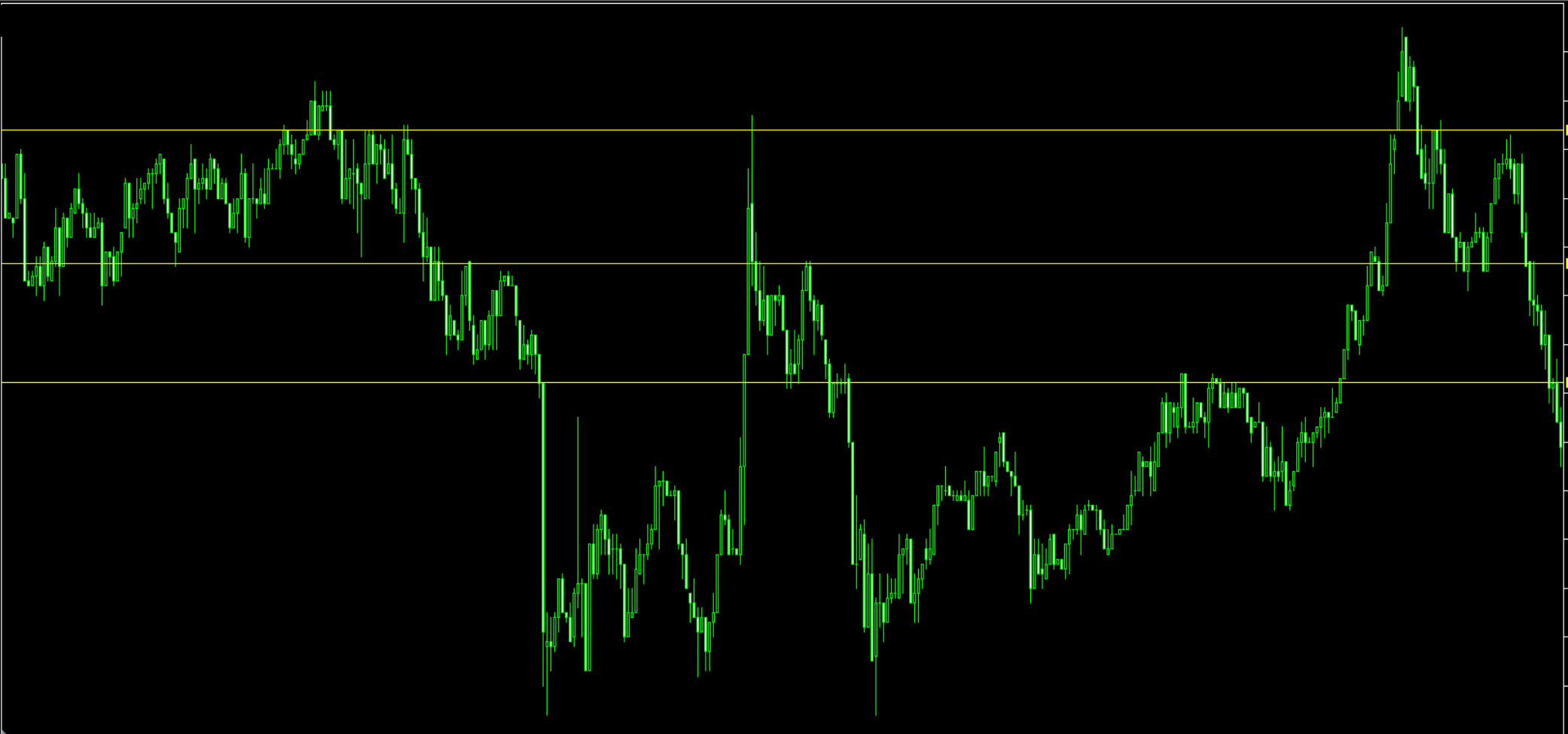
※これ結構重要です。

続いてラインの種類を学習していきましょう！

オブジェクトとして利用できるラインは3つあり、それぞれ役割が異なります。

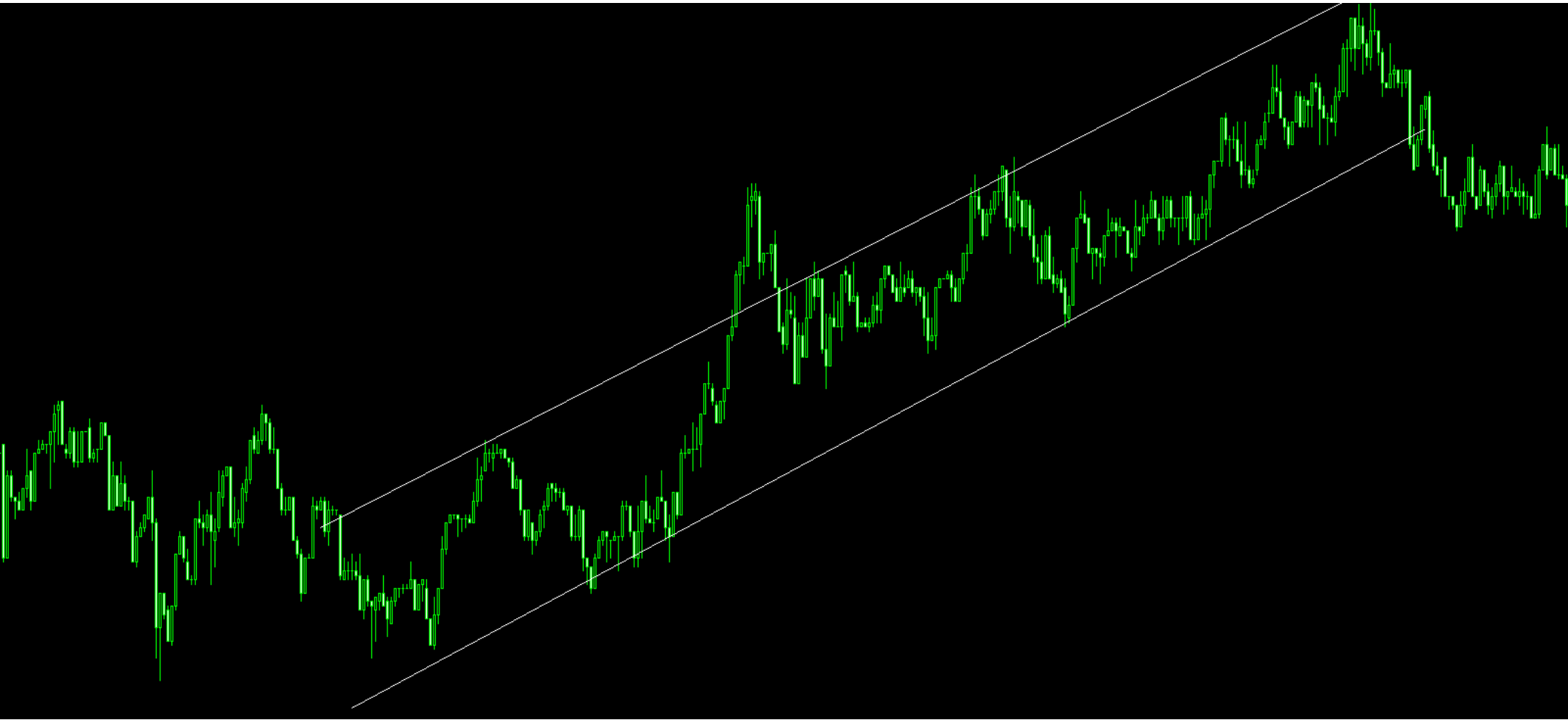
※当資料で解説していくラインは水平線となります。

①水平線（横軸のライン）



チャート上に引く横線を水平線と呼びます。
テクニカル分析で最も利用されるラインであり、水平線を用いる事で
チャート上で意識されているポイント・価格帯を視覚的に分かりやすくすることができます(#^^#)

②トレンドライン（斜めのライン）

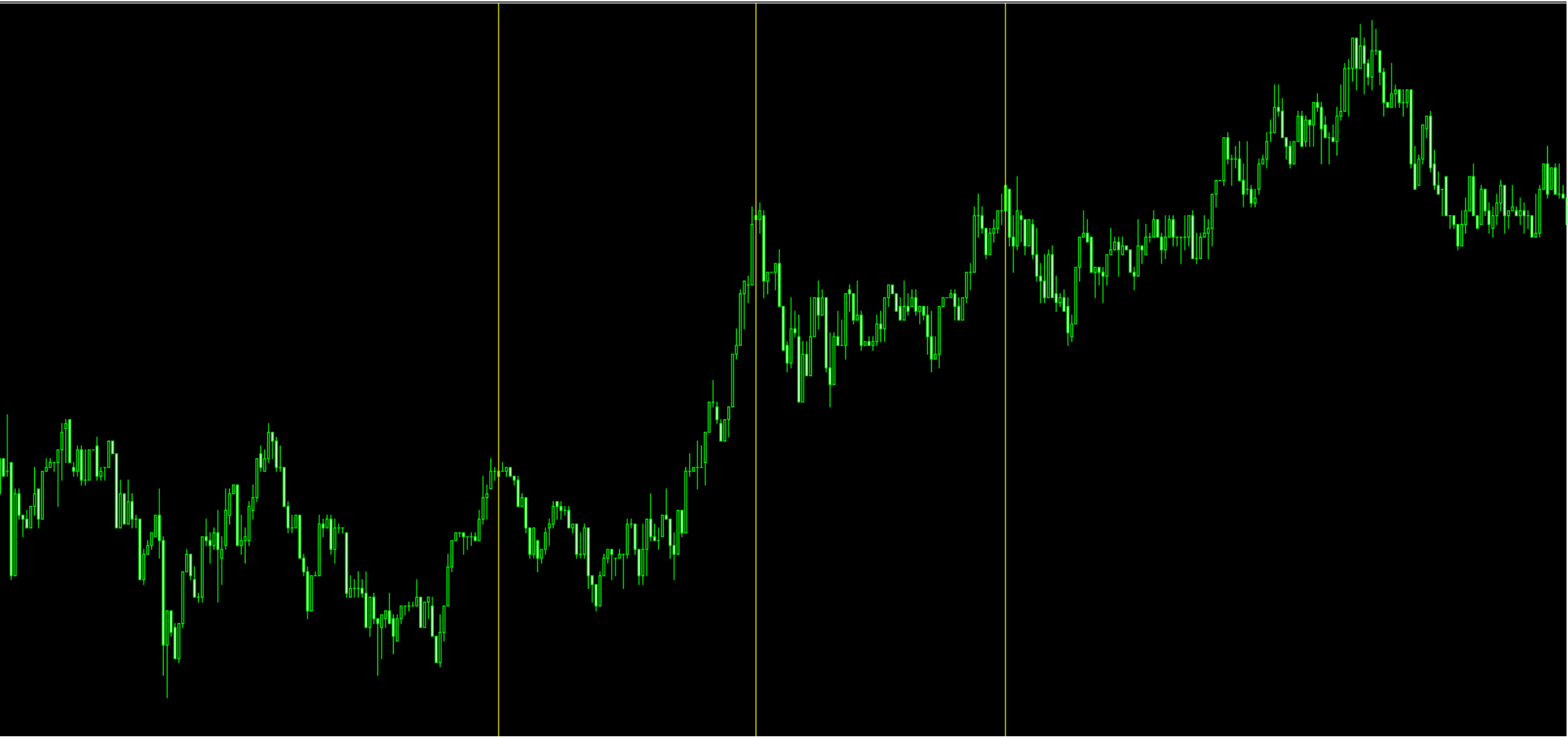


トレンドラインは図の様にローソク足の上値同士もしくは下値同士を斜めに結んだ線です。

上値下値を結んだ時に図の様にキレイな斜線（トレンドライン）を引くことの出来る相場はトレンド相場であると考えられます！

※図の様に **2本引いたライン**を「チャネルライン」とも言います。

③垂直線（縦軸のライン）



垂直線はあまり利用した事はないかもしれませんが
値動きのサイクルを図る目印としての利用や、垂直線を引いたローソク足の時間を調べる事に利用できます！
上記の画像では時間が表示されていませんが、垂直線を引くとチャートの下にそのローソク足の日付と時間が
表示されるようになるので便利です(#^^#)

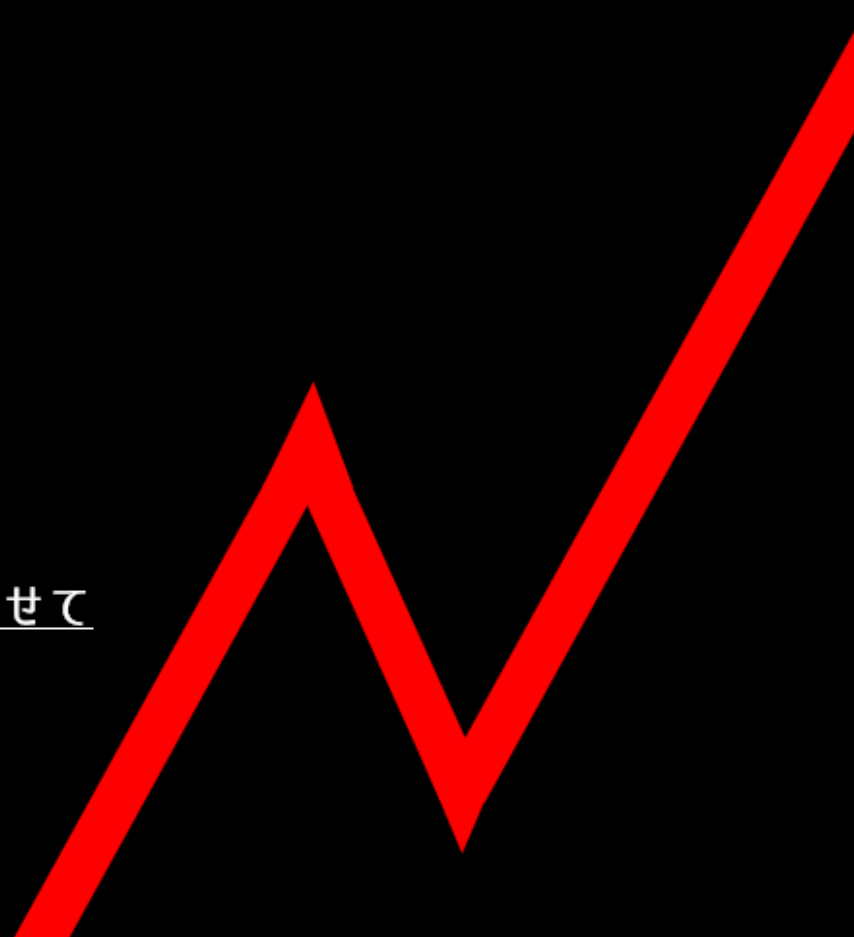
ラインは3種類！

①水平線

②斜線

③垂直線

相場の状況や自身の行いたいトレード方法に合わせて
最適なラインを選択し利用していきましょう。



ラインの種類と役割は簡単にですが理解できたかと思いますので、続いて「水平線」を用いた実践的なラインの引き方について解説していきます（＾－＾）

- 
- ①サポートライン
 - ②レジスタンスライン

ライントレードの基礎となる

①サポートラインと②レジスタンスラインをまずは同時に覚えていきましょう！

サポートラインとは

その名の通り「価格を支持する」「サポートする」
ラインの事をサポートラインと呼びます。
安値同士を水平線で結んだものがサポートラインです。

レジスタンスラインとは

その名の通り「障害」「抵抗」の意味を持ちます。
上に行きたい価格の障害・抵抗線となるのがレジスタンスライン。
高値同士を水平線で結んだものがレジスタンスラインです。



上記チャート上で

上に引かれた垂直線を「レジスタンスライン」

下に引かれた垂直線を「サポートライン」と呼びます。

ライン付近は売買が活発になるポイント！

ライン付近は売買が活発になる分かりやすいポイントとなります！

相場は常に「買い勢と売り勢の戦い」が繰り広げられており
その戦いの結果を視覚化したものがローソク足です(#^^#)

ライン付近では、その壁を突き破りたい勢力と、壁を死守したい勢力の攻防が激しく行われます。

売買が急増するという事は、買いと売りのどちらかが勝利した時にその方向へ大きく値が動くという事です！

強い力で突き破ればそのまま更に勢いよく進みますし、破れなければ反発する力も強くなります。

その様な重要な「売買が活発になるポイント」を水平線にて予め明確にしておく事でトレードの戦略を立てやすくすることが可能です(^^♪

USDCAD ▼ M5

1.31740

1.31635

有効なレジスタンス・サポートラインの引き方

1.31290

1.31234

1.31175

1.31060

1.30945

1.30906

7 Nov 23:15

8 Nov 03:15

8 Nov 07:15

8 Nov 11:15

8 Nov 15:15

8 Nov 19:15

8 Nov 23:15

レジスタンスライン・サポートラインを引く時に意識すべき点は同じです。

過去そのラインで反発した実績がどれ程あるか？

これが重要です。

1つのラインを形成するポイントが2つ、3つ、4つと増えていく程に
そのラインの有効性・信頼性は増していきます。

しかし、ラインに挑戦（攻防）する回数が多くなればなるほど同時に売買が更に激しくなることも意味します！
売買が激しくなるという事は「**反発すれば大きく弾かれる**」「**突破すれば大きくその方向に進む**」という事です。

上記チャート画像を確認いただくと分かりやすいですが、上記チャートは5分足で少し長めのレンジを作っていました。

レンジの中でサポートライン・レジスタンスラインにそれぞれ何度も価格が弾かれていく中で
最終的に買い勢が優勢になり、約1日破れなかったレジスタンスラインを突き破り大きく上方向に価格が走り出しました！！

このラインが「本当に抜きたい・守りたいライン」であったから、この様に大きく値が動いたのです。
ラインを引くときはこの様な「本当に抜きたい・守りたい」ポイントはどこなのかを考え引いていきましょう。



それでは続いて、実際のチャート画像を用いてラインを引くべきポイントを解説していきます！

—ここからの目次—

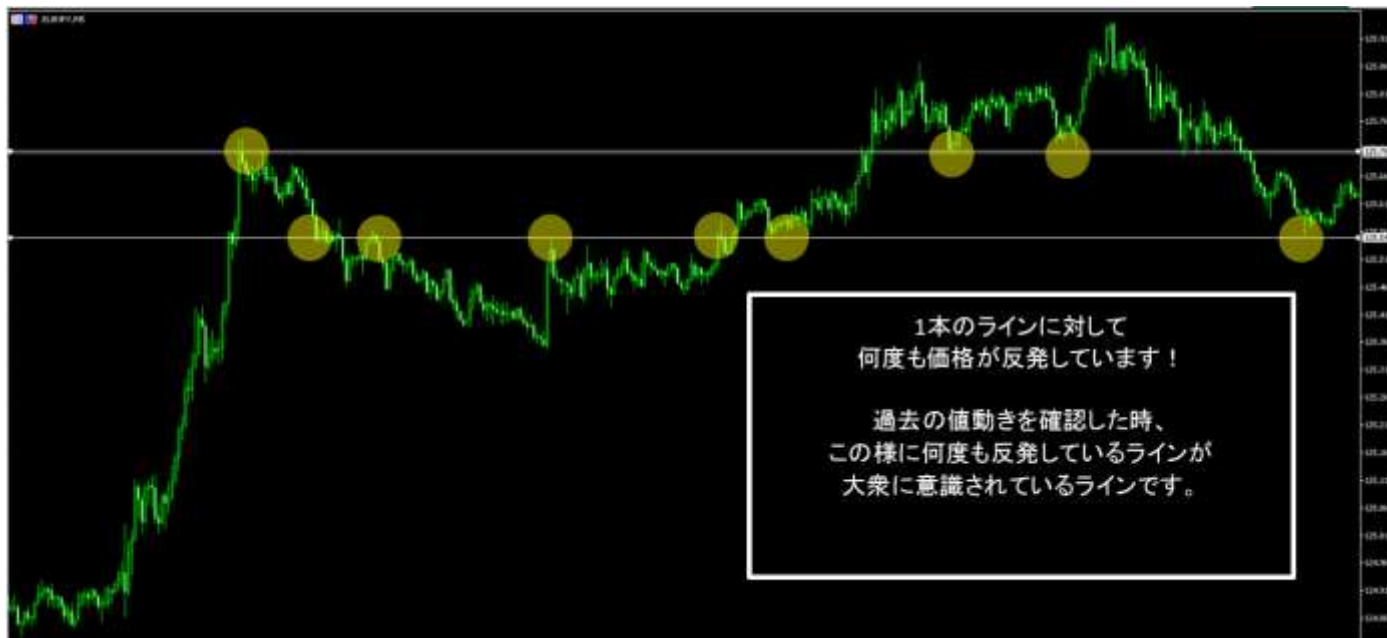
1. 基本的なラインの引き方
2. ゾーンとして見る
3. ロールリハーサル（レジサポ転換）という現象
4. 節目の価格にラインを引く
5. 価格が走り出したポイントにラインを引く

1. 基本的なラインの引き方

よく間違われがちですが、数分間の取引をするからといって1分足だけを見ていれば良いわけではありません。
なぜなら相場を動かしているのはFXトレーダーであり、彼らの多くは上位足の動きを重視してトレードを行うからです。
その為、ラインを引く際は「FXトレーダーに意識されているだろうポイント」に引く事が重要になります。
多く利用されるのは5分足や1時間足ですね。

過去の反発実績を確認する事

ラインを引く前に「過去の反発実績」を確認する事が重要です。



例として、上記画像のラインでは過去何度もローソク足が反発している様子を確認できます。
過去の反発実績が多いという事は「それだけ意識されているポイント」であるという事なので
取引する際の目印として有効なラインといえます。



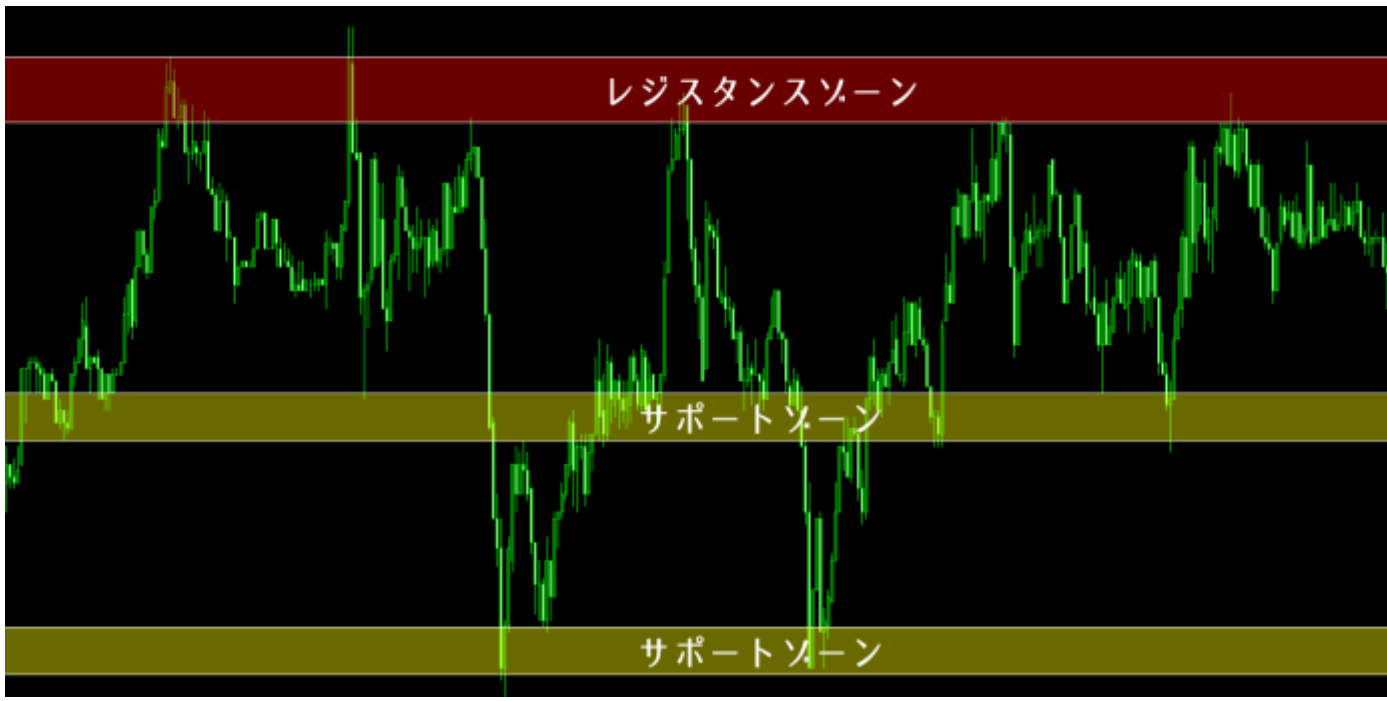
ローソク足の流れが

高値圏で連続大陽線から上髭陰線になったポイントはレジスタンスライン

安値圏で連続大陰線から下髭陽線になったポイントはサポートライン

としての信頼性が強くなる傾向にありますので予備知識として覚えておきましょう(#^^#)

2. ゾーンとして見る



ラインを少し抜けている場所があったり、長い髭が部分的についていたり、1本のラインだけで直近の値動き全てにフィットする様な事はほぼありません。

そこで利用出来る方法が 「線ではなく、ゾーンで捉える」 という考え方です(..)φ

上記画像でも確認できますが、1本のラインでは機能していなかった部分もゾーンでは機能していますよね！

幅が広くなる分当たり前と言えは当たり前なのですが、ゾーンでの考え方が出来ると投資金額を分散する事が出来たり、だましの部分を上手に避けられるようになったりとメリットが大きいです(#^^#)

今まで実態だけにラインを引いていた方はヒゲの部分まで見るように意識をしたり

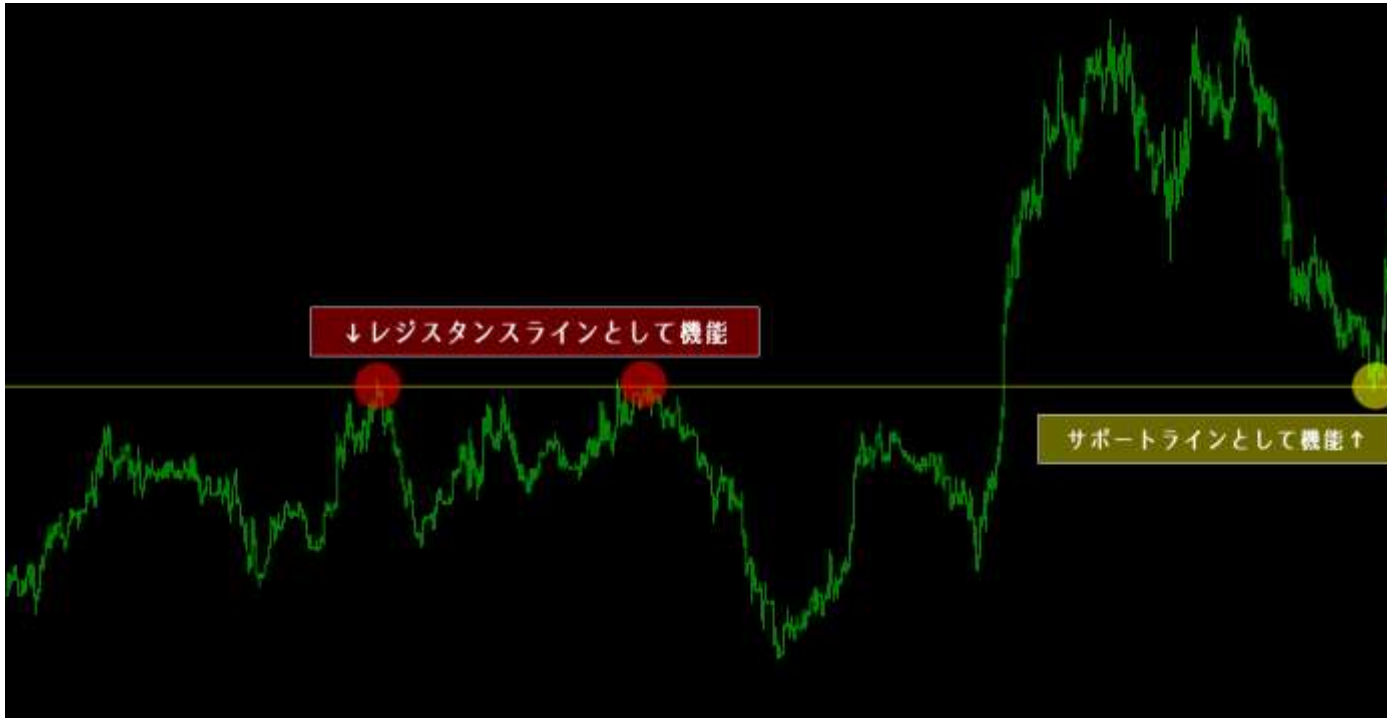
逆にヒゲの先端しか見ていなかった方は実体にも目を向けてみましょう。

3. ロールリハーサル（レジサポ転換）という現象

～ブレイクされたラインは役割が転換する～

サポートラインやレジスタンスラインは「破られたらハイ終わり！」という訳ではありません。

ここではラインで価格が反転せずにラインをブレイクした後の話をします！



ラインで価格が反発せずにブレイクすると、その後上記画像の様に

レジスタンスラインとして機能していたラインがブレイクされ、その後サポートラインに。

逆にサポートラインだったものがレジスタンスラインとして機能し始める現象を「ロールリハーサル」といいます。

実際にチャート上で確認していただくと分かりますが、1つのラインに対して何度もロールリハーサルが起こる場合もあります！

ラインをブレイクした瞬間にチャート上からラインを消してしまう方も多いかもしれませんが、今後のロールリハーサルを想定し、

数日間はラインを消さないようにしましょう。



過去何度も反発していたラインはロールリハーサルが起こりやすく、レジサポ転換時の反発も大きくなる傾向にあります(#^^#)

3-1 なぜロールリハーサルが起きるのか

意識されやすい価格帯であるという事はもちろん考えられますが、ここで考えたいのは

「トレーダーの心理」です。

先ほどの画像を元にトレーダー心理について簡単に説明します。





赤矢印（1番）で売りを仕掛けたトレーダーは
この黄色い枠内では損失を抱えています。

長いレンジを形成

長いレンジを形成していたことから、赤矢印1番で再び下がるだろうと予測し売りを仕掛けたところ
ラインをスレイクしてしまい価格が大きく上に動きました。

すると赤矢印1番で売りを仕掛けたトレーダーは黄色い枠内でずっと損失を抱えている状態になります。

多くのトレーダーは損切りが出来ませんから、損失を抱えたまま強制ロスカットされるまでポジションを手放すことはありません。

そこで、下がって！下がって！と祈っていたところ再び価格が黄色矢印2番のポイントまで下落してきました。

ここでポジションを解消すれば損失を最小限に抑える事が出来ます！

売りの反対は買いですから、売りを仕掛けていたトレーダーのポジション解消によって価格が上昇します。

その上昇を狙ったトレーダーが新規の買い注文を入れる事で更に価格が上昇。

上昇した事を確認し、2番で損切り出来なかったトレーダーが慌てて損切りし、また上昇に力が加わる。

この様に多くの思惑、心理が働き重なる事でロールリハーサルや値動きは起こります(#^^#)

4. 節目の価格にラインを引く

節目の価格は意識されている人は少ないのではないのでしょうか？

マーケットオープン、マーケットクローズなどの節目の時間同様、1ドル110円など節目の価格帯も同様に意識すべきポイントです！！

大台の数字が見えてくると Twitter で活動している投資家達が騒ぎ出し面白い話が見れたりするので機会があれば Twitter で「ドル円」などと検索してみてください(^^)





上

記画像では例として110円と109円のラインを1時間足表示で引いてみました！

この様な大きなポイントは数時間単位、数日単位で意識されている様子が確認できますね(#^^#)

節目の価格帯は、その価格を更新するのがいつぶりになるのか？という点でも反発の具合が変わってきます。

その様な情報も Twitter などでも調べる事が出来るので便利ですよ！

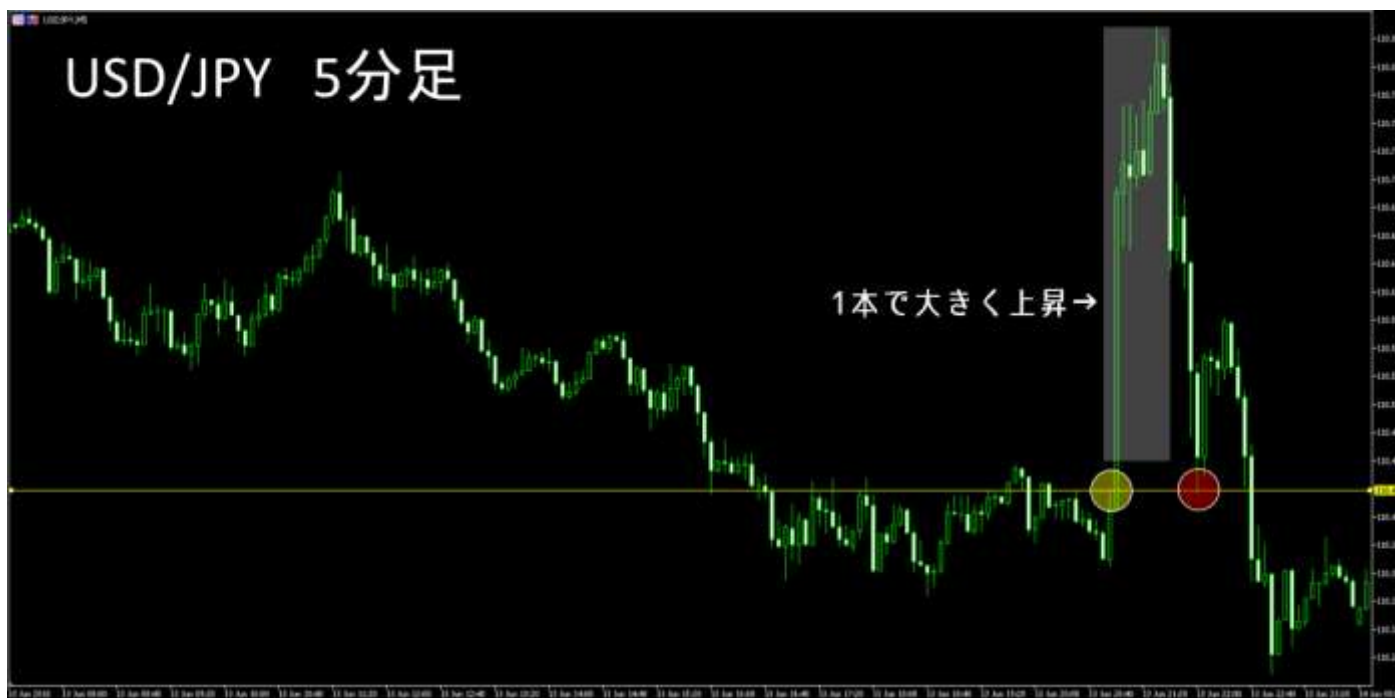
数年ぶりに挑戦されるような価格帯付近での攻防はリアルタイムで見る価値あります(#^^#)

5. 価格が走り出したポイントにラインを引く

意識されてない方が多いかもしれませんが、これ重要です。

基本はローソク足の実体やヒゲにラインを引き、ゾーンで見る方法だけでも問題ないのですが

「価格が走り出したポイント」にラインを引く事で、トレードの根拠が強まったり、エントリーポイントを増やすキッカケにもなりますので覚えておきましょう(#^^#)



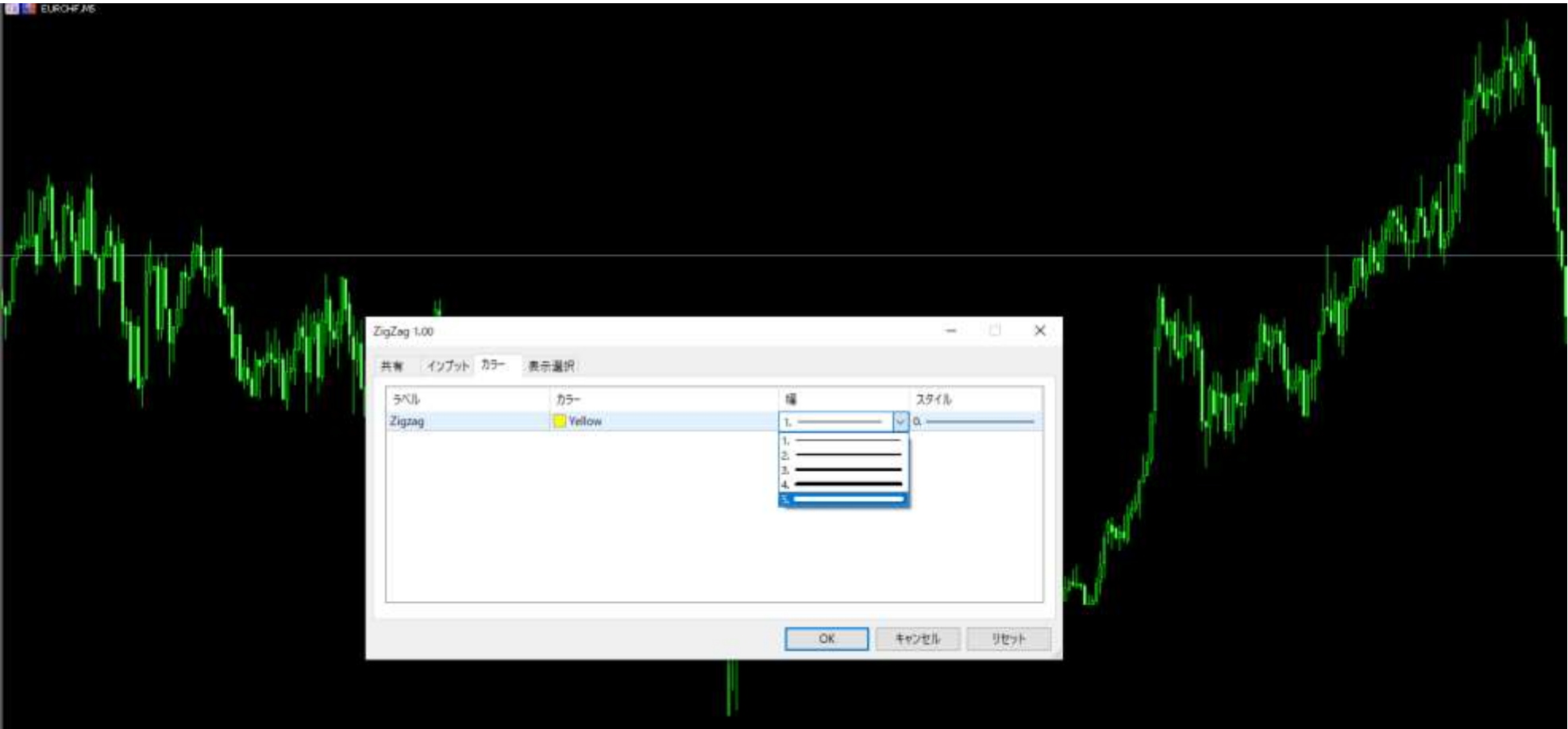
1本のローソク足で大きく値が動いたポイントに着目しましょう。

ロールリハーサルと考えと近くなりますが、上記画像の様に価格が急変動した場合、逆方向にポジションを持っていた場合「損切り出来ない」事が多くあります。

そうすると損失を最小限に抑える為に、少しでも元のポジションに価格が戻ってきたらポジションを解消しようという考えが働きます。

その結果、大きな下落・上昇となったキッカケとなるローソク足の始点にラインを引く事で通常のロールリハーサルよりも効果の高い反発を狙う事が可能となります。

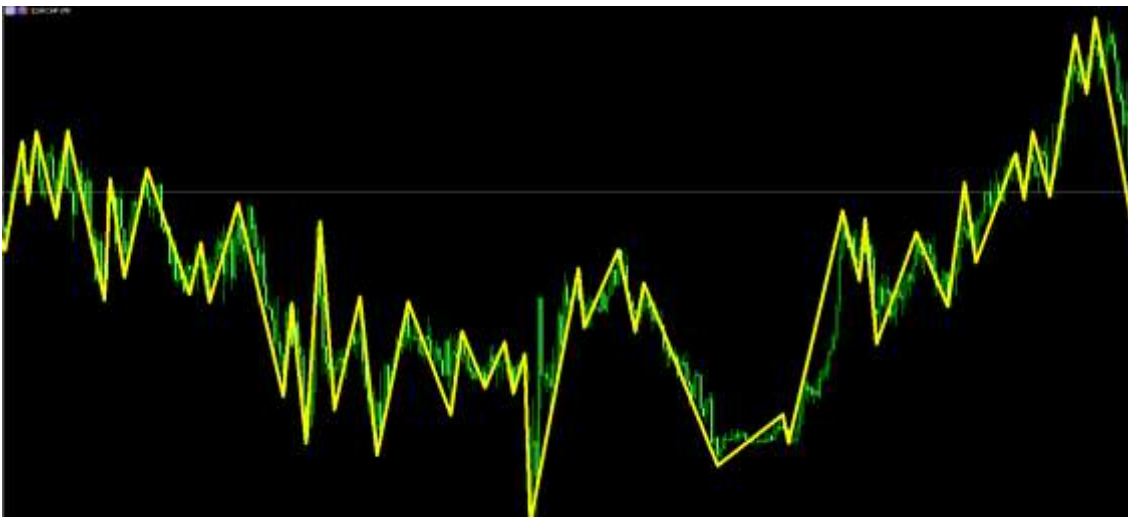
今バイナリーを始めた初心者でも出来る簡単なラインの引き方



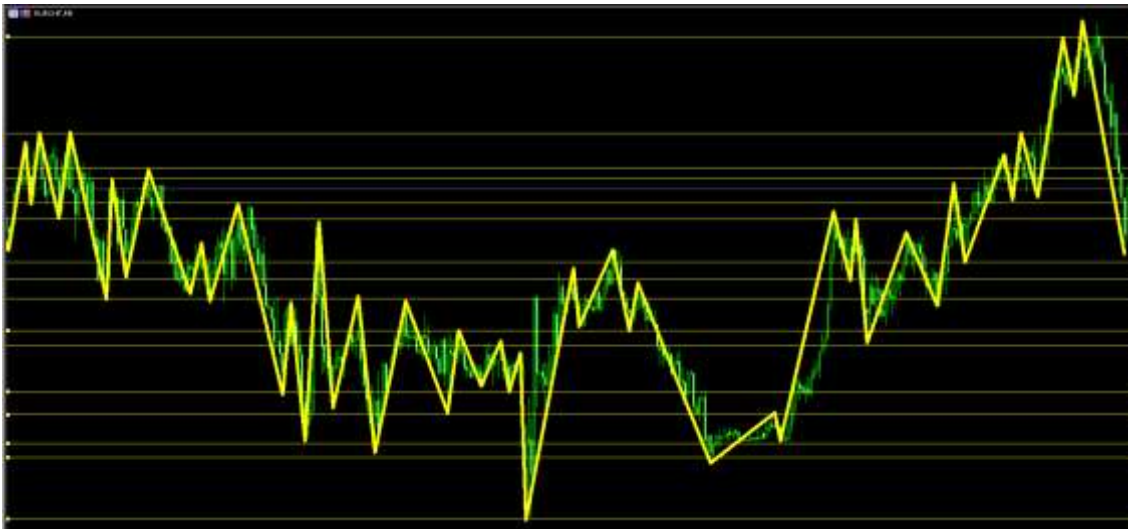
インジケーター→カスタム→「zigzag」を挿入

挿入後2点設定変更を行います。

- ①カラーを自分が見やすい色に変更。私は黄色で表示しています！
- ②線の太さを5番にする。



するとこの様にチャートのジグザグが視覚的にはっきりと分かるようになります！
この状態でラインを引いてみましょう。

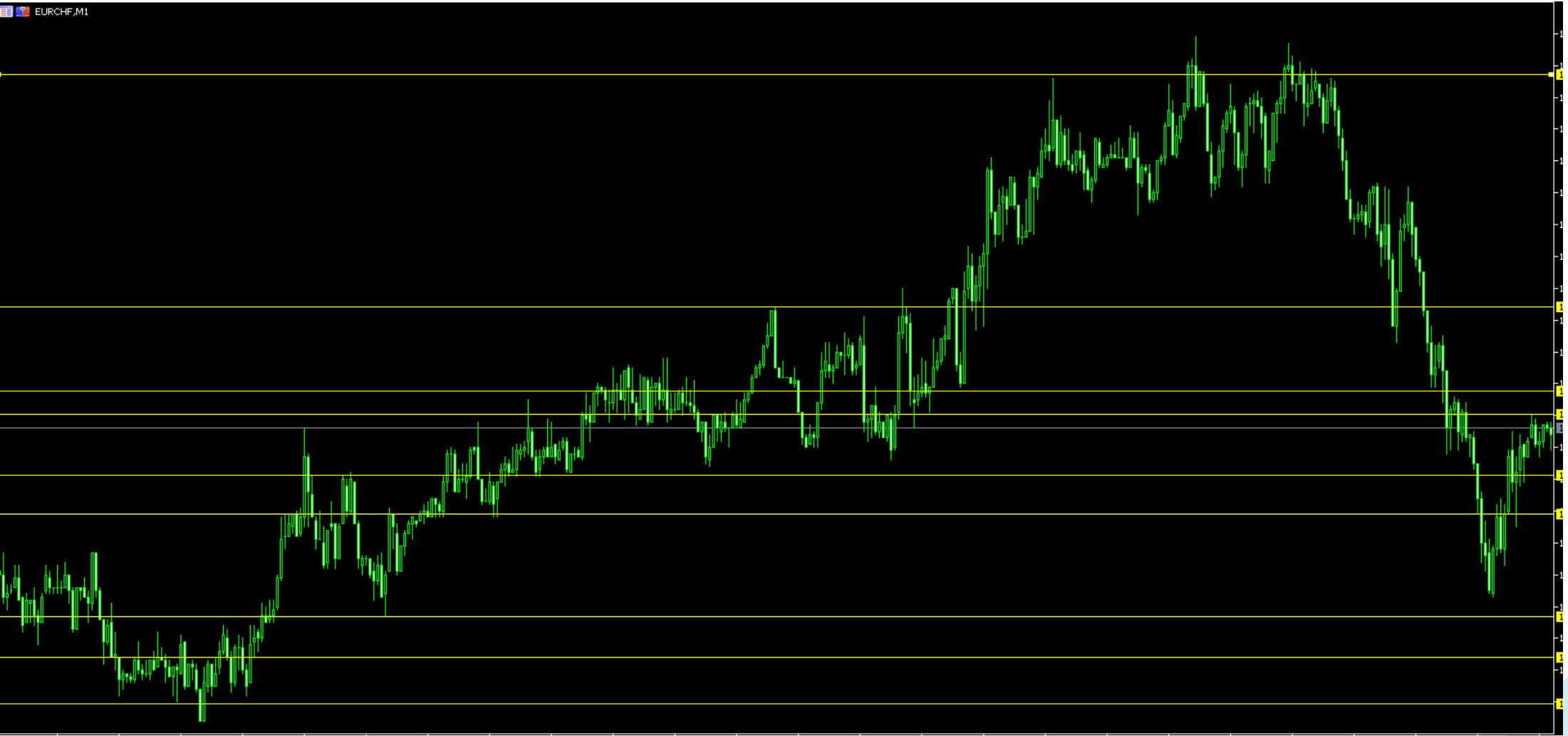


『ラインの引き方』

※チャートは5分足を表示してください。

先ほど Zigzag で表示した線の三角のとんがり部分に合わせラインを引いていきます。

慣れないうちは上記画像の様に片っ端から引きましょう！
ラインが引き終わりましたら、チャートから Zigzag を削除し、1 分足表示に変更します。



するとこの様に超スッキリに！
ラインを引くポイントが全く分からないという方は、自身の感覚が養われるまで
この一連の流れでラインを引けば問題ないかと思います(#^^#)

HIGH or LOW

どちらの勝率が高いのかを見極める

ここまでの学習で基本的なラインの引き方は理解できたかと思いますので

最後に勝率を高める為のちょっとした分析方法を話します(#^^#)

とても簡単な内容なので既に実践している方もいるかもしれませんね。

ライントレードの勝率を上げる方法は

上位足が「上昇トレンド」「下降トレンド」「レンジ」のどの状況にあるのかを把握する事です。

バイナリーの取引では数分の取引がメインとなりますので、現状の把握は1時間足で行います。

1時間足が上昇トレンドならば HIGH エントリーが有利に。

下降トレンドならば LOW エントリーが有利になり、レンジならばどちらともいえない状況になります。

この様なちょっとしたポイントを押さえるだけで、無駄なエントリー、危険なエントリーを減らすことが出来、更に勝率にも確実に良い影響を与えますので、今まで意識していなかった方は意識して取り組んでいきましょう!(^^)!

～ 無裁量手法編 ～

裁量手法に加えた $+\alpha$ の収入確保を目的に無裁量手法にも取り組んでみましょう。



過去10年間のデータから優位性のある最強の無裁量手法

「五十日仲値トレード」

ここからは五十日仲値トレードの過去10年間の勝敗記録。

無裁量手法のトレードルールなどなど

裁量手法に+して利用できる情報をお届けしていきます！

1. 無裁量トレードと裁量トレードの特徴

無裁量トレード手法を実践する前に、まずは無裁量トレードと裁量トレードの特徴を簡単に理解しておきましょう！

無裁量トレードの特徴



無裁量トレード

エントリータイミングがあらかじめ決まっているのでチャートを見て分析する手間が無く、

日常生活にほぼ影響がありません。**知識のない初心者でも出来ることが最大のメリット**です(#^^#)

ただし時間の縛りがある為、常に**その時間に予定が入ってしまっている場合トレード出来ない事**が最大のデメリット。

無裁量トレードは年間を通して「決められた時間に決められた金額」を淡々とエントリーしていく機械的な作業となります。

裁量トレードの特徴



裁量トレード

エントリー根拠を複数重ねることによって高い勝率を出すことが出来ますが、知識や経験を元にトレードを行うため、**バイナリーオプションを始めたての初心者には難しいのがデメリット**(;^_^A分析や経験を元に状況に合わせた柔軟なトレードを行えることがメリットですね！

裁量を磨けば磨くほどトレードの楽しさが分かるようになり、のめりこんでいく傾向にあります。

短期間で最も稼げる可能性を秘めているのは信頼できる根拠に基づいた裁量でのトレードです。

裁量手法を学びたい方は、別で販売しております「サイクル+ライントレード」の資料を参考に組み合わせてみてください(^^♪

SALARYMAN BINARY

無裁量トレードルール

○予定通りにエントリーできなかった場合には基本エントリーを見送る。

どうしてもエントリーしたい場合には、最初にエントリーをしようと決めた時の数値よりもポジションがよくなるポイントで取引を行う事。

○B E T金額は一定に保つ。

無裁量手法は長期的に見て優位性の高い手法であり、**確実な勝利や短期的に大きな結果を求めるための手法ではありません。**

年間平均勝率が60%を超える無裁量手法であっても、短期的に見れば連敗が続く事もあり

勝率が50%を下回る可能性もありますし、年間の収支がマイナスになる可能性も考えられます。

無裁量手法は、相場のテクニカル分析など、詳しい知識は一切不要のため、投資初心者でもすぐに実践できる事がメリットではありますが社会情勢にも左右されやすい一面がありますので、**連勝が続いたからと言って高額なB E Tをしないように心がけましょう。**

理想は所持資産の1%以内です。**最悪でも10%以内**には収めてください！！

数回の取引で大きな利益を得ようとするのではなく「コツコツ稼ぐ」が大事！！

購入額	勝率	10回	20回	30回	40回	50回
¥5,000	80	+25,200	+50,400	+75,600	+100,800	+133,200
¥5,000	70	+15,800	+31,600	+47,400	+63,200	+79,000
¥5,000	65	+11,100	+22,200	+33,300	+44,400	+55,500
¥5,000	60	+6,400	+12,800	+19,200	+25,600	+32,000
¥5,000	55	+1,700	+3,400	+5,100	+6,800	+8,500
¥5,000	50	-3,000	-6,000	-9,000	-12,000	-15,000
¥5,000	40	-12,400	-22,800	-35,200	-45,600	-58,000

こちらの図の様に長期的な目線で利益を見ましょう。

勝率が損益分岐点（利益と損益の境目）ギリギリの勝率55%であっても

5,000円のBETで100戦行えば+17,000円になります。

数回のトレードの勝敗に拘って目先の利益を求めては、トレードで安定した利益を出すことは出来ず「大切な資金を無くす要因になりかねません。」

お金を増やすために投資を始めたのに、ギャンブルトレードで資金を失ったら

元も子もないですからね。

トレードは年単位の長期的目線で資金管理（毎回固定の金額でエントリー）を徹底して行いましょう！

最強の『無裁量手法』仲値トレード



仲値とは銀行等の金融機関が、その日1日の通貨の販売レートを決定する時間です。
毎日9:55分に仲値が決定し、10:00に窓口の販売レートが公開されます。
仲値トレードはこの仲値を利用した取引手法ですが、この手法は何も「五十日だけにしか利用できない訳ではありません」通常日も「無裁量手法」として有効です！

まずは無裁量手法のメインでもある

「**五十日仲値トレード**」について解説を行っていきます。

五十日仲値トレードについては、過去10年間の勝敗記録も掲載していますので

取引の判断材料として是非お役立てください！！

五十日トレード手法



『五十日（ゴト一日）とは？』

名前の通り五と十のつく日を指します。五十日は輸入企業の決済日に当たり、

日本の輸入企業が海外企業に支払いをする為の「ドル調達」をする事から、

五十日はドルの取引が活発になる傾向にあります。

輸入企業は支払いの為にドルが大量に必要となるので、日本の銀行は輸入企業にドルを販売する為に大量のドルを購入しておく必要がある事から、

東京時間開場の9：00～仲値時間9：55分に向けてドル高円安方向（チャートが右肩上がり）に相場が向かいやすいのが五十日の特徴です。

その特徴を利用したトレードを五十日トレードと言います。

五十日仲値トレード



『エントリー時間』

AM 9 時 5 4 分 5 0 秒 ~ 5 9 秒

『判定時刻』

AM 1 0 時 0 0 分

「なぜ9時54分にLOWエントリーするのか？」

9時55分の中値の決定までは「ドルを少しでも安く買っておこう」という思惑が働き、円安方向（上方向）に動きやすい傾向にあり、中値の決定と同時にその動きが弱まり、円高方向（下方向）へと動くことが多々ある為、そのポイントを狙って取引を行います。

『トレード手順』





①五十日である事を確認

② ハイローオーストラリアのドル円AM10：00分判定（1時間取引）の取引画面を開いて待機。

③ 9時54分55秒～9時54分59秒の間でLOWエントリーを行う

五十日であることを確認して上記手順の様に単純にエントリーする。

ただこれでOKです！

チャートを利用した分析は一切必要ありません。

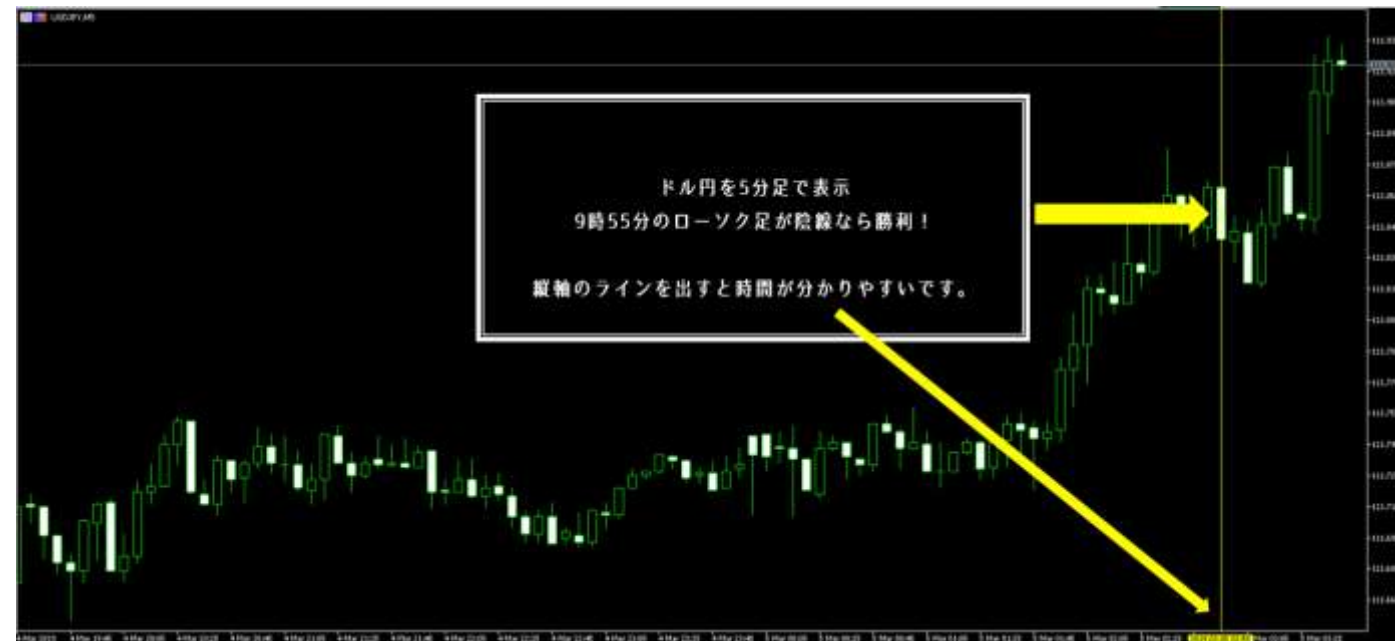
2019年五十日スケジュール

2019年	五十日スケジュール(対象日)					
1月	4	10	15	18	25	30
2月	5	8	15	20	25	28
3月	5	8	15	20	25	29
4月	5	10	15	19	25	30
5月	2	10	15	20	24	30
6月	5	10	14	20	25	28
7月	5	10	12	19	25	30
8月	5	9	15	20	23	30
9月	5	10	13	20	25	30
10月	4	10	15	18	25	30
11月	5	8	15	20	25	29
12月	5	10	13	20	24	30



『過去相場の検証方法』

USD/JPY の場合 5 分足を表示



自分自身で直近相場の勝率を検証したい場合は、上記画像の様に

USD/JPY を 5 分足で表示して確認をしましょう！！

9 時 55 分～10 時 00 分のローソク足が「陰線」ならば、

エントリーポイントに大きなズレが無い限りその日は勝利です！

五十日仲値トレード

10年間の勝敗結果記録

	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年
1月	6勝0敗	4勝2敗	5勝1敗	3勝3敗	5勝1敗	4勝2敗	3勝3敗	3勝3敗	3勝3敗	3勝3敗
2月	4勝1敗	4勝1敗	4勝1敗	4勝1敗	4勝1敗	3勝2敗	3勝2敗	3勝2敗	3勝2敗	4勝1敗
3月	5勝1敗	3勝3敗	3勝3敗	4勝2敗	3勝3敗	3勝3敗	2勝4敗	4勝2敗	5勝1敗	4勝2敗
4月	3勝3敗	5勝1敗	6勝0敗	2勝4敗	3勝3敗	6勝0敗	2勝4敗	2勝4敗	4勝2敗	5勝1敗
5月	4勝2敗	6勝0敗	4勝2敗	3勝3敗	4勝2敗	2勝4敗	2勝4敗	4勝2敗	5勝1敗	4勝2敗
6月	5勝1敗	3勝3敗	2勝4敗	3勝3敗	3勝3敗	2勝4敗	3勝3敗	5勝1敗	3勝3敗	4勝2敗
7月	3勝3敗	6勝0敗	2勝4敗	3勝3敗	3勝3敗	4勝2敗	4勝2敗	3勝3敗	6勝0敗	3勝3敗
8月	6勝0敗	5勝1敗	5勝1敗	2勝4敗	2勝4敗	6勝0敗	3勝3敗	5勝1敗	3勝3敗	4勝2敗
9月	3勝3敗	5勝1敗	4勝2敗	4勝2敗	4勝2敗	3勝3敗	1勝5敗	4勝2敗	4勝2敗	4勝2敗
10月	3勝3敗	6勝0敗	3勝3敗	5勝1敗	3勝3敗	3勝3敗	4勝2敗	3勝3敗	5勝1敗	3勝3敗
11月	4勝2敗	4勝2敗	4勝2敗	4勝2敗	3勝3敗	6勝0敗	3勝3敗	5勝1敗	4勝2敗	5勝1敗
12月	5勝1敗	6勝0敗	2勝4敗	3勝3敗	1勝5敗	6勝0敗	4勝2敗	3勝3敗	5勝1敗	5勝1敗
年間勝敗	51勝20敗	57勝14敗	44勝27敗	40勝31敗	38勝33敗	48勝23敗	34勝37敗	44勝27敗	50勝21敗	48勝23敗
10年間の勝敗合計 454勝256敗 全て5万BETの場合利益740万3千円										

10年間5万BET固定で
利益
740万OVER



10年間のトータルで大きく勝ち越してはいますが、短期的に見てみると
1勝5敗や2勝4敗をしている月も何度かあります。

1回あたりのエントリー金額を資金の10%に設定していたら5連敗してしまっただけで資金の半分を失う事になりますね…



長期的にこれだけ優位性のある手法でも資金管理が出来ていなければ、その効果を実感する前に資金を溶かしてしまう。
なんて事もありますから注意しましょう(;^_^A



五十日仲値トレードは 10 年間の裏付けもある信用できる無裁量手法ですが「**エントリー回数が少ない**」事を気にする方もいるはず。
その様な方は「ただの仲値トレード」を実践してみても？こちらは毎日エントリーを行う事が出来ます。

五十日仲値トレードと同じく

毎日 9 時 54 分 50 秒～9 時 54 分 59 秒の間に

USD/JPY の 10 時判定で LOW エントリーを行うだけです！

直近 3 ヶ月間の勝敗結果

2018年12月 1 7 勝 2 敗

2019年01月 1 5 勝 6 敗

2019年02月 1 2 勝 8 敗

3 ヶ月間の勝敗 4 4 勝 1 6 敗



投資で勝ち続ける為には「良い手法」を手にする事よりも「資金管理」を徹底する事の方が重要です。

「徹底した資金管理」が出来ていなければ勝てる手法を持っていても最終的に利益を出すことは難しくなります。

投資をしている以上、あなたは投資家です。それを常に意識するようにしましょう。

1 回の BET 金額は総資産の 1% 以下が理想。最悪でも 10% 以内には必ず抑える。

これを必ず実施してください！



バイナリーオフションで専門になる事は多くの人間にとって現実的ではありません。

業者の撤退・口座凍結・仕様変更によりバイナリートレーダーの立ち位置が今後更に危うくなるのは明白。

ですからいずれは、バイナリーオフションで培ったスキルを元にFXへと戦うフィールドを移す必要があります。

今後数年、数十年という長いスパン為替で稼いでいく為に、FXで稼ぐ術を今身に付けましょう。

ここからは具体的な FX の取引手法を解説していきます。



まずは私の裁量手法で必須となる Z 形フィボナッチの設定を行ってください。

※資料内 15～19P でフィボナッチの設定は解説しています。

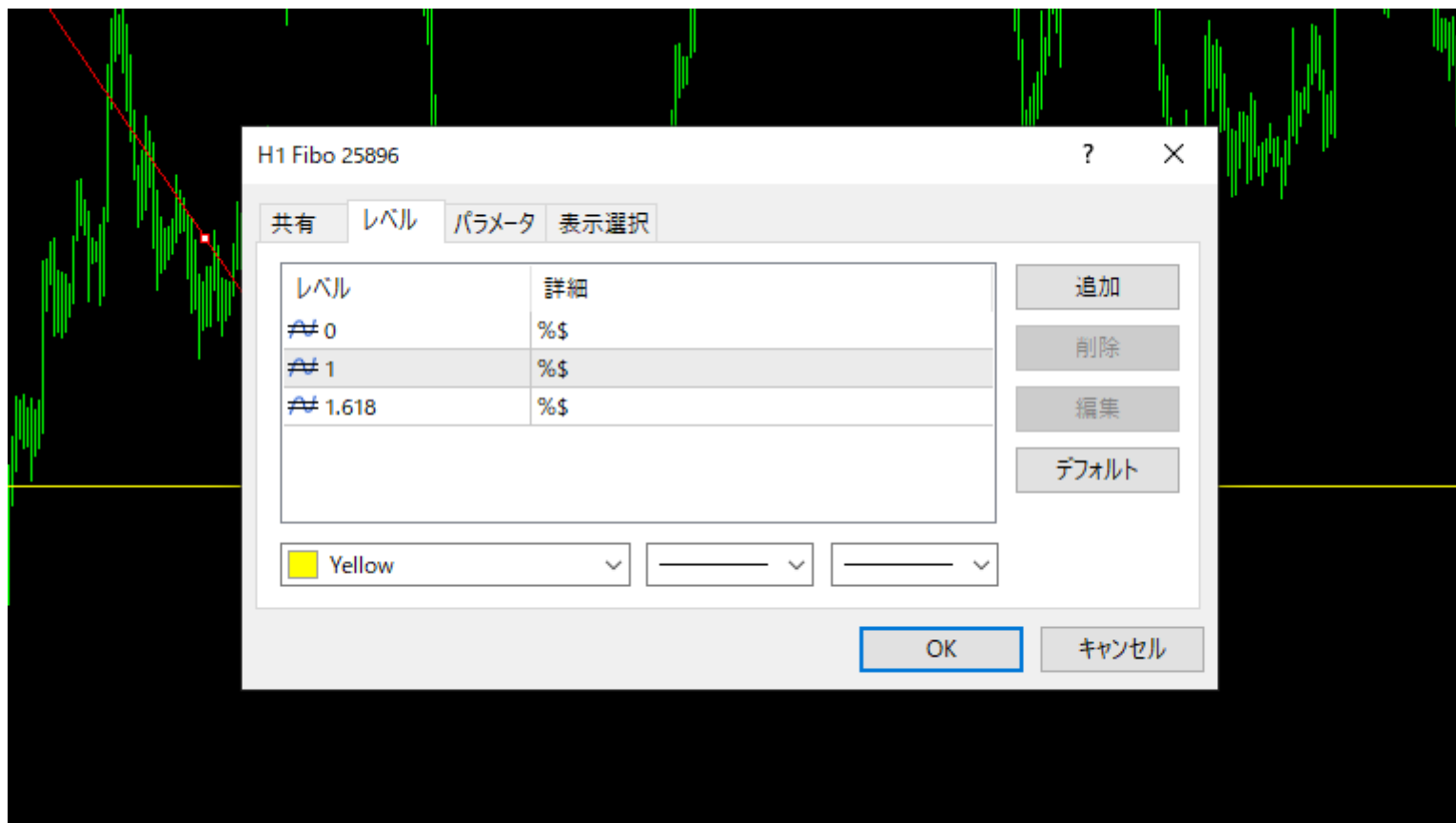


私のフィボナッチは上記画像の様にライン毎にレートが表示される設定になっています。

私の手法を応用してFXを行う場合、レートが表示されている事により取引の入り口と出口の目標を決めやすくなるメリットがありますので

私の手法を利用される方は同じように設定を行いましょう(#^^#)

↓次ページへ続く。



フィボナッチを設定した時と同様

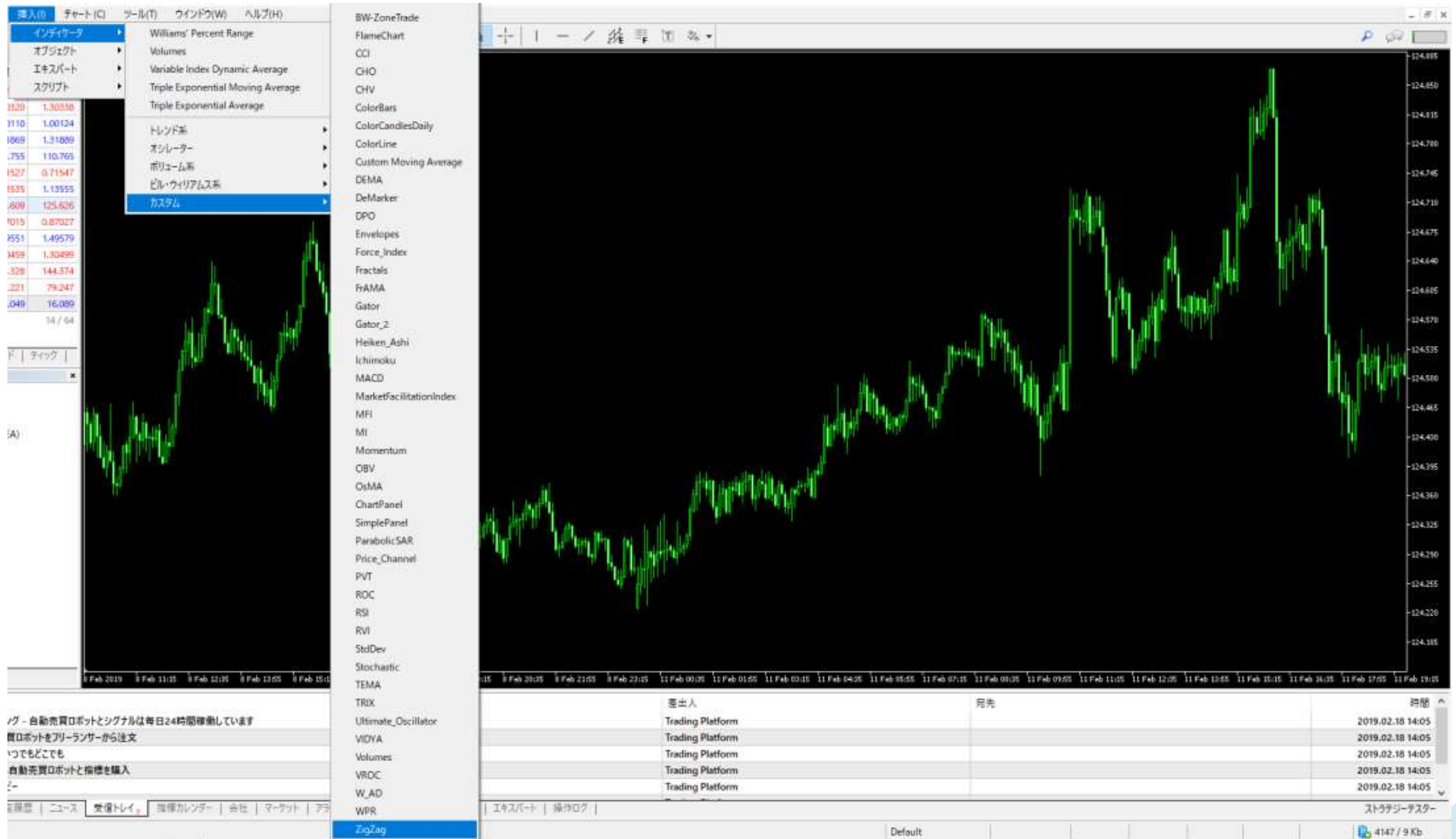
フィボナッチ右クリック→フロパティ→レベルの順に進み、詳細欄を%\$に設定しましょう。

これで私と同じく各ラインにレートが表示されるようになりますよ！

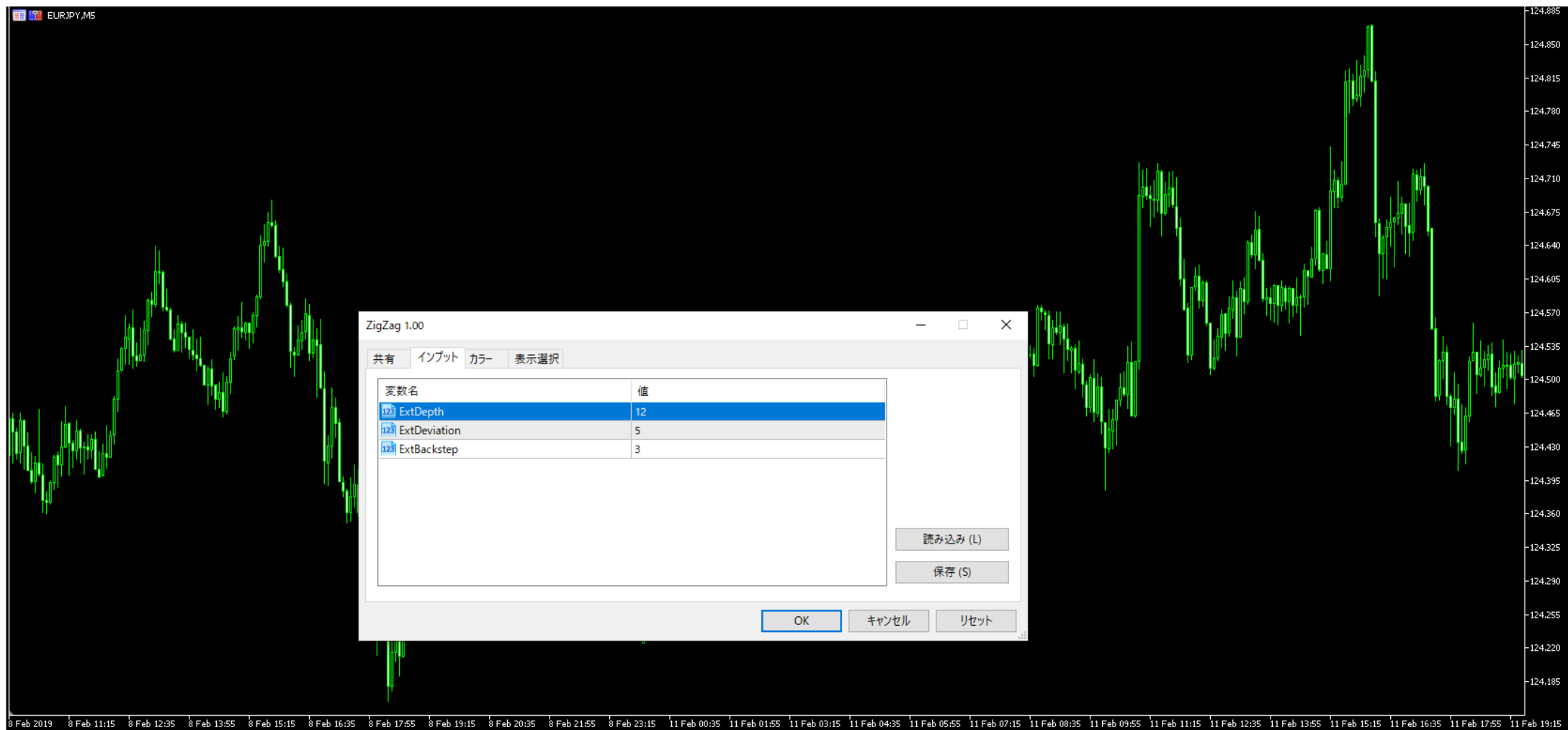
続いてインジケータの設定を行います。

利用するインジケータは ZigZag です。

不要な方は利用しなくても問題ありません！



「ZigZag」の表示方法は上記画像を参考にどうぞ！



資料 10P で紹介したバイナリーオスション用の設定ではインプットの値を 5,5,3 の順に設定を行いましたが

FX 取引用の設定ではデフォルトの 12,5,3 のまま利用します。

フィボナッチと ZigZag の準備が整いましたので次ページからは実際のテクニカル分析方法について解説を行っていきます(#^^#)



FX では資料 57～60P で紹介した手法を応用し取引を行います。

手法はフィボナッチの黄金比 161.8%を利用した**完全逆張り手法**です。

この手法では 1 時間足の波形にフィボナッチを当ててエントリーポイントを決定します。

手法自体は驚くほどシンプルです。

エントリー手順（売りを仕掛ける場合）



ここでは赤丸からの上昇に対して売りを仕掛けたい場合の手順を解説していきます。



上記画像の様に赤矢印の上昇を狙う場合は、直前の下降波（黄色矢印）にフィボナッチを引きます。

この時に下降波の始点から終点に向けてフィボナッチを引くと、始点終点ラインの上に161.8のラインが表示されます。

この作業が完了したら、後はチャートが161.8のラインまで上昇してくるのを待つのみです(^^

このまま結果を見てみましょう。



赤丸のゾーンがエントリーポイントです。ここではキレイに頂点を捉える事が出来ましたね！

1 時間足 + ZigZag + フィボナッチを組み合わせると波形に当てていただくと分かりますが、高い確率でラインが効きますので

実際にチャート上でラインを引きご自身の目で確かめてください。

FX への手法応用の基本の流れはたったこれだけです。

しかし FX では入り口だけでなく**損切り・利確の出口**を決めなければいけませんから

続いてその判断方法を解説していきます。

補足「下降波への逆張りを行う場合」



FX 取引における損切り・利確ポイントの判断方法

損切り・利確ポイントの判断には、バイナリーオプション取引で利用していた

「判定時刻の決め方」の考えを応用します。



バイナリーでは直前の波形の時間を元に判定時刻を設定していましたが

FX では直前の波形の値幅を元に利確ポイントを決めていきます。

それでは続けて損切りポイントの設定について解説を行います。

リスクリワードという用語をご存知でしょうか？

リスク＝損失 リワード＝利益を意味します。FXで稼ぐ為にはこのリスクリワードの設定が必要不可欠です。

リスクリワード 1：1、勝率 50%で 10 回取引した場合

損失は 1 万円、利益も 1 万円ですので 10 回取引した結果の資金はフラマイ 0 です。

対してリスクリワード 1：2 の場合

損失は 1 万円、利益は 2 万円の為 10 回取引をすると 5 万円のプラスに。

この様にリスクリワードの設定により**損切り**を**利益でカバー**する事が出来ます。



※リスクリワードの設定を行う場合の注意事項

今回はリワード 60pips を例に解説を行いました、リスクリワードの管理を行う際には最初に

基準となるリスクリワードのルール。pips の設定を行いましょう！

例えばリスクリワードをリスク 10pips：リワード 30pips の 1：3 に設定したのであれば

○30pips 以上を期待できる波形を狙う（エントリーを絞る事でポジポジ病を予防します）。

○30pips 以上の大きなリワードを狙う場合でもリスクは 10pips 以内に抑える。

これを徹底してください。

利確目標を基準より大きくする事はあっても、それに伴い毎回損切り幅まで大きくしてしまっていては資金管理がバラバラになってしまいますからね！